

FMV

DESKPOWER

CE70HV,CE70H7,CE50HV,CE50H7,CE30H7,
CE30H5,CE50H7/S,CE50H7/M,
CE70HN,CE50HN

さあ、はじめましょう)))

パソコンの準備



1 使い始める前に

2 接続する

3 パソコンを準備する

4 各部名称

5 仕様一覧

付 録

知りたいことを調べるには

まずはここから!

パソコンの準備

買ってから、使い始める前の準備はこれでバッチリ。



さあ、パソコンを使いこなそう!

FMV 活用ガイド

基本や活用、セキュリティからトラブル解決までこれ一冊。



テレビチューナー内蔵の機種なら

テレビを見る・録る・残すガイド

FMVでテレビを見たり録ったりして楽しむには、これ! [注]

注:テレビチューナー内蔵機種のみ添付(ただし、Microsoft®Windows®XP Media Center Edition 2004搭載機種には非添付)



ちょっと確認!

基本操作クイックシート



サポートについては...

サポート&サービスのご案内



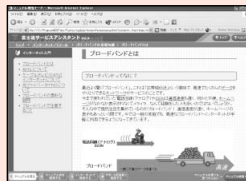
※この他にも、マニュアルや重要なお知らせなどの紙、冊子類があります。

手元にあると便利、パソコンの基本操作や文字入力の見易表!(三つ折りになっています)

どうしても問い合わせないとわからない...。そんなときはこれ!

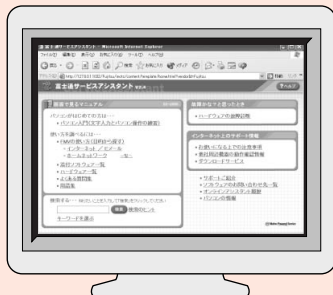
マニュアルは「本」だけではありません!~パソコン画面にもマニュアルがあります~

FMVの使い方



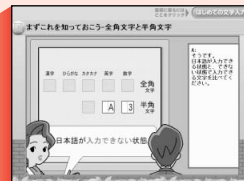
ソフトウェアもハードウェアも、インターネットのことだって、なんでも目的から簡単に探せるので便利!

サービスアシスタント



FMVのことなら、何でもこれにおまかせ!
インターネットにあるFMVの最新情報へもここからアクセスできます。

パソコン入門



パソコンの基本操作や文字入力を楽しく学習したいならこれ!

※この他にも、役に立つ情報が盛りだくさんです。

『パソコンの準備』の内容

必ずお読みください

まず機種名や添付品の確認をします

第1章 使い始める前に (●▶P.17)



必要な機器を接続します

第2章 接続する (●▶P.27)



電源を入れてパソコンを使う準備をします

第3章 パソコンを準備する
1 初めて電源を入れる (●▶P.50)

目的に合わせてお読みください

- 各部名称を知りたい (●▶P.83)
- 仕様を確認したい (●▶P.90)
- メモリを増やしたい (●▶P.121)

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクやCD-Rなどの媒体にバックアップをお取りください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後6年間です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアが別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

- 本ソフトウェアの使用および著作権**
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
- バックアップ**
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
- 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み**
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
- 複製**
 - 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
 - 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないで行ってください。
- 第三者への譲渡**
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
- 改造等**
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
- 壁紙の使用条件**
お客様は、「FMV」ロゴ入りの壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
- 保証の範囲**
 - 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
 - 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関して、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
 - 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
- ハイセイフティ**
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
記
原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております（<http://www.microsoft.com/japan/>）。

お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。

したがって、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。




ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合がありますので、ご利用前にはサービスパックの Readme.txt を必ずご確認ください。

また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。




このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う危険があることを示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。







	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

 重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 <ul style="list-style-type: none">・キーボードの「サポート」ボタンを押す・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント (マニュアル&サポート)」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリック
	CD-ROM / DVD-ROM を表しています。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

正式名称	このマニュアルでの表記	
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows XP Home Edition	Windows
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP Professional	
Microsoft® Office Personal Edition 2003	Office Personal 2003	
情報処理機器の省エネルギー化推進に関する法律	省エネ法	
スーパーマルチドライブ	CD/DVD ドライブ	
17 型液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) 17 型液晶ディスプレイ (TV チューナーなし)	17 型液晶ディスプレイ	
MPEG2リアルタイムエンコーダ付きTVチューナーカード	ハードエンコーダ付き TV チューナーカード	
高画質化機能搭載 MPEG2 リアルタイムエンコーダ付き TV チューナーカード	高画質ハードエンコーダ付き TV チューナーカード	
富士通サービスアシスタント V2.4	サービスアシスタント	
Norton Internet Security™ 2004	Norton Internet Security	

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

商標および著作権について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の登録商標または商標です。AMD、AMD Arrow ロゴ、AMD Athlon、ならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices Inc. の商標です。Motive のロゴ、Motive Communications, Inc., ServiceNet Platform および Motive の他の製品名あるいは技術用語は Motive Communications, Inc. の商標または登録商標です。

SD カードおよび SD ロゴは、SD ASSOCIATION の商標です。「メモリースティック」、「マジックゲート」は、ソニー株式会社の商標です。Bluetooth® は、Bluetooth SIG の商標であり、弊社へライセンスされています。その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2004
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM/DVD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本製品に入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

- ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品には、有寿命部品（CRT、液晶ディスプレイ、ハードディスク、CD/DVDドライブなど）が含まれており、長時間連続で画面を表示させたり動作させたりした場合、早期の部品交換が必要になります。保証期間は1年間です（契約により異なる場合があります）。

- ・液晶ディスプレイは寿命とは別にご使用時間によって輝度が低下します。

本製品の使用環境は、温度 10～35℃/湿度 20～80%RH（動作時）、温度 -10～60℃/湿度 20～90%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。

ワイヤレス LAN 搭載モデルの場合（IEEE 802.11a 準拠、IEEE 802.11g 準拠の場合）

・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

・パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、5GHz帯をお使いになる場合は見通し半径15m以内、2.4GHz帯をお使いになる場合は見通し半径25m以内（ワイヤレス通信の推奨値）となります。ただし、ワイヤレス LAN の特性上、ご利用になる建物の構造、材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。

・IEEE 802.11g と IEEE 802.11b の混在環境においては、IEEE 802.11g は IEEE802.11b との互換性をとるため、IEEE 802.11g 本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g と IEEE802.11b を別のワイヤレス LAN ネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を5チャンネル以上あけてお使いください。

・5GHz帯のワイヤレス LAN の屋外使用は、電波法により禁じられています。

・航空機内では使用しないでください。罰せられる場合があります。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品でテレビや DVD、ゲームなどの映像を見たり、本製品にご家庭のテレビなどを接続してご利用になる場合には、部屋を明るくして、画面から充分離れてご覧ください。
映像を視聴する方の体質によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。また、このような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定める高調波ガイドライン適合品です。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



本製品には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

ドルビー、DOLBY、AC-3、プロロジック及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含有されています。

安全上のご注意

FMV-DESKPOWER を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。

電源・電圧・接続について

警告



- 感電
・感電のおそれがあるため必ずアース接続を行ってください。
アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。



- 発火
・アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
火災の原因となります。



- 感電
・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。



- 感電
・添付の電源ケーブル以外は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



- 感電
・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



- 感電
・電源ケーブルやコネクタの金属部分に手を触れないでください。また、電源プラグを抜いた直後は、プラグに触らないでください。
感電の原因となります。



- 感電
・電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- 感電
・電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。
修理は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。



- 発火
・電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると、火災の原因となります。



- 感電
・カバーを外した状態で電源プラグをコンセントに差し込んだり、電源を入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- 感電
・周辺機器の取り付けや取り外しを行う場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。
感電・火災または故障の原因となります。



- 感電
・近くで落雷のおそれがある場合は、パソコン本体の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントから抜き、モジュラーケーブルやアンテナケーブルをコネクタから抜いてください。
そのまま使用すると、雷によっては機器を破壊し、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意



- ・電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。



- ・電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。火災・故障の原因となることがあります。



- ・電源ケーブルは壁のコンセントに直接接続してください。延長ケーブルなどを使用すると、火災の原因となることがあります。



- ・ディスプレイ以外の機器(指定外の機器)を、パソコン本体に接続して電源を取らないでください。火災・故障の原因となることがあります。



- ・電源ケーブルを束ねて使用しないでください。発熱して、火災の原因となることがあります。



- ・指定外の AC アダプタは使用しないでください。火災・けがの原因となることがあります。



- ・ケーブルは正しく接続してください。誤った接続状態で使用すると、機器本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。

本体・周辺機器の取り扱いについて

⚠ 警告



- ・本製品は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。



- ・万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・異物（水・金属片・液体など）が機器の内部に入ったときは、ただちに機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- ・機器を落としたり、カバーなどを破損したときは、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・機器をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。感電・火災の原因となります。



- ・開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。感電・火災の原因となります。



誤飲

- ・取り外したカバー、キャップ、ネジなどの小さな部品は、小さなお子様が悪く飲み込むと窒息の原因となります。保護者の方は、小さなお子様の手の届かない所に置くように注意してください。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。



感電

- ・機器本体や AC アダプタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



感電

- ・機器の上または近くに花瓶・植木鉢・コップなどの水が入った容器や、クリップ・ピンなどの金属物を置かないでください。感電・火災の原因となります。



感電

- ・台所など、湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。
感電・火災の原因となります。



感電

- ・風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

⚠ 注意



けが

- ・機器の上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。
バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



けが

- ・振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



発火

- ・機器の開口部（通風孔など）をふさがないように、機器と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけてください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



発火

- ・直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。
高熱によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、機器内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



発火

- ・使用中の機器および AC アダプタは布などでおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因となることがあります。



視力障害

- ・CD/DVD ドライブのレーザ光の光源部を直接見ないでください。
目を傷める原因となることがあります。



けが

- ・液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着したときは、流水で 15 分以上洗浄してください。
また、目に入ったときは、流水で 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。








故障

- ・周辺機器を接続する場合には、弊社純正品をご使用ください。
弊社純正品以外の機器を使用すると、故障の原因となることがあります。






けが

- ・フロッピーディスクをセットするとき、および取り出すときには、フロッピーディスクドライブの差し込み口に指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

- 
 ・ CD または DVD など をセットするとき、および取り出すときには、CD/DVD ドライブのトレイやスロットに指などを入れないでください。
 けがの原因となることがあります。
- 
 ・ 「PC カード」、「SD カード」、「メモリースティック」をセットするとき、および取り出すときには、PC カードスロットや SD カード／メモリースティックスロットに指などを入れないでください。
 けがの原因となることがあります。
- 
 ・ 「PC カード」、「SD カード」、「メモリースティック」の使用終了直後は、「PC カード」、「SD カード」、「メモリースティック」が高温になっていることがあります。「PC カード」、「SD カード」、「メモリースティック」を取り出すときは、使用後しばらく待ってから取り出してください。
 火傷の原因となることがあります。
- 
 ・ 周辺機器類、マザーボードなどの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。
 指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。
- 
 ・ パソコン本体内部の突起物、および指定されたスイッチ以外には、手を触れないでください。けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

ワイヤレス LAN 機能内蔵パソコンの取り扱いについて

警告

- 
 ・ 病院内や医用電気機器のある場所ではワイヤレス LAN 機能を OFF にしてください。特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。ワイヤレス LAN 機能からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。
- 
 ・ 心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。
- 
 ・ 自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くでは使用しないでください。ワイヤレス LAN 機能からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。


レーザーの安全性について

本製品に搭載されている CD/DVD ドライブは、レーザーを使用しています。

クラス 1 レーザー製品

CD/DVD ドライブは、クラス 1 レーザー製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則（DHHS 21 CFR）Subchapter J に準拠しています。また、クラス 1 レーザー製品の国際規格である（IEC 60825-1）、CENELEC 規格（EN 60825-1）および、JIS 規格（JISC6802）に準拠しています。

注意

- 
 ・ CD/DVD ドライブをマニュアルに記載された説明や手順以外の方法で使用すると、レーザー放射の危険があります。また、CD/DVD ドライブを開くと、危険なレーザーを浴びる可能性があります。ドライブを絶対に分解しないでください。

一部の CD/DVD ドライブには、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードを使用しています。

注意

レーザー光



- ・ CD/DVD ドライブのカバーを開くとクラス 3A またはクラス 3B のレーザーが放射されます。レーザー光線を見つめたり、光学器機を使って直接見たりしないでください。またレーザー放射を直接浴びないようにしてください。

乾電池について

危険



指示

- ・ 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

警告

発火



- ・ 乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- ・ 乾電池を入れる場合、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ・ 指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ・ 乾電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

注意

故障



- ・ 長時間使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出しておいてください。万一液漏れした場合は、水に浸した布を硬く絞って金具、周囲を清掃し、その後、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。
- ・ 電池から漏れた液が体についたときは、水でよく洗い流してください。また目や口に入ったときは、水でよく洗い流した後、ただちに医師の診断を受けてください。
- ・ 電池ボックスの端子をショートさせないでください。
- ・ 寿命がなくなった乾電池はすぐに取り出してください。放置すると、腐食により装置を傷めることがあります。



破裂

- ・ この電池は充電式には造られていません。充電すると絶縁物や内部構造などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



感電

- ・ 電池に直接はんだ付けをしないでください。熱により絶縁物や安全弁などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



故障

- ・ 電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。電池を漏液させるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。

その他

警告



窒息

- ・梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



感電

- ・ディスプレイに何も表示できないなどの故障状態で本製品を使用しないでください。故障の修理は「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

注意



健康に注意

- ・本製品を無理な姿勢で長時間使い続けると、腰痛や腱鞘炎の原因となる場合があります。以下に示すような正しい姿勢で使用し、1時間に10分以上の休憩をとってください。
 - ・いすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
 - ・いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
 - ・ひじは90度以上に伸ばして操作する。



健康に注意

- ・ディスプレイを長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等、目の傷害の原因となることがあります。1時間に10分以上の休憩をとってください。また、なるべく画面を下向きに見る位置にする、意識的にまばたきをする、場合によっては目薬をさすなどしてください。



重量物

- ・本製品や液晶ディスプレイなどの重量のある装置を動かすときは、必ず2人以上で行ってください。けがの原因となることがあります。



感電

- ・機器を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、機器が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



感電

- ・長期間機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因となることがあります。



聴力障害

- ・ヘッドホンなどをお使いになるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間お使いになると、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



聴力障害

- ・ヘッドホンなどをしたままパソコン本体またはテレビの電源を入れたり切ったりしないでください。刺激音により聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



発火

- ・本製品（ホームサーバー機能を除く）は連続動作（24時間動作）を目的に設計されておりません。ご使用にならないときは電源を切ってください。火災の原因となることがあります。



感電

- ・モジュージャックに指などを入れしないでください。感電の原因となることがあります。



破裂

- ・機器の廃棄時には、他のゴミと一緒に捨てないでください。本製品はリチウム電池を使用しており、火中に投げると破裂の恐れがあります。

この本で見つからない情報は、画面で検索しよう！



(サービスアシスタント)のトップ画面 →

検索

キーワードを選ぶ

目次

このマニュアルの表記について	3
安全上のご注意	7

第1章 使い始める前に

1 確認してください	18
機種名を確認してください	18
キーボード/マウスを確認してください	18
添付品がすべて揃っているか確認してください	19
2 使用上のお願い	20
使用および設置に適した場所	20
使用および設置に適さない場所	21
液晶ディスプレイのお手入れ	22
3 必要なものを揃える	23
パソコン本体の箱に入っています	23
ディスプレイの箱に入っています	25

第2章 接続する

1 フレキシブルベース（設置台）を取り付ける	28
2 ディ스플레이を接続する	31
17型ワイド液晶ディスプレイ（TVチューナー内蔵）の場合	32
17型液晶ディスプレイ（TVチューナー内蔵）の場合	33
17型液晶ディスプレイ（TVチューナーなし）、15型液晶ディスプレイの場合	34
CE70HN、CE50HNでディスプレイなしを選択した場合	35
3 アンテナケーブルを接続する（CE70HV、CE70H7、CE50HV、CE50H7、CE50H7/S、CE50H7/Mの場合、CE70HN、CE50HNでTVチューナーカードを選択した場合）	36
パソコン本体に接続する場合	37
ディスプレイに接続する場合	38
4 キーボード/マウスを準備する	40
PS/2キーボードをお使いの方	40
ワイヤレスキーボードをお使いの方	42
5 リモコン受光器を接続する（CE70HN、CE50HNで15型液晶ディスプレイ、ディスプレイなしを選択した方で、TVチューナーカード内蔵の機種をお使いの場合）	43
6 リモコンを準備する（CE70HV、CE70H7、CE50HV、CE50H7、CE50H7/S、CE50H7/Mの場合、CE70HN、CE50HNでTVチューナーカードを選択した場合）	44
リモコンに乾電池を入れる	44
7 電源ケーブルを接続する	45

第3章 パソコンを準備する

1 初めて電源を入れる	50
接続を確認する	50
初めて電源を入れる～Windowsのセットアップ	54
2 電源の切り方と入れ方	69
電源を切る	69

電源を入れる	72
3 インターネットを始めるための準備をする	74
初めてインターネットに接続する前のセキュリティ対策	74
インターネットに接続するには	76
インターネットに接続したら	76
4 ホームネットワークを始めるための準備をする (CE50H7/S の場合)	77
ファミリーネットワークステーションを設定する	77
5 ユーザー登録をする	78
ユーザー登録をするとご利用になれるサービス	78
パソコンの画面上でユーザー登録する	79
6 準備が完了したら	80
パソコンの準備はすべて完了していますか？	80
パソコンの準備が完了したら『FMV 活用ガイド』へ	81
テレビの操作を知りたいときは『テレビを見る・録る・残すガイド』へ	82
ワイヤレス LAN をお使いになる場合	82

第 4 章 各部名称

1 パソコン本体前面	84
2 パソコン本体背面	86
3 パソコン本体内部	87
4 ワンタッチボタン	88

第 5 章 仕様一覧

1 パソコン本体の仕様	90
仕様一覧の注記について	98
2 その他の仕様	99
LCD 内蔵スピーカー	
(17 型ワイド液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) をお使いの方)	99
LCD 内蔵スピーカー	
(17 型液晶ディスプレイ、15 型液晶ディスプレイをお使いの方)	99
LAN 機能 (CE70HV、CE70H7、CE70HN をお使いの方)	99
LAN 機能 (CE50HV、CE50H7、CE30H7、CE30H5、CE50H7/S、CE50H7/M、CE50HN をお使いの方)	100
高画質ハードエンコーダ付き TV チューナーカード	
/ハードエンコーダ付き TV チューナーカード	100
リモコン (CE70HV、CE70H7、CE50HV、CE50H7、CE50H7/S、CE50H7/M をお使いの方、CE70HN、CE50HN で TV チューナーカードを選択した方)	101

付 録

1 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスについて (ワイヤレスキーボードをお使いの方)	104
使用に適した配置	104
乾電池について	105
乾電池を交換する	106
通信周波数／ID 設定値について	107
2 リモコンについて (CE70HV、CE70H7、CE50HV、CE50H7、CE50H7/S、CE50H7/M の場合、CE70HN、CE50HN で TV チューナーカードを選択した場合)	115
乾電池を交換する	115

リモコンをお使いになる場合の注意	115
3 本体カバーの取り外し方と取り付け方	118
本体カバーを取り外す	118
本体カバーを取り付ける	120
4 メモリについて	121
周辺機器の取り扱い上の注意	122
メモリの取り付け場所	124
取り付けられるメモリ	125
メモリを増やす	127
メモリ容量を確認する	130
索引	133

Memo

1

第 1 章

使い始める前に

最初に確認していただきたいことと、使用上の注意事項などを説明しています。

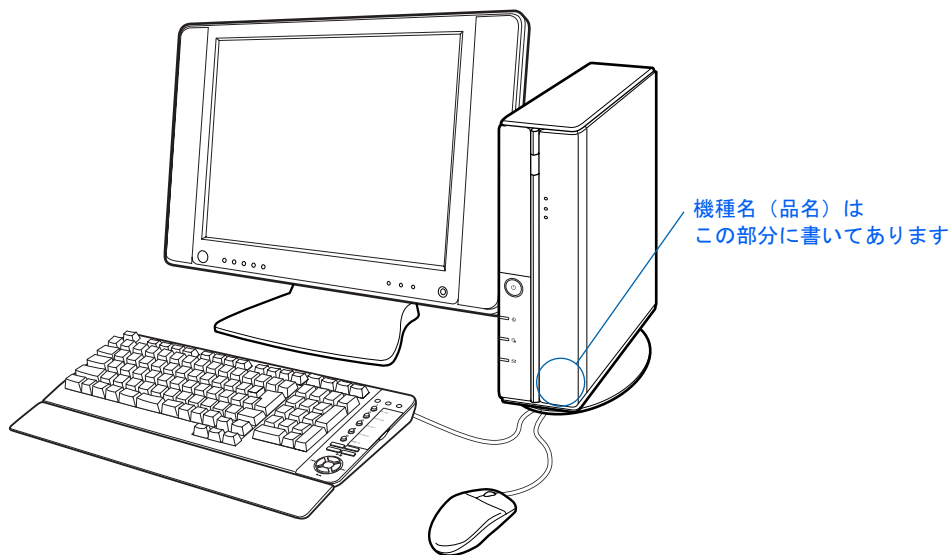
1 確認してください	18
2 使用上のお願い	20
3 必要なものを揃える	23

1 確認してください

最初に確認していただきたいことを説明します。

機種名を確認してください

お使いの機種によって、マニュアルを読む箇所が異なります。お使いのパソコンの機種名（品名）を確認しましょう。

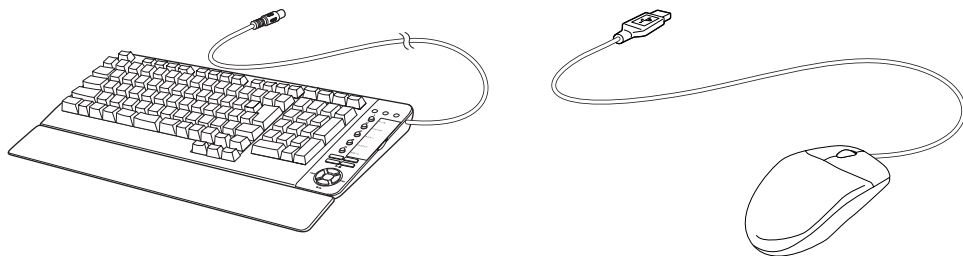


キーボード／マウスを確認してください

お使いの機種によって、マニュアルの読み方が異なります。お使いのパソコンに添付されているキーボードとマウスを確認しましょう。

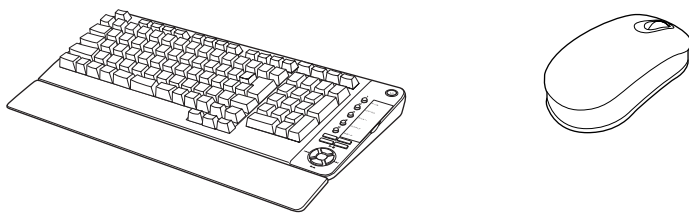
ケーブル付きの場合

PS/2 キーボードはパソコン本体背面のキーボードコネクタ、光学式マウス（USB）は USB コネクタに接続します。このタイプのキーボード／マウスをお使いの場合、このマニュアルでは「PS/2 キーボードをお使いの方」と表記します。



ケーブルがない場合

無線でパソコンに信号を送るため、パソコン本体にケーブルで接続する必要がありません。このタイプのキーボード/マウスをお使いの場合、このマニュアルでは「ワイヤレスキーボードをお使いの方」と表記します。



添付品がすべて揃っているか確認してください

「箱の中身を確認してください」をご覧になり、添付品をもう一度ご確認ください。

ご購入後 1ヶ月以内のハードウェアトラブルや添付品の不足に関するお問い合わせは、「富士通パソコン診断センター」にご連絡ください。1ヶ月を過ぎると、有料となる場合やご提供できないものもありますのであらかじめご了承ください。富士通パソコン診断センターについては、「箱の中身を確認してください」裏面をご覧ください。



(機種により若干異なります)

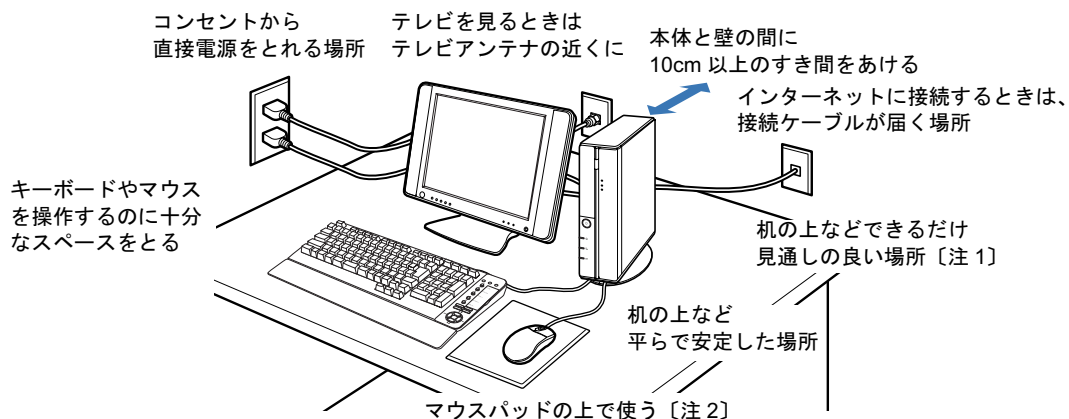
2 使用上のお願い

パソコンを設置するのに適した場所、適さない場所を説明します。

使用および設置に適した場所

パソコンは、次のような場所でお使いください。

PS/2 キーボードをお使いの方

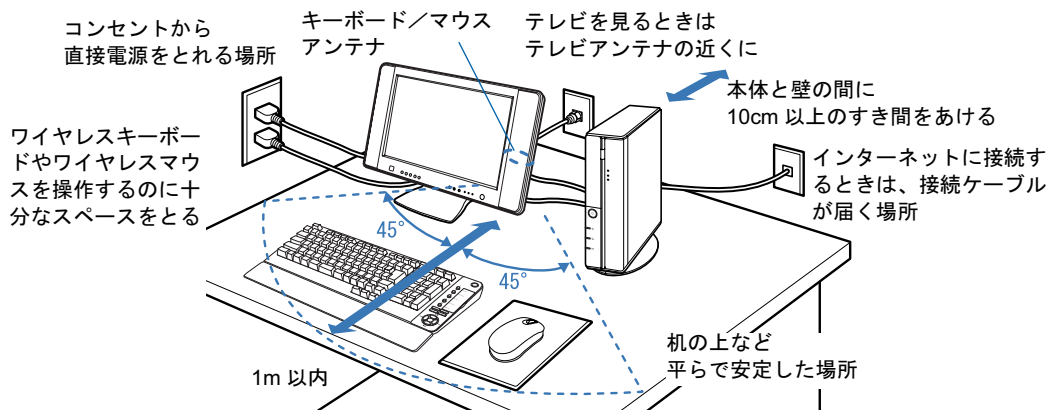


注1：ワイヤレス LAN カード内蔵の機種をお使いの場合

注2：光学式マウスに関しては「光学式マウスをお使いになる上での注意事項」(●▶P.58) もご覧ください。

ワイヤレスキーボードをお使いの方

ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。信号を受けるキーボード/マウスアンテナはディスプレイに内蔵されています。



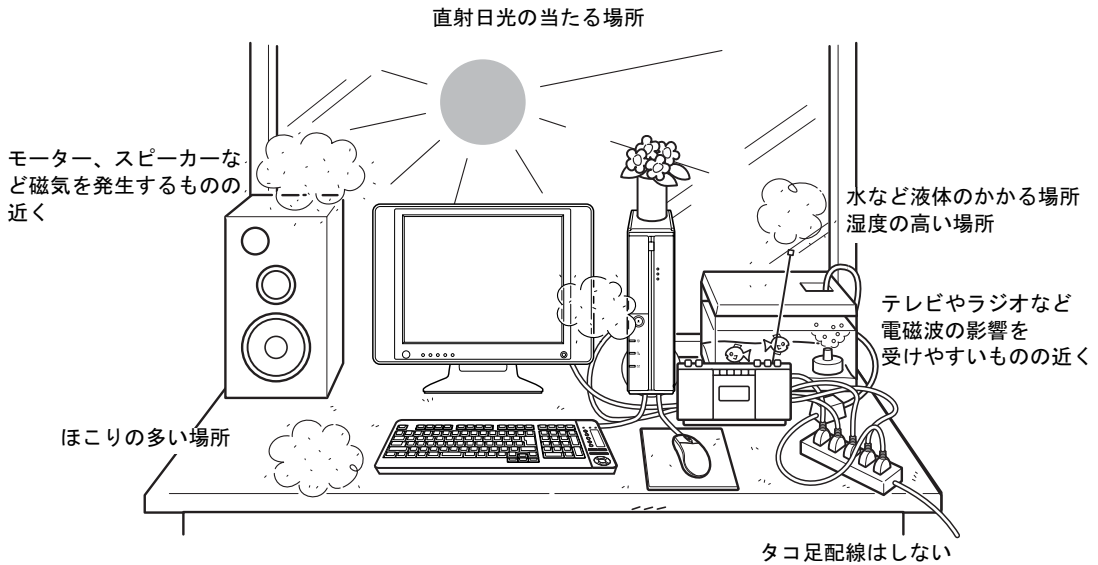
ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスはディスプレイから約1m以内、左右約45度の範囲で使う

ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスはディスプレイと同じぐらいの高さで使う

使用および設置に適さない場所

誤動作や故障の原因となるため、次のような場所ではお使いにならないでください。

極端に高温または低温になる場所
結露する場所



POINT

- ・本製品の使用環境は温度 10 ～ 35 °C / 湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 °C / 湿度 20 ～ 90%RH（非動作時）です。
- ・結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所（クーラーの効いた場所、寒い屋外など）から、温度の高い場所（暖かい室内、炎天下の屋外など）へ移動したときに起こります。結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。

電波の影響を受ける環境でお使いになる場合

■ ワイヤレスキーボードをお使いの方

次のような環境でお使いになると、周囲からの電波の影響を受けて、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスがうまく動作しないことがあります。

- ・ディスプレイをスチール机やスチール棚のような金属製の台の上に載せている
- ・ディスプレイと、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスの間に電気・電子機器や金属製のものを置いている
- ・周囲でノイズ源となる電気・電子機器（無線機器を含む）を使用している
- ・周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している機器がある（このパソコンを複数台でお使いの場合、無線局の近隣でお使いの場合、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合など）

このような場合には、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの通信周波数 / ID 設定値を変更すると、動作する場合があります。詳しくは、「通信周波数 / ID 設定値について」（▶P.107）をご覧ください。

■ ワイヤレス LAN カード内蔵の機種をお使いの方

次のような場所でお使いになると、周囲の電波の影響を受けて、ワイヤレス LAN 接続が正常に行えないことがあります。


- ・ Bluetooth® 対応機器の 10m 以内
- ・ 電子レンジの近く
- ・ アマチュア無線機の近く
- ・ 足元など見通しの悪い場所

液晶ディスプレイのお手入れ

液晶ディスプレイの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。

重要

- ・ 液晶ディスプレイの画面部分は、水および中性洗剤を使わないでください。またガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。
- ・ 市販クリーナーは以下の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。
 - ・ アルカリ性成分を含んだもの
 - ・ 界面活性剤を含んだもの
 - ・ アルコール成分を含んだもの
 - ・ シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
 - ・ 研磨剤を含むもの
 - ・ 化学ぞうきん

詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面 → 「FMV の使い方」 → 「お手入れ」 → 「FMV のお手入れ」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ (●▶P.55 ~ ●▶P.68) が終了してからご利用ください。

3 必要なものを揃える

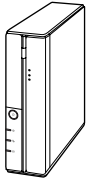
1

必要なものをあらかじめ揃えてから、第2章へ進みましょう。

パソコン本体の箱に入っています

注：イラストは実際と若干異なる場合があります。

■ パソコン本体

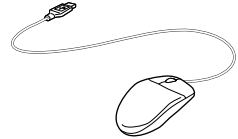


■ PS/2 キーボード



PS/2 キーボードをお使いの方のみ添付されています。

■ 光学式マウス (USB)



PS/2 キーボードをお使いの方のみ添付されています。

■ ワイヤレスキーボード 単3アルカリ乾電池×2



ワイヤレスキーボードをお使いの方のみ添付されています。

■ ワイヤレスマウス 単4アルカリ乾電池×2

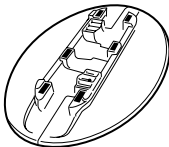


ワイヤレスキーボードをお使いの方のみ添付されています。

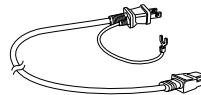
■ パームレスト



■ フレキシブルベース (設置台)



■ パソコン本体用 電源ケーブル



■ 保証書



梱包箱に貼り付けられています。

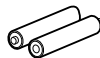
CE70HV、CE70H7、CE50HV、CE50H7、CE50H7/S、CE50H7/M の場合、CE70HN、CE50HN で TV チューナーカードを選択した場合は、次のものもあらかじめ揃えてください。

■ リモコン



(イラストは機種や状況により異なります)

■ 単 3 マンガン乾電池 × 2



■ アンテナケーブル (別売)



■ リモコン受光器

(CE70HN、CE50HN で 15 型液晶ディスプレイ、ディスプレイなしを選択した方で、TV チューナーカード内蔵の機種をお使いの場合)



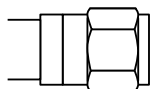
👉 重要

アンテナケーブル類は添付していません

アンテナケーブル、変換コネクタ、V/U ミキサ、中継コネクタなどは添付していません。市販のものをご購入ください。また、ケーブルは適切な長さのものをご購入ください。アンテナ設置については、最寄りの電器店にお問い合わせください。

ネジ式の F 型コネクタプラグをお使いください

アンテナケーブルとパソコンの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式の F 型コネクタプラグのご使用をお勧めします。F 型コネクタプラグの取り付け方については、F 型コネクタプラグのマニュアルをご覧ください。なるか、電器店にお問い合わせください。



F 型コネクタプラグ

F 型コネクタプラグ以外で接続する場合は、次の点にご注意ください

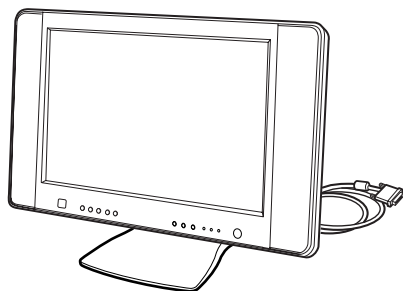
- コネクタの形状 (大きさ) によっては、パソコン本体に干渉して接続できない場合があります。また、S ビデオケーブルなどの他のケーブルを同時に接続できない場合があります。
- ネジ式の F 型コネクタプラグに比べノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

ディスプレイの箱に入っています

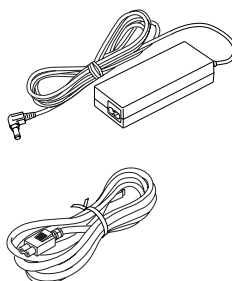
注：イラストは実際と若干異なる場合があります。

CE70HN、CE50HN で 17 型ワイド液晶ディスプレイ（TV チューナー内蔵）を選択した方

■ 17 型ワイド液晶ディスプレイ （TV チューナー内蔵）



■ AC アダプタ

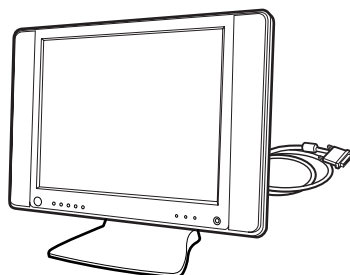


■ 同軸ケーブル

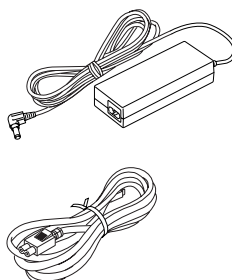


CE70HV、CE50HV をお使いの方 CE70HN、CE50HN で 17 型液晶ディスプレイ（TV チューナー内蔵） を選択した方

■ 17 型液晶ディスプレイ （TV チューナー内蔵）



■ AC アダプタ

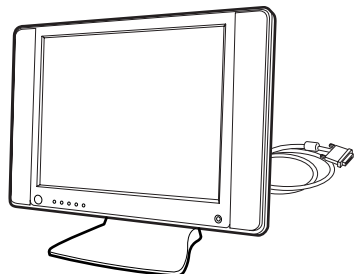


■ 同軸ケーブル



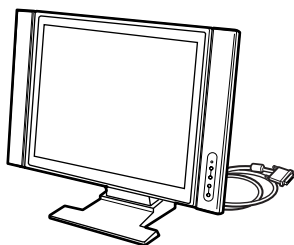
CE70H7、CE50H7、CE30H7、CE50H7/S、CE50H7/M をお使いの方
CE70HN、CE50HN で **17 型液晶ディスプレイ** (TV チューナーなし) を選択した方

■ **17 型液晶ディスプレイ** (TV チューナーなし)



CE30H5 をお使いの方
CE50HN で **15 型液晶ディスプレイ** を選択した方

■ **15 型液晶ディスプレイ**



続いて、パソコンの接続をしましょう (→▶P.27)。

2

第 2 章 接続する

パソコンの接続について説明しています。

1	フレキシブルベース（設置台）を取り付ける	28
2	ディスプレイを接続する	31
3	アンテナケーブルを接続する（CE70HV、CE70H7、CE50HV、CE50H7、CE50H7/S、 CE50H7/M の場合、CE70HN、CE50HN で TV チューナーカードを選択した場合） .	36
4	キーボード/マウスを準備する	40
5	リモコン受光器を接続する（CE70HN、CE50HN で 15 型液晶ディスプレイ、 ディスプレイなしを選択した方で、TV チューナーカード内蔵の機種をお使いの場合） .	43
6	リモコンを準備する（CE70HV、CE70H7、CE50HV、CE50H7、CE50H7/S、 CE50H7/M の場合、CE70HN、CE50HN で TV チューナーカードを選択した場合） .	44
7	電源ケーブルを接続する	45

注意



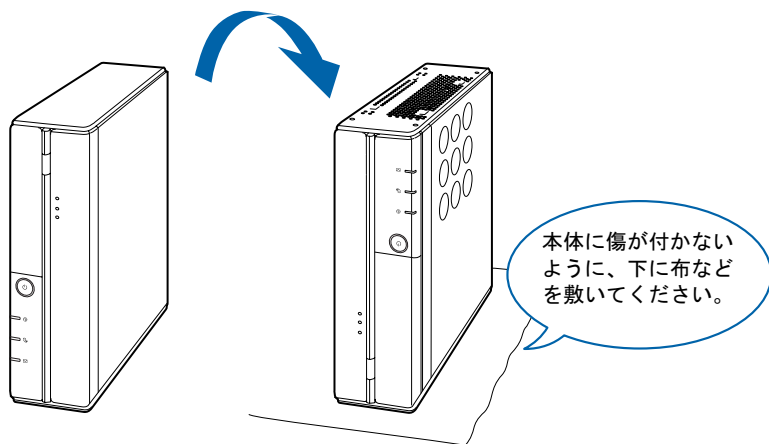
- ・ ケーブルは正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。
- ・ パソコンを設置する場合は、添付のフレキシブルベース（設置台）を取り付けてください。フレキシブルベース（設置台）を取り付けないと、転倒して故障の原因となることがあります。

1 フレキシブルベース（設置台）を取り付ける

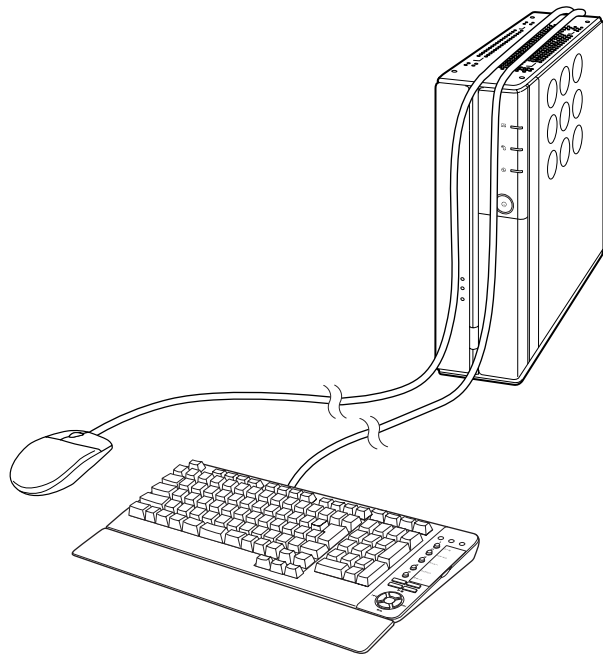
パソコン本体を縦置きでお使いになる場合、次の手順でフレキシブルベース（設置台）を取り付けてください。

パソコン本体を横置きでお使いになる方は、POINT（▶▶P.30）をご覧ください。

1 パソコン本体を上下さかさまにします。

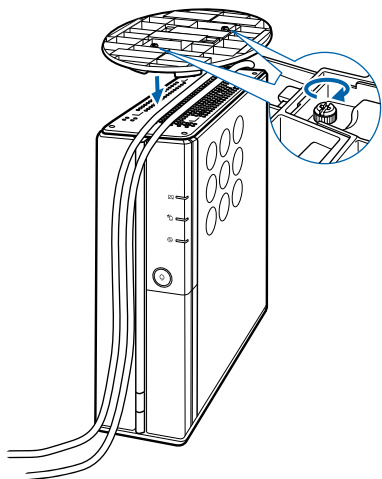


2 PS/2 キーボードをお使いの方は、PS/2 キーボードと光学式マウス (USB) のケーブルを本体底面の上に垂らします。



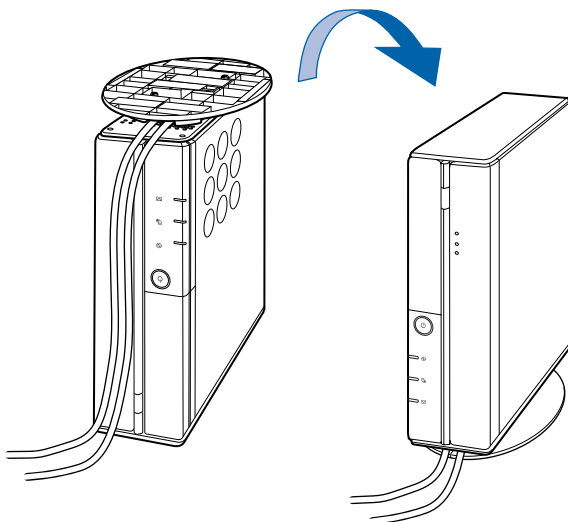
3 本体底面にフレキシブルベース（設置台）を取り付けます。

フレキシブルベース（設置台）の裏側に付いているネジで手前と奥 2ヶ所に取り付けます。PS/2 キーボードをお使いの方は、手順 2 で垂らしたケーブルがフレキシブルベース（設置台）のすき間を通るように取り付けてください。



（イラストは PS/2 キーボードをお使いの場合のものです）

4 パソコン本体の上下を元に戻します。



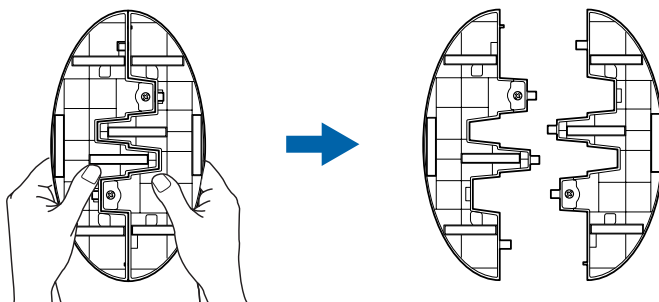
（イラストは PS/2 キーボードをお使いの場合のものです）

POINT

このパソコンは横置きでも使えます

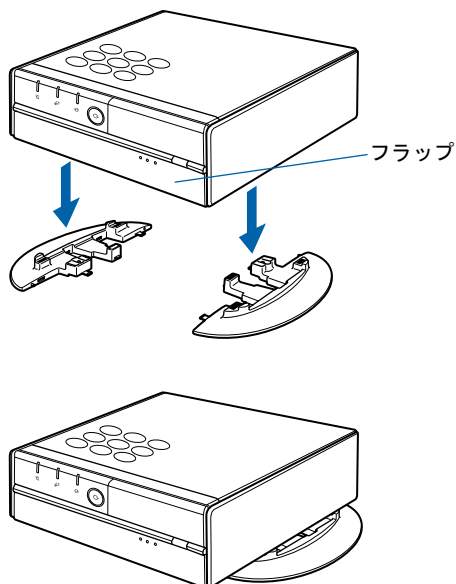
横置きで使う場合は、次の手順に従って設置してください。

1. フレキシブルベース（設置台）を両手で持ち、両側に引っ張って外します。



2. フレキシブルベース（設置台）をパソコン本体の幅に合わせて置き、その上にパソコン本体を載せます。

フレキシブルベース（設置台）を使わずに直接置いたり、フレキシブルベース（設置台）をフラップの近くに置くと、フラップ（本体前面のカバー）が開きません。



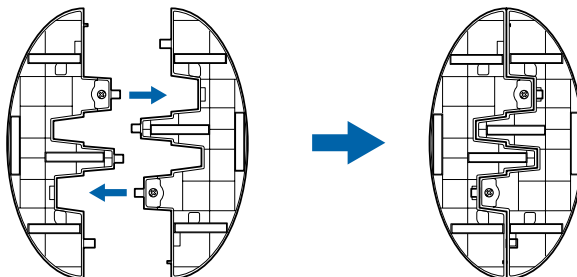
横置きで使う場合は、パソコン本体の上に物を載せないでください

故障の原因となる場合があります。

フレキシブルベースの組み合わせ方

次の手順に従って組み合わせてください。

1. フレキシブルベース（設置台）を両手で持ち、組み合わせます。



2. カチッと音がするまでお互いのツメを差し込みます。

フレキシブルベース（設置台）を組み合わせる際は、指などをはさまないようにご注意ください。

続いて、ディスプレイを接続しましょう（●▶P.31）。

2 ディ스플레이を接続する

お使いの機種によって、ディスプレイの接続方法が異なります。

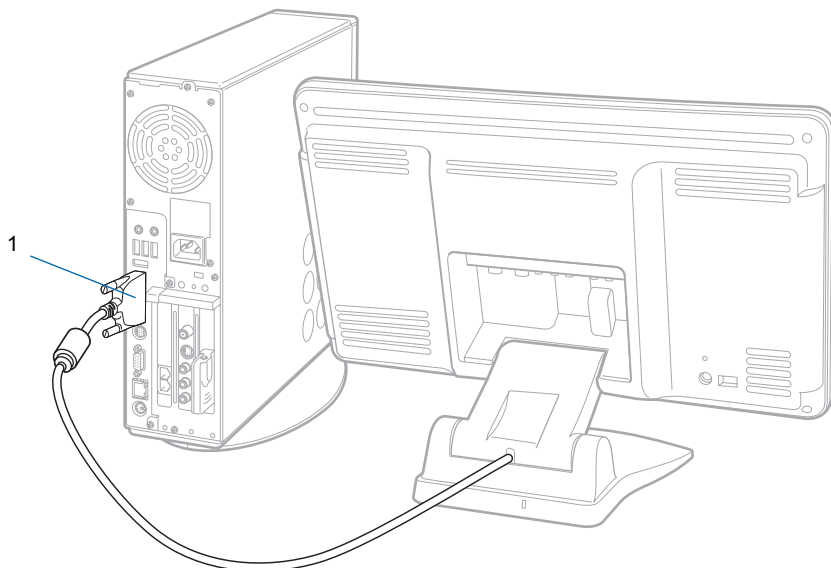
お使いの機種	接続方法
CE70HN、CE50HN で 17 型ワイド液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) を選択した方	「17 型ワイド液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) の場合」 (●▶P.32) をご覧ください。
CE70HV、CE50HV をお使いの方、または CE70HN、CE50HN で 17 型液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) を選択した方	「17 型液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) の場合」 (●▶P.33) をご覧ください。
CE70H7、CE50H7、CE30H7、CE30H5、CE50H7/S、CE50H7/M をお使いの方、または CE70HN、CE50HN で 17 型液晶ディスプレイ (TV チューナーなし)、15 型液晶ディスプレイを選択した方	「17 型液晶ディスプレイ (TV チューナーなし)、15 型液晶ディスプレイの場合」 (●▶P.34) をご覧ください。
CE70HN、CE50HN でディスプレイなしを選択した方	<p>お使いのディスプレイのマニュアルもあわせてご覧ください。ディスプレイの電源は、コンセントからとってください。</p> <p>[出荷時の画面設定について]</p> <p>出荷時の画面設定は 1024 × 768、最高 (32 ビット)、60 ヘルツです。お使いのディスプレイによっては画面が正しく表示されないことがあります。お使いのディスプレイのマニュアルをご覧ください。また、正しく表示されない場合には、リフレッシュレートの調整やモニタ側での調整を行ってください。</p> <p>「CE70HN、CE50HN でディスプレイなしを選択した場合」 (●▶P.35) をご覧ください。</p>

17型ワイド液晶ディスプレイ (TVチューナー内蔵) の場合

警告



- ・ 近くで落雷のおそれがある場合は、すべての接続作業を中止してください。落雷による感電のおそれがあります。

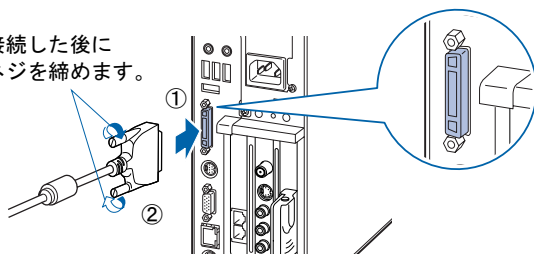


(イラストは機種や状況により異なります)

- 1** ディスプレイ背面から出ているケーブルをパソコン本体に接続します。コネクタと差し込み口の形状を確認して、奥までしっかりと差し込んでください。

■ パソコン本体背面

接続した後に
ネジを締めます。



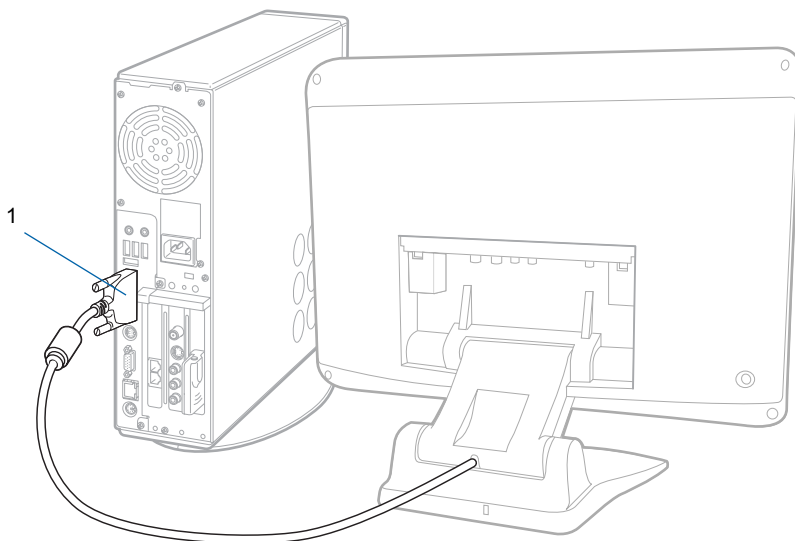
続いて、アンテナケーブルを接続しましょう (→▶P.36)。

17 型液晶ディスプレイ（TV チューナー内蔵）の場合

⚠ 警告



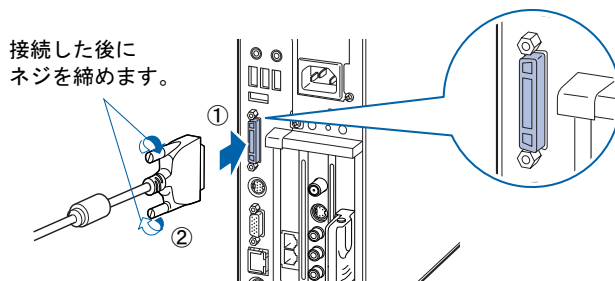
- ・ 近くで落雷のおそれがある場合は、すべての接続作業を中止してください。落雷による感電のおそれがあります。



（イラストは機種や状況により異なります）

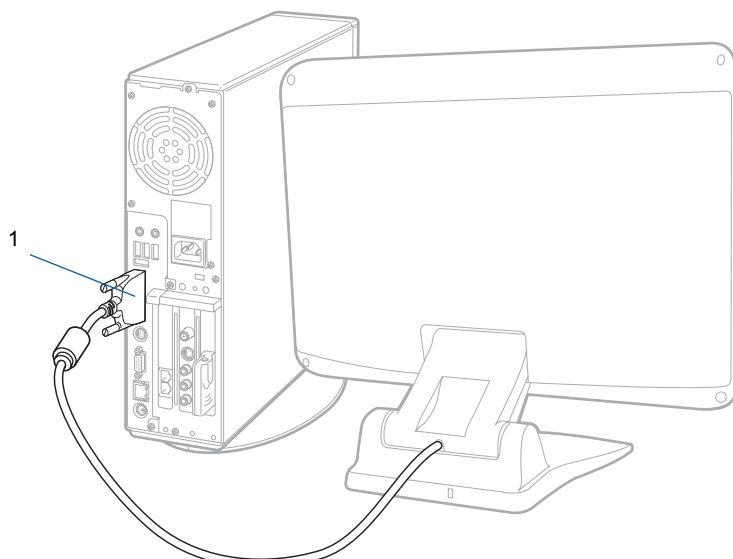
- 1** ディスプレイ背面から出ているケーブルをパソコン本体に接続します。コネクタと差し込み口の形状を確認して、奥までしっかりと差し込んでください。

■ パソコン本体背面



続いて、アンテナケーブルを接続しましょう（●▶P.36）

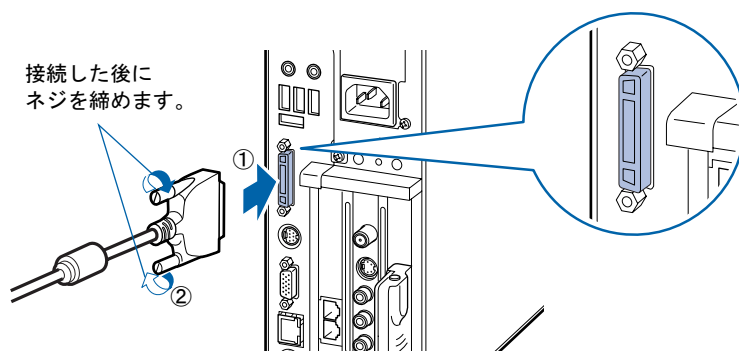
17 型液晶ディスプレイ (TV チューナーなし)、15 型液晶ディスプレイの場合



(イラストは機種や状況により異なります)

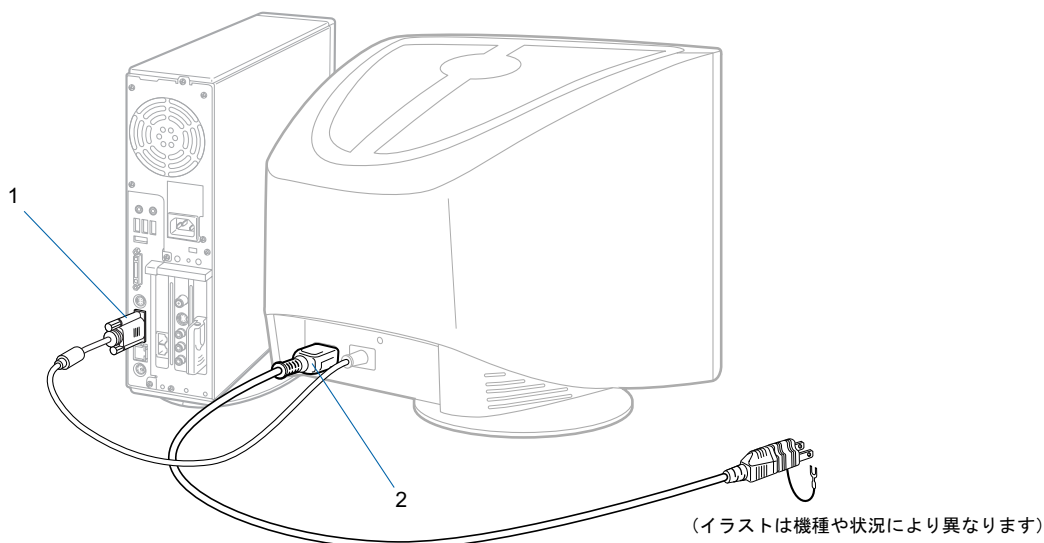
- 1** ディスプレイ背面から出ているケーブルをパソコン本体に接続します。
コネクタと差し込み口の形状を確認して、奥までしっかりと差し込んでください。

■ パソコン本体背面



CE70H7、CE50H7、CE50H7/S、CE50H7/M の場合、または CE70HN、CE50HN で TV チューナーカードを選択した場合は、続いてアンテナケーブルを接続しましょう(●▶P.36)。CE30H7、CE30H5 の場合、または CE70HN、CE50HN で TV チューナーカードを選択しなかった場合は、続いてキーボード/マウスを準備しましょう(●▶P.40)。

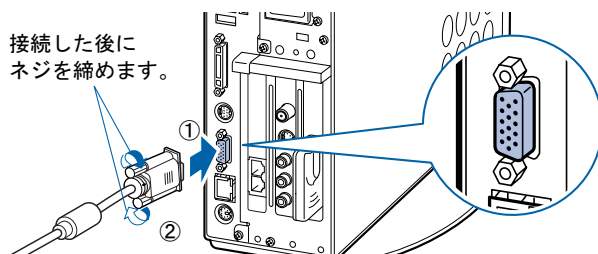
CE70HN、CE50HN でディスプレイなしを選択した場合



1 ディスプレイケーブルをパソコン本体に接続します。

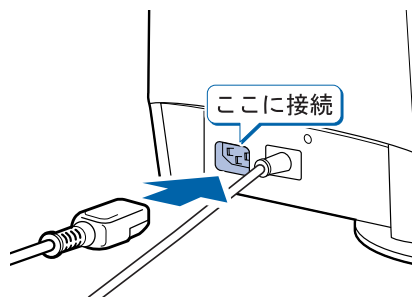
コネクタと差し込み口の形状を確認して、奥までしっかりと差し込んでください。

■パソコン本体背面



2 ディスプレイ用電源ケーブルを、ディスプレイ背面に接続します。

■ディスプレイ背面



TV チューナーカードを選択した場合は、続いてアンテナケーブルを接続しましょう (●▶P.36)。

TV チューナーカードを選択しなかった場合は、続いてキーボード/マウスを準備しましょう (●▶P.40)。

3 アンテナケーブルを接続する (CE70HV、CE70H7、CE50HV、CE50H7、CE50H7/S、CE50H7/Mの場合、CE70HN、CE50HNでTVチューナーカードを選択した場合)

ここでは、アンテナケーブルを接続する方法について説明します。
お使いの機種によって、アンテナケーブルの接続方法が異なります。

お使いの機種	接続方法
CE70H7、CE50H7、CE50H7/S、CE50H7/M をお使いの方、または、CE70HN、CE50HN で 17 型液晶ディスプレイ (TV チューナーなし)、15 型液晶ディスプレイ、ディスプレイなしを選択した方	パソコン本体に接続する場合 (●▶P.37) をご覧ください。
CE70HV、CE50HV をお使いの方、または、CE70HN、CE50HN で 17 型ワイド液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵)、17 型液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) を選択した方	ディスプレイに接続する場合 (●▶P.38) をご覧ください。

⚠ 警告



- ・近くで落雷のおそれがある場合は、すべての接続作業を中止してください。
落雷による感電のおそれがあります。

📌 重要

アンテナケーブル類は添付していません

アンテナケーブル、変換コネクタ、V/U ミキサ、中継コネクタなどは添付していません。市販のものをご購入ください。また、ケーブルは適切な長さのものをご購入ください。
アンテナ設置については、最寄りの電器店にお問い合わせください。

アンテナを接続するときはパソコンの電源を切ってください

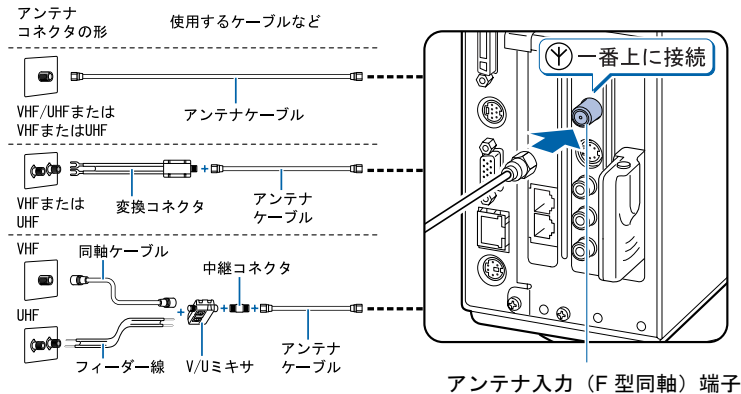
パソコンの電源を切ってから、アンテナケーブルを接続してください。

パソコン本体に接続する場合

1 パソコンの電源が入っている場合は、電源を切ります。

2 アンテナケーブルをパソコン本体に接続します。

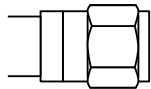
接続のしかたは、壁のアンテナコネクタの形や、お使いになるケーブルによって異なります。下の図から最も近いものを選択し、必要なケーブル類を接続してください。



重要

ネジ式の F 型コネクタプラグをお使いください

アンテナケーブルとパソコンの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式の F 型コネクタプラグのご使用をお勧めします。F 型コネクタプラグの取り付け方については、F 型コネクタプラグのマニュアルをご覧になるか、電器店にお問い合わせください。



F 型コネクタプラグ

F 型コネクタプラグ以外で接続する場合は、次の点にご注意ください

- コネクタの形状（大きさ）によっては、パソコン本体に干渉して接続できない場合があります。
- また、S ビデオケーブルなどの他のケーブルを同時に接続できない場合があります。
- ネジ式の F 型コネクタプラグに比べノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

アンテナケーブルを接続するときは

アンテナケーブルを接続するときは、コネクタの中心にある金属芯を折らないよう、注意してください。

続いて、キーボード／マウスを準備しましょう（●▶P.40）。

ディスプレイに接続する場合

1 パソコンの電源が入っている場合は、電源を切ります。

2 ディスプレイ背面のカバーを取り外します。

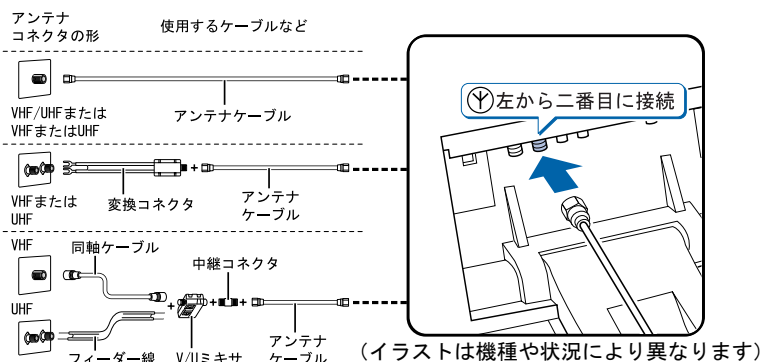
つまみを持ってカバーを開き、取り外します。



(イラストは機種や状況により異なります)

3 アンテナケーブルをディスプレイ背面のアンテナ入力端子に接続します。

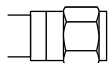
接続のしかたは、壁のアンテナコネクタの形や、お使いになるケーブルによって異なります。下の図から最も近いものを選択し、必要なケーブル類を接続してください。



重要

ネジ式の F 型コネクタプラグをお使いください

- ・アンテナケーブルとディスプレイの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式の F 型コネクタプラグのご使用をお勧めします。F 型コネクタプラグの取り付け方については、F 型コネクタプラグのマニュアルをご覧になるか、電器店にお問い合わせください。
- ・ディスプレイとパソコンを接続する同軸ケーブルは、ネジ式の F 型コネクタプラグをお使いになることをお勧めします。ただし、添付の同軸ケーブルはお使いいただけます。



F 型コネクタプラグ

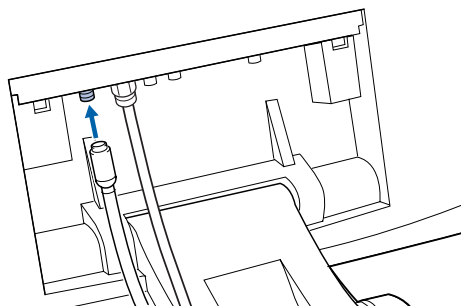
F 型コネクタプラグ以外で接続する場合は、次の点にご注意ください

- ・コネクタの形状 (大きさ) によっては、液晶ディスプレイに干渉して接続できない場合があります。また、S ビデオケーブルなどの他のケーブルを同時に接続できない場合があります。
- ・ネジ式の F 型コネクタプラグに比べノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

アンテナケーブル、同軸ケーブルを接続するときは

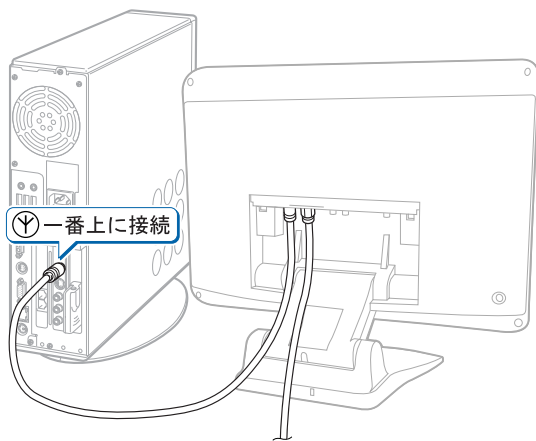
アンテナケーブル、同軸ケーブルを接続するときは、コネクタの中心にある金属芯を折らないよう、注意してください。

- 4** 添付の同軸ケーブルをディスプレイ背面のアンテナ出力端子に接続します。



(イラストは機種や状況により異なります)

- 5** 同軸ケーブルの反対側のコネクタをパソコン本体背面のアンテナ入力（F型同軸）端子に接続します。

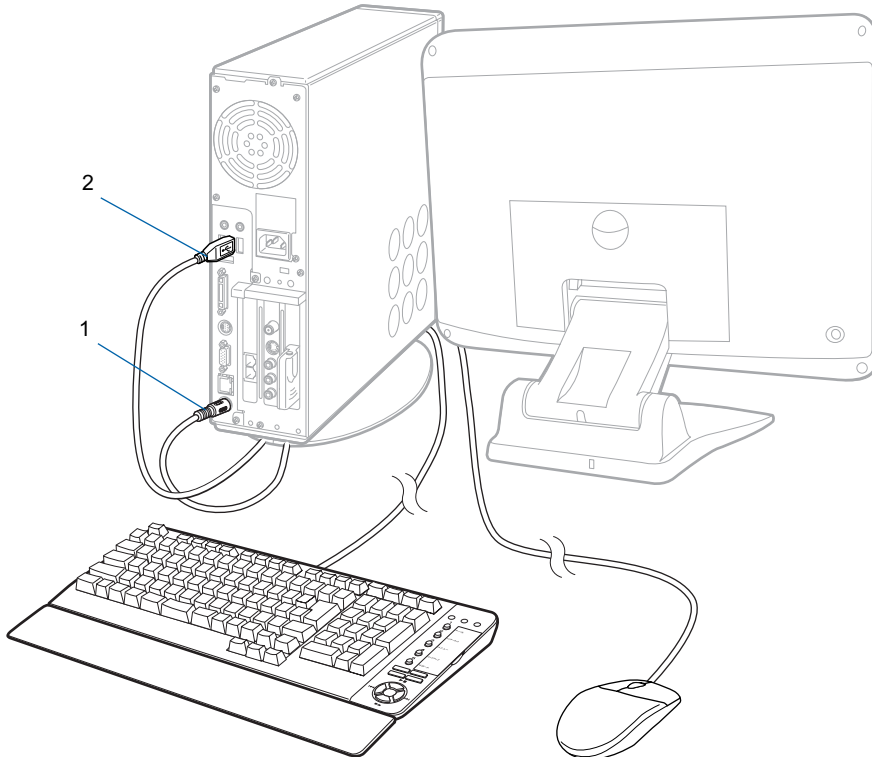


(イラストは機種や状況により異なります)

続いて、キーボード／マウスを準備しましょう（..▶P.40）。

4 キーボード/マウスを準備する

PS/2 キーボードをお使いの方

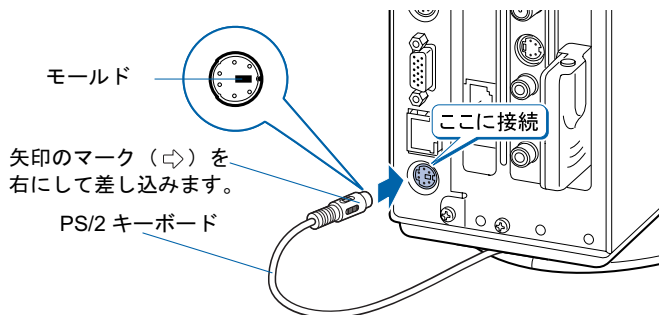


(イラストは機種や状況により異なります)


1 PS/2 キーボードを、パソコン本体に接続します。

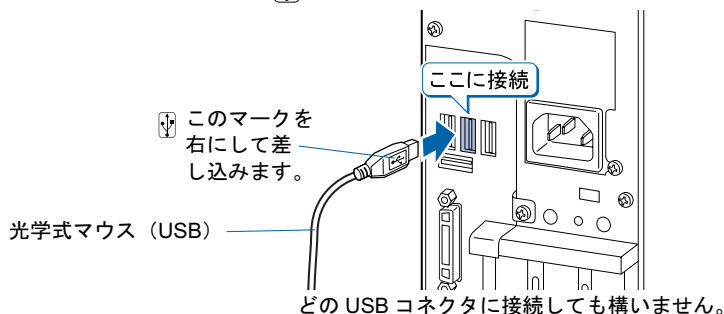
コネクタの四角いモールドのピンが正しく入るように、向きをよく確認してから垂直に差し込んでください。

うまく差せない場合は、もう一度コネクタの向きを確認して、差し込んでください。無理に差し込むと、ピンが破損するおそれがあります。



2 光学式マウス (USB) を、パソコン本体に接続します。

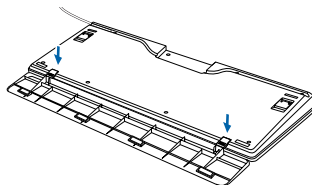
ケーブルのコネクタのを右にして垂直に差し込んでください。



POINT

PS/2 キーボードには、添付のパームレストを取り付けることができます

PS/2 キーボードを裏返して、PS/2 キーボードにパームレストを取り付けます。



パームレストを取り付けた状態で、パームレストに無理な力をかけないでください。取り付け部分が破損する場合があります。

CE70HV、CE70H7、CE50HV、CE50H7、CE50H7/S、CE50H7/M の場合、CE70HN、CE50HN で 17 型液晶ディスプレイを選択した方で、TV チューナーカード内蔵の機種をお使いの場合は、続いてリモコンを準備しましょう (●▶P.44)。


CE70HN、CE50HN で 15 型液晶ディスプレイ、ディスプレイなしを選択した方で、TV チューナーカード内蔵の機種をお使いの場合は、続いてリモコン受光器を接続しましょう (●▶P.43)。

CE30H7、CE30H5 の場合、CE70HN、CE50HN で TV チューナーカードを選択しなかった場合は、続いて電源ケーブルを接続しましょう (●▶P.45)。

ワイヤレスキーボードをお使いの方

ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスに添付のアルカリ乾電池を入れます。

警告

 乾電池を入れる場合、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

重要

ご購入時に添付されている乾電池はお早めに交換してください

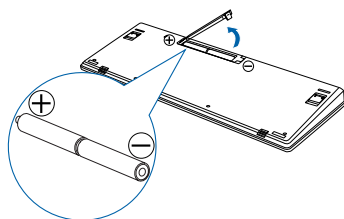
ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。詳しくは、「乾電池について」(▶▶P.105)をご覧ください。

このパソコンを複数台お使いの場合

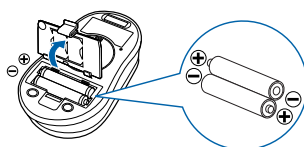
このパソコン複数台を、近くで同時に操作すると、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが混信し、初めて電源を入れてから行う操作（Windows のセットアップ）が正常に行われない場合があります。Windows のセットアップは 1 台ずつ行い、セットアップ終了後に「通信周波数 / ID 設定値について」(▶▶P.107) をご覧になり、ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスの通信周波数 / ID 設定値を変更してください。

1 ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスを裏返して電池ボックスのふたを開け、添付のアルカリ乾電池を入れます。

■ ワイヤレスキーボード

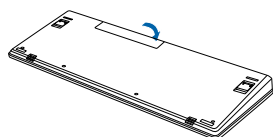


■ ワイヤレスマウス



2 電池ボックスのふたを閉めます。

■ ワイヤレスキーボード



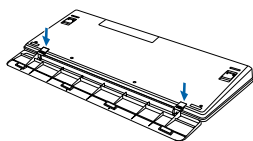
■ ワイヤレスマウス



POINT

ワイヤレスキーボードには、添付のパームレストを取り付けることができます

ワイヤレスキーボードを裏返して、ワイヤレスキーボードにパームレストを取り付けます。



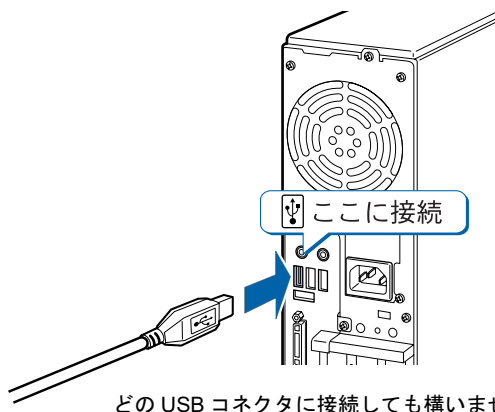
パームレストを取り付けた状態で、パームレストに無理な力をかけないでください。取り付け部分が破損する場合があります。

続いて、リモコンを準備しましょう (▶▶P.44)。

5 リモコン受光器を接続する (CE70HN、CE50HNで15型液晶ディスプレイ、ディスプレイなしを選択した方で、TVチューナーカード内蔵の機種をお使いの場合)

ここでは、リモコン受光器をパソコン本体に接続する方法について説明します。

1 リモコン受光器をパソコン本体に接続します。



POINT

他の機器ではお使いになれません

リモコン受光器は、このパソコンおよび添付のリモコン専用です。他の機器ではお使いになれません。

続いて、リモコンを準備しましょう (…▶P.44)。

6 リモコンを準備する (CE70HV、CE70H7、CE50HV、CE50H7、CE50H7/S、CE50H7/Mの場合、CE70HN、CE50HNでTVチューナーカードを選択した場合)

ここでは、リモコンを使用するための準備について説明します。

リモコンに乾電池を入れる

⚠ 警告

- ⊘ 乾電池を入れる場合、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

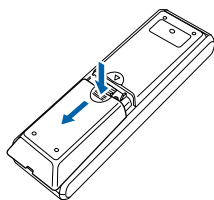
乾電池をお使いになる際は、「安全上のご注意」→「乾電池について」（●▶P.11）も必ずご覧ください。

👉 重要

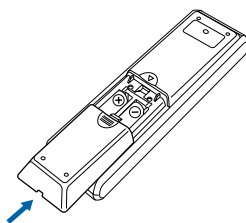
ご購入時に添付されている乾電池はお早めに交換してください

ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。

- 1 リモコンを裏返して電池ボックスのふたを開け、添付のマンガン乾電池を入れます。



- 2 電池ボックスのふたを閉めます。



続いて、電源ケーブルを接続しましょう（●▶P.45）。

7 電源ケーブルを接続する

パソコン本体の電源ケーブルを接続します。

重要

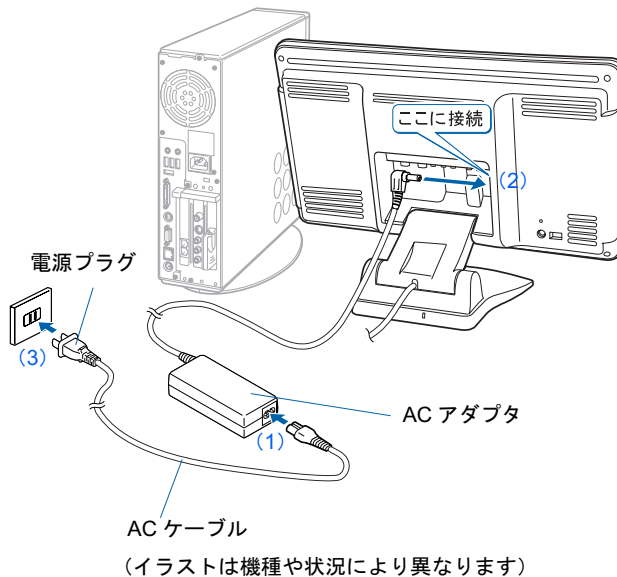
確認してください

ここまでに接続したすべてのケーブルが、正しく接続されているか確認してください。

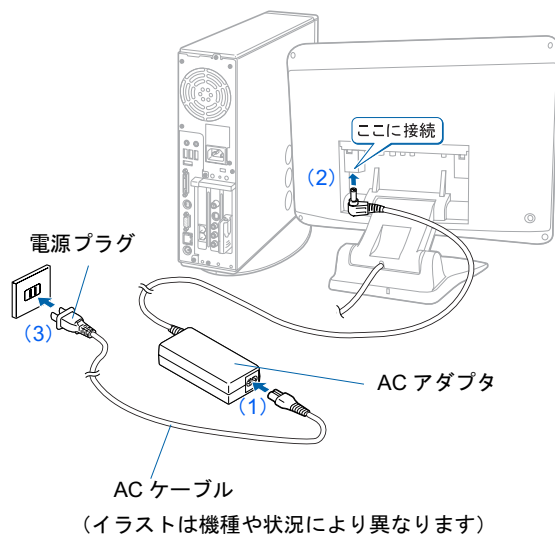
1 17 型ワイド液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵)、17 型液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) をお使いの方は、AC アダプタを、ディスプレイ背面に接続します。

AC アダプタに AC ケーブルを接続し (1)、ディスプレイ背面の電源コネクタに接続します (2)。その後、電源プラグをコンセントに接続します (3)。

■ 17 型ワイド液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) の場合

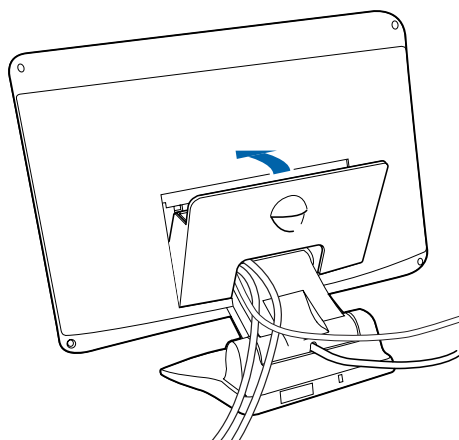


■ 17 型液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) の場合

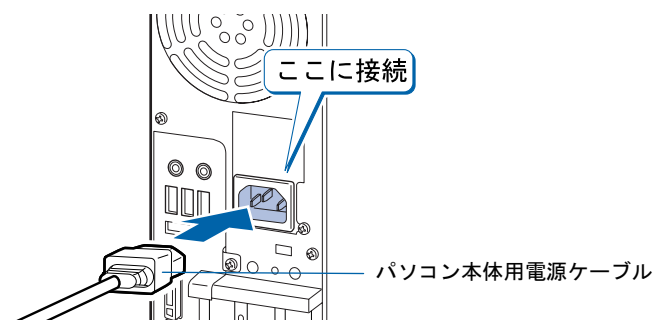


2 カバーを取り付け、ケーブルを外に出します。

カバーを取り付けるときは、ケーブルをはさまないようにしてください。

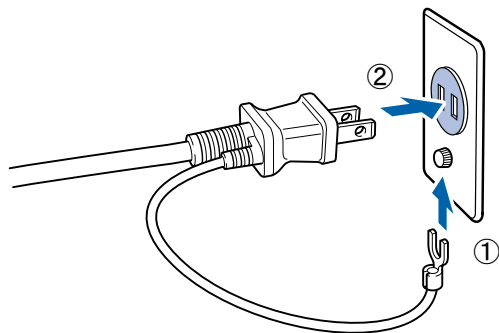


3 パソコン本体用電源ケーブルを、パソコン本体に接続します。



4 パソコン本体用電源ケーブルを、コンセントに接続します。

アース線をコンセントのアースネジに差し込んで、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



重要

コンセントに接続すると

パソコン本体用電源ケーブルをコンセントに接続すると、数秒間電源ランプが点灯して電源が入ったような状態になりますが、故障ではありません。

アース線について

安全のため、電源ケーブルにはアース線がついています。コンセントに電源プラグを差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。

電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

続いて、電源を入れましょう (…▶P.50)。

Memo

3

第3章

パソコンを準備する

初めてパソコンの電源を入れるときに行う準備について説明しています。このマニュアルの手順どおりに進めてください。

1	初めて電源を入れる	50
2	電源の切り方と入れ方	69
3	インターネットを始めるための準備をする	74
4	ホームネットワークを始めるための準備をする (CE50H7/S の場合) ..	77
5	ユーザー登録をする	78
6	準備が完了したら	80

1 初めて電源を入れる

接続を確認する

電源を入れる前に、次ページのイラストをご覧になり、正しく接続できているか確認してください。

接続方法は機種によって異なります。

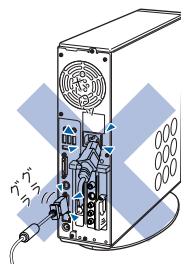
重要

ケーブルはグラグラしていませんか？

奥までしっかりと差し込まれているか、もう一度お確かめください。

セットアップ前には、LAN ケーブル、モジュラーケーブル、ターミナルアダプタ (TA) を接続しないでください

LAN ケーブル、モジュラーケーブル、ターミナルアダプタ (TA) などが接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作 (Windows のセットアップ) の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、接続してください。LAN ケーブルの接続方法については、☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「LAN を使う」をご覧ください。



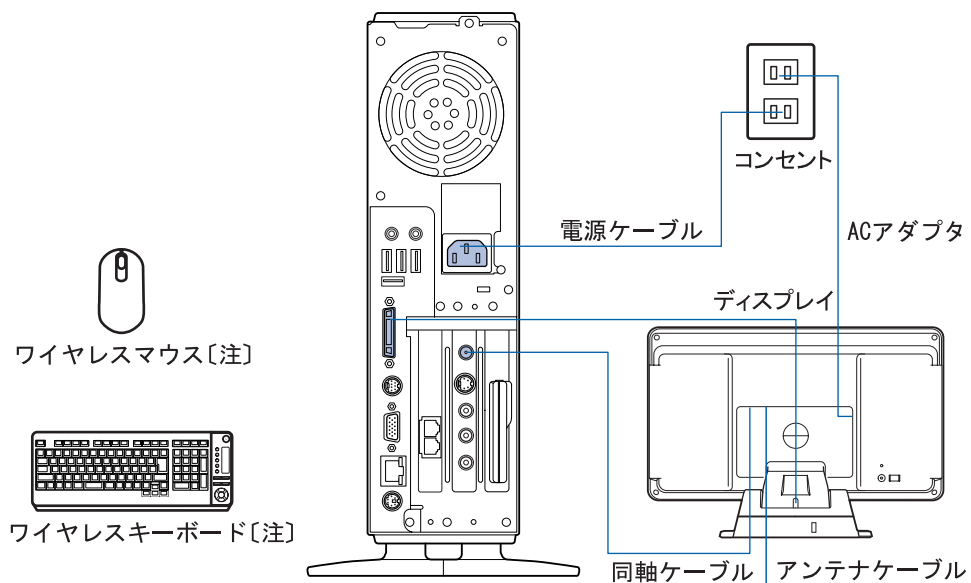
セットアップ前には周辺機器は接続しないでください

プリンタやメモリなどの周辺機器が接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作 (Windows のセットアップ) の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスについて

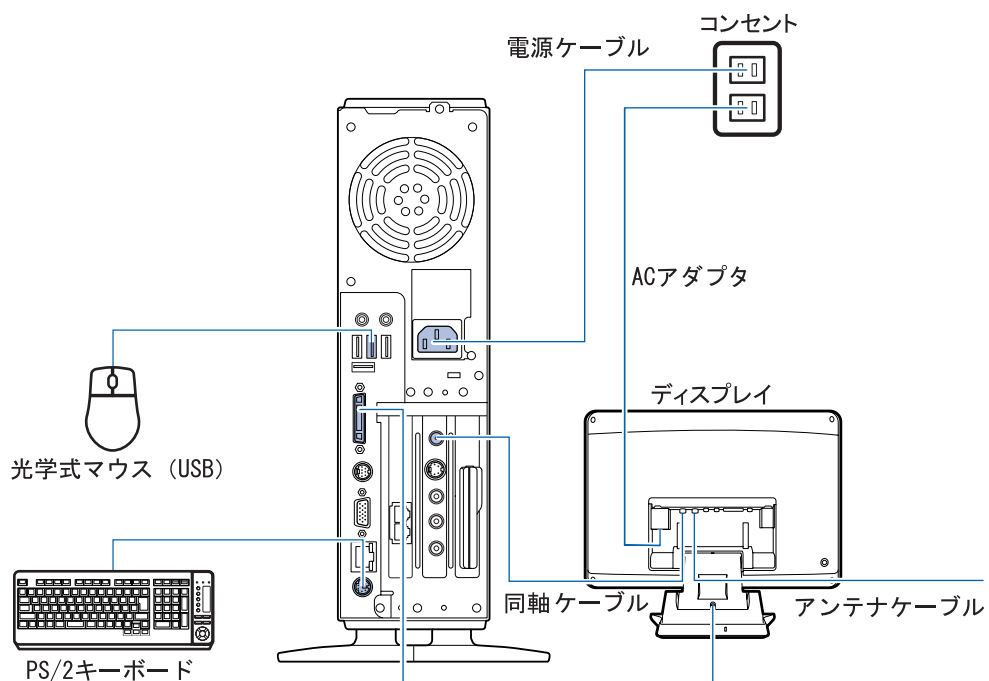
ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスの操作範囲はディスプレイから約 1m 以内です。使用環境によっては、操作範囲が短くなったり、他のワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスと混信し正常に動作しなくなるおそれがあります。その場合は、Windows のセットアップ終了後、「通信周波数／ID 設定値について」(●▶P.107) をご覧になり、ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスの通信周波数／ID 設定値を変更すると改善されることがあります。

CE70HN、CE50HN で 17 型ワイド液晶ディスプレイ（TV チューナー内蔵）を選択した方

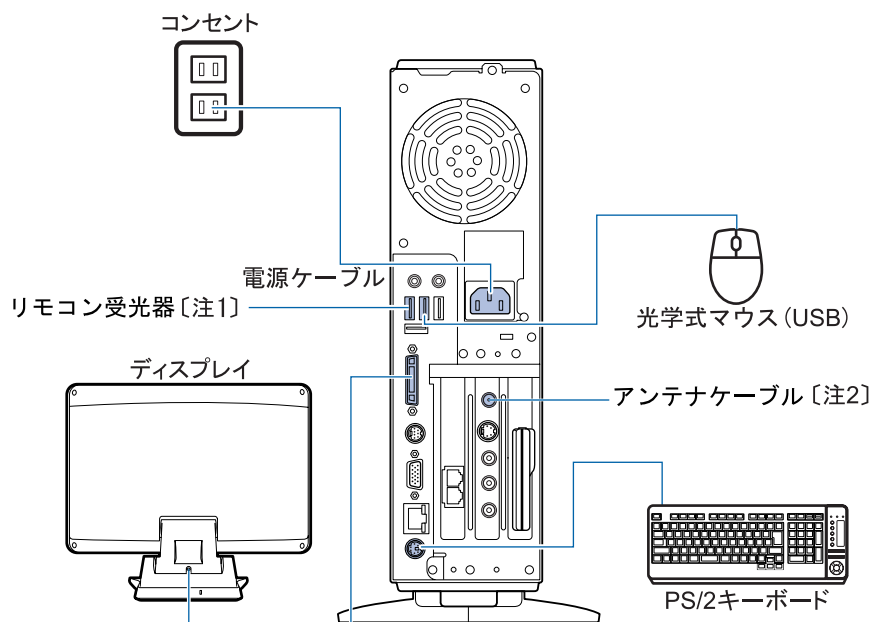


注：添付の乾電池が正しく入っているか確認してください。

CE70HV、CE50HV をお使いの方 CE70HN、CE50HN で 17 型液晶ディスプレイ（TV チューナー内蔵）を選択した方



**CE70H7、CE50H7、CE30H7、CE30H5、CE50H7/S、CE50H7/M
をお使いの方**
CE70HN、CE50HN で 17 型液晶ディスプレイ (TV チューナーなし)、15 型液晶ディスプレイを選択した方

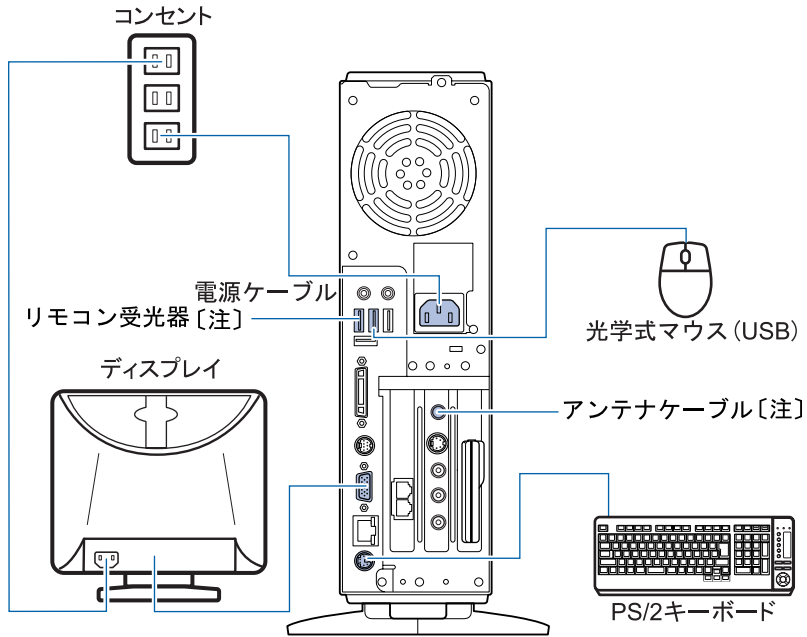


(イラストは機種や状況により異なります)

注 1 : CE50HN で 15 型液晶ディスプレイを選択した方で、TV チューナーカード内蔵の機種をお使いの方のみ確認してください。

注 2 : CE70H7、CE50H7、CE50H7/S、CE50H7/M をお使いの方、CE70HN、CE50HN で TV チューナーカード内蔵の機種をお使いの方のみ確認してください。

CE70HN、CE50HN でディスプレイなしを選択した方



(イラストは機種や状況により異なります)

注 : TV チューナーカードを選択した方のみ確認してください。

初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ

初めて電源を入れるときは、**Windows のセットアップ**という作業が必要です。Windows のセットアップは、初めてパソコンの電源を入れるときに、1 回だけ行う操作です。**このマニュアルの手順どおりに進めてください**。この Windows のセットアップが終わらないと、パソコンは使えるようになりません。

セットアップ時の注意事項

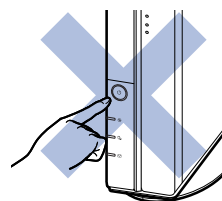
ワイヤレスキーボードをお使いの方は

このパソコン複数台を、近くで同時に操作すると、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが混信し、初めて電源を入れてから行う操作（Windows のセットアップ）が正常に行われな場合があります。

Windows のセットアップは 1 台ずつ行い、セットアップ終了後に「通信周波数 / ID 設定値について」(▶▶P.107) をご覧になり、ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスの通信周波数 / ID 設定値を変更してください。

セットアップが終わるまで電源を切らないでください

Windows のセットアップを途中で止めると、Windows が使えなくなる場合があります。セットアップの最後の手順が終わるまでは、電源を切らないでください。もし電源を切って Windows が使えなくなった場合、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」をご覧ください。



セットアップが終わるまでリモコンは使用しないでください

Windows のセットアップの途中でリモコンを操作すると、Windows のセットアップが途中で終了してしまうことがあります。セットアップが終わるまで、リモコンは使用しないでください。もし電源が切れて Windows が使えなくなった場合には、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」をご覧ください。

17 型ワイド液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) をお使いの方は





セットアップ中は、画面の両端が黒く表示されますが、故障ではありません。セットアップ終了後は全画面表示になります。

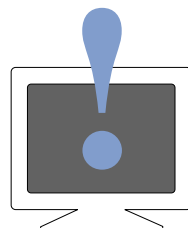
画面が乱れることがあります

電源を入れてから「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されるまでの間、一瞬画面が乱れることがあります。故障ではありませんのでそのままお使いください。

しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく (約 10 分間) 操作しないと、動画 (スクリーンセーバー) が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

マウスを動かしたり、キーボードの     や **(Shift)** のどれかを押し続けると、元の画面に戻ります。



Windows のセットアップを始めましょう。

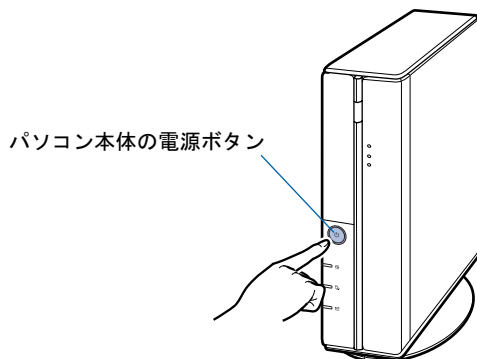
「Windows のセットアップ」とは、次の3つの作業のことです。合計26手順あります。

- 1 「Windows の設定」..▶手順 1 ~ 12
- 2 「必ず実行してください」の実行..▶手順 13 ~ 21
- 3 「サービスアシスタントの起動・終了方法」..▶手順 22 ~ 26

ページの右端にセットアップの進行状況を示していますので参考にしてください。

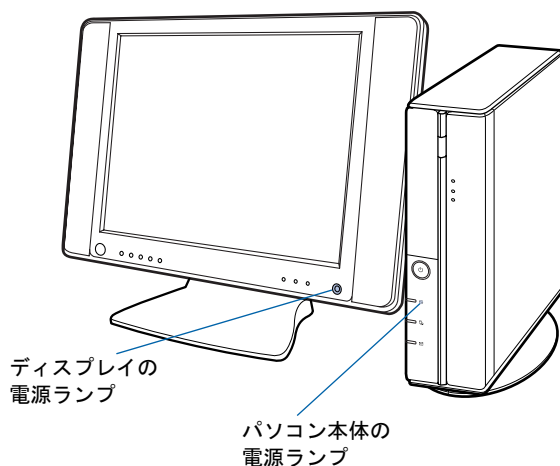
Windows の設定

1 パソコン本体の電源ボタンを押します。



2 パソコン本体とディスプレイの電源ランプが緑色に点灯していることを確認します。

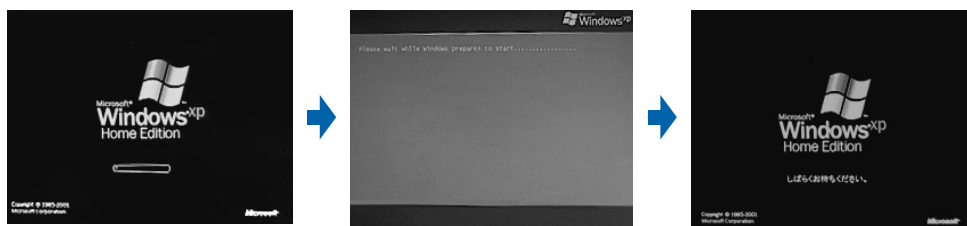
電源が入ると、画面にさまざまな文字などが表示されます。



(イラストは機種や状況により異なります)

3 そのまましばらくお待ちください

電源を入れると、次のような画面が表示されます。



注：画面は Windows XP Home Edition のものです。
Windows XP Professional の場合は、一部表示が異なります。

パソコンが再起動します。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。

手順 5 の画面 (▶▶P.57) が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。
途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。

もし電源を切って Windows が使えなくなった場合は、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」をご覧ください。

4 マウスを用意します。

マウスを机の上などの平らな場所に置き、左右のボタンに指がかかるように手を軽く乗せます。

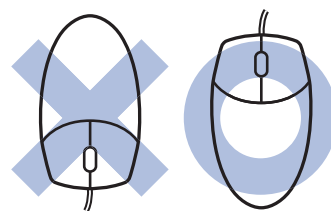
手のひらの下の部分が、軽く机に触れるようにしてください。



ここが机に触れるようにします

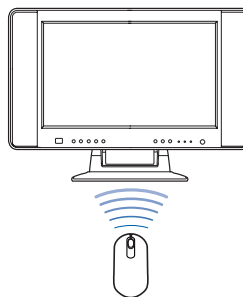
POINT

光学式マウス (USB) はケーブルをパソコン本体に向けて使います。



マウスの向きに注意！

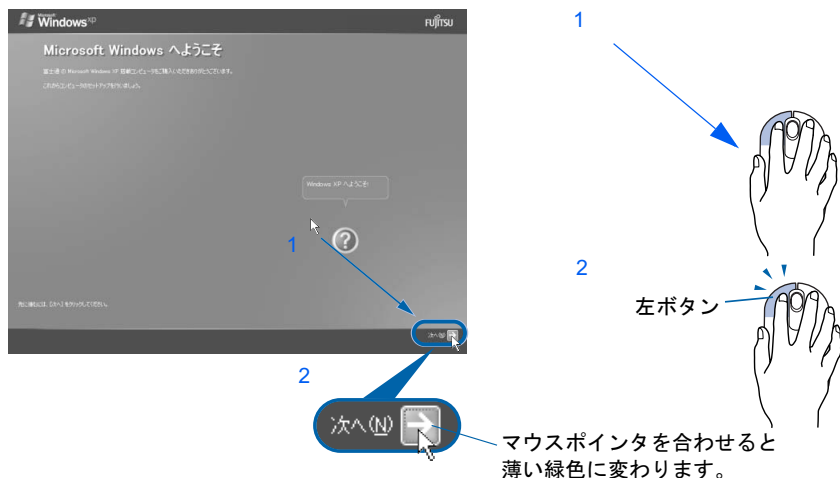
ワイヤレスマウスはボタンがあるほうをディスプレイに向けて使います。



5 1 画面上の^{マウス}を「次へ」の右の^{矢印}に合わせ、2 マウスの左ボタンを軽くカチッと1回押して、すぐ離します。

マウスを平らな場所に置いたまま、すべらせると、マウスの動きに合わせて、^{マウスポインタ}が画面の上を動きます。

2の操作のことを、「クリック」といいます。



POINT

これ以降は機種により画面が異なる場合があります。

このマニュアルと違う画面が表示された場合は、画面の指示に従い、手順 11 まで進めてください。

キーボードやマウスで操作できない場合

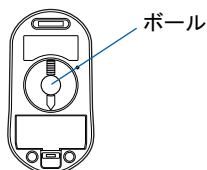
キーボードやマウスが操作できなくなった場合は、「使用上のお願い」(●▶P.20)をご覧ください。光学式マウスをお使いの方は、「光学式マウスをお使いになる上での注意事項」(●▶P.58)もご覧ください。それでも操作できない場合は、次の手順に従ってパソコンの電源を入れ直してください。

1. パソコン本体の電源ボタン(●▶P.84)を4秒以上押したままにして、強制的に電源を切ります。
2. ワイヤレスキーボードをお使いの方は、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスに乾電池が正しく入っているか確認します(●▶P.42)。PS/2キーボードをお使いの方は、キーボードとマウスが正しく接続できているか確認します(●▶P.40)。
3. ディスプレイが正しく接続できているか確認します(●▶P.31)。
4. もう一度パソコン本体の電源ボタンを押して電源を入れます(4秒以上押さないでください)。

マウスのしくみ

・ワイヤレスマウス

ワイヤレスマウスには、裏面にボールが付いています。マウスを机の上ですべらせると、ボールが回転して、画面上のマウスポインタが動くようになっています。



・光学式マウス (USB)

光学式マウスには、裏面に光学式読み取りセンサーが付いています。マウスを机の上などですべらせると、マウス裏面から出された赤い光の陰影を光学式センサーで検知し、画面上のマウスポインタが動くようになっています。



光学式マウスをお使いになる上での注意事項

光学式マウスは、机の上だけでなく、紙の上などでもお使いになることができますが、次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。

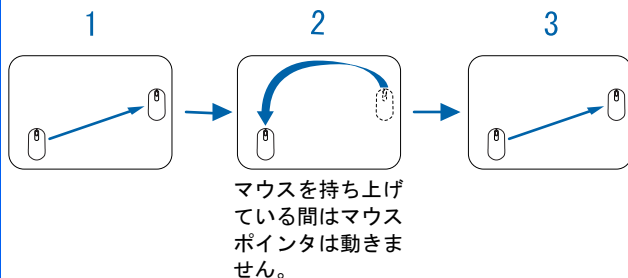
- ・鏡やガラスなど、反射しやすいもの
- ・光沢があるもの
- ・濃淡のはっきりした紋模様や柄のもの（木目調など）
- ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

光学式センサーは机などと接触せずにマウスの動きを検知しているため、特にマウスパッドなどの必要はありませんが、マウス本体は机などと接触しているため、傷が付きやすい机やテーブルの上では、マウスパッドなどをお使いになることをお勧めします。

マウスパッドをお使いになる場合は、明るい色の無地のマウスパッドをお使いになることをお勧めします。



マウスが机の端まできたら

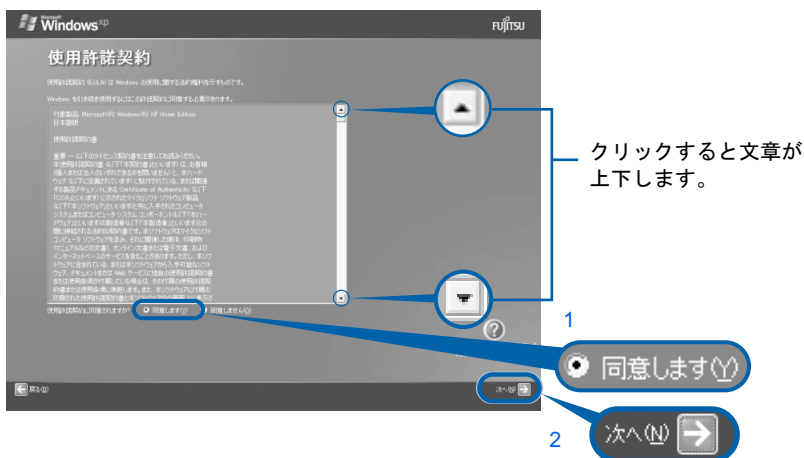
1 マウスが机の端まできたら、2 いったんマウスを持ち上げて、もう一度別の位置から動かしてください。マウスを持ち上げている間は、マウスポインタは動きません。



ボタンは軽く押すだけで OK!

力を入れて押す必要はありません。マウスのボタンはカチッと1回押したら、すぐ指を離すようにします。

- 6** **1 Windows の使用許諾契約書の内容をご覧になり、ご同意いただけるときは「同意します」をクリックして**  **にし、** **2 「次へ」の右の**  **をクリックします。**




注：画面は Windows XP Home Edition のものです。
Windows XP Professional の場合は、一部表示が異なります。

次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

重要

「同意しません」をクリックした場合

「続ける前に...」という画面が表示されます。使用許諾契約書にご同意いただけないと、このパソコンはお使いになれません。

手順6の画面に戻るには、表示された画面で「戻る」の左の  をクリックしてください。

- 7** 「次へ」の右の  をクリックします。

表示されているコンピュータの名前は、ここでは変更しません。コンピュータの名前は後から変更できます。詳しくは、Windows のヘルプを「コンピュータ名」で検索し、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。



次の画面が表示されるまでお待ちください。

電源を切らずに次のページへ

手順 8、9 の画面は Windows XP Professional の場合のみ表示されます。Windows XP Home Edition の場合は表示されないので、手順 10 へ進んでください。

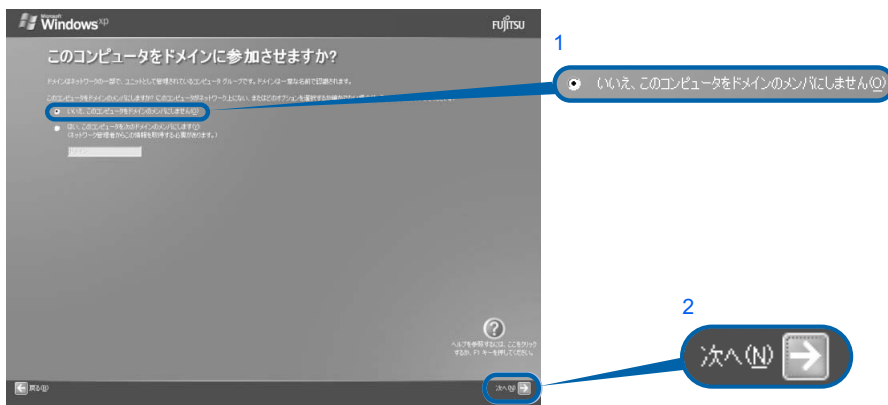
8 「次へ」の右の をクリックします。

ここでは何も入力しません。管理者パスワードは後から設定できます。詳しくは、Windows のヘルプを「パスワード」で検索し、「ユーザーのパスワードを変更する」をご覧ください。



9 1 「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません」の左が になっていることを確認し、2 「次へ」の右の をクリックします。

ドメインの設定は後から行えます。詳しくは、Windows のヘルプを「ドメイン」で検索し、「ドメインに参加する」をご覧ください。



10 「次へ」の右の➡をクリックします。



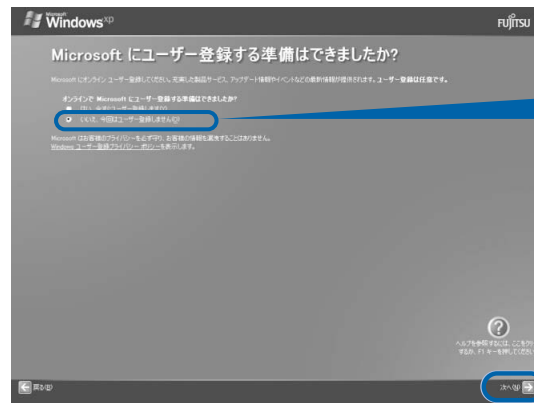
POINT

こんな画面が出た！

「インターネットに接続する方法を指定してください」という画面が表示された場合は、「省略」の右の➡をクリックします。

インターネット接続の設定は、セットアップが最後まで終わってから、「インターネットを始めるための準備をする」(▶P.74)をご覧ください。

11 1 「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックして⊙にし、2 「次へ」の右の➡をクリックします。



POINT

「はい、今すぐユーザー登録します」を選択して進んでしまった場合

「ユーザー登録情報を入力してください」という画面で「戻る」の左の⏪をクリックして、手順 11 からやり直します。

「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか?」という画面が表示された場合

「いいえ、今回はインターネットに接続しません」をクリックして⊙にし、「次へ」の右の➡をクリックします。

電源を切らずに次のページへ

12 「完了」の右の➡をクリックします。



パソコンが再起動します。

次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

POINT

Windows 起動時、または終了時の画面について

Windows 起動時、または終了時に、画面左上が白くぼやけて見えるときがあります。これは画面のデザインであり故障ではありません。

「FMV」ロゴ入りの壁紙が表示された画面について

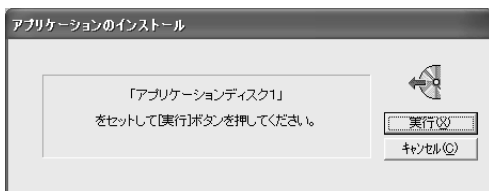
「FMV」ロゴ入りの壁紙が表示された画面では、画面がにじんだように見えるときがあります。これは壁紙のデザインであり故障ではありません。

「アプリケーションディスク 1」をセットして [実行] ボタンを押してください。」というメッセージが表示された場合

ご購入後初めて電源を入れて Windows のセットアップを行っている場合は、このメッセージは表示されません。

メッセージが表示されない場合は、そのまま次の手順にお進みください。

☑『FMV 活用ガイド』をご覧になりリカバリ作業を行っている場合は、再起動後に「アプリケーションディスク 1」をセットして [実行] ボタンを押してください。」というメッセージが表示されます。

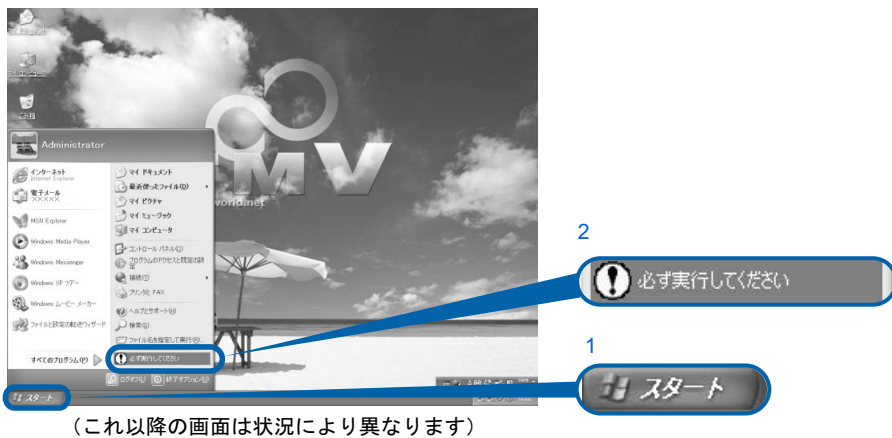


メッセージが表示された後の手順については、もう一度☑『FMV 活用ガイド』をご覧ください。

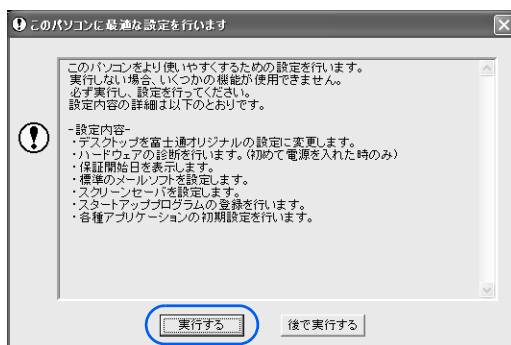
「必ず実行してください」の実行

13 1 「スタート」ボタン→2 ①必ず実行してください の順にクリックします。

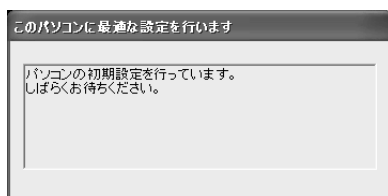
①必ず実行してください は、パソコンの初期設定を行うプログラムです。以降の手順は最後まで必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。



14 「実行する」をクリックします。

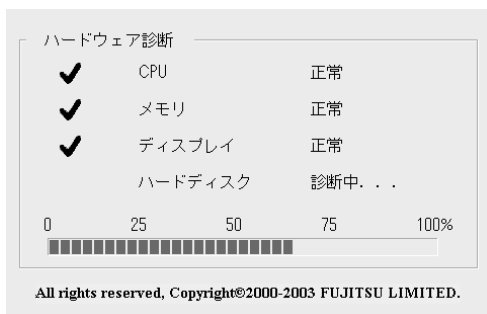


パソコンの初期設定が始まり、次の画面が表示されます。手順 15 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。



15 ハードウェア診断が始まり、次の画面が表示されます。手順 16 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

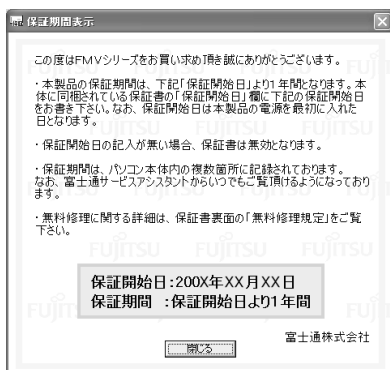
途中、ディスプレイを診断する画面なども表示されます。



ハードウェア不良の画面が表示された場合

画面の指示に従ってください。

16 この画面が表示されたら、保証書を用意します。



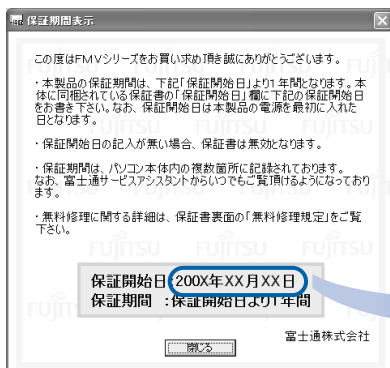
保証書は梱包箱に貼り付けられています。



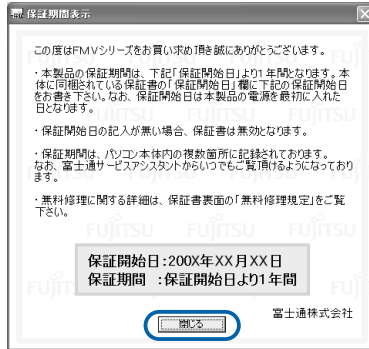
17 画面に表示された保証開始日を、保証書に書き写します。

保証書に保証開始日が記入されていないと、保証期間内であっても有償での修理となります（なお、保証開始日は本製品の電源を最初に入れた日になります）。

保証書は大切に保管してください。

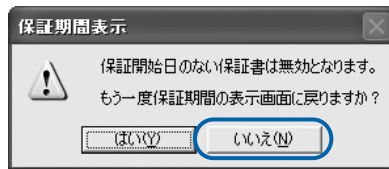


18 「閉じる」をクリックします。

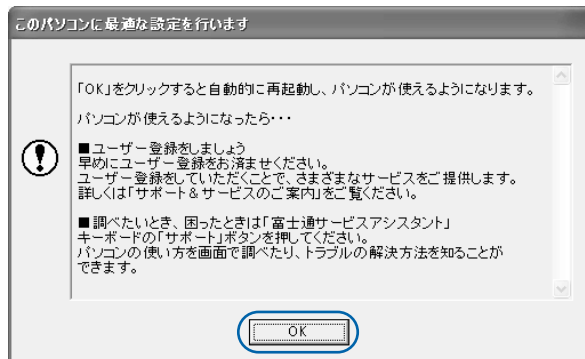


19 次の手順に進んで良ければ「いいえ」をクリックします。

もう一度保証期間を確認したいときは「はい」をクリックしてください。



20 「OK」をクリックします。



(機種や状況により一部表示が異なります)

画面がいったん暗くなり、パソコンの再起動が始まります。

次の画面が表示されるまで少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

21 画面が表示されたことを確認します。

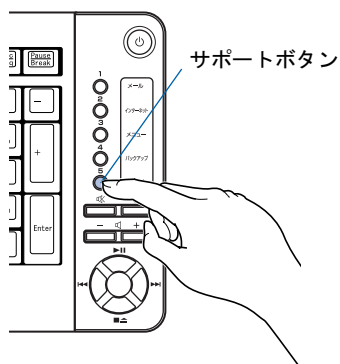


電源を切らずに次のページへ

サービスアシスタントの起動・終了方法

サービスアシスタントは、パソコンの操作でわからないことがあったとき、困ったときにご覧ください。ここでは、サービスアシスタントを一度起動・終了してみます。

22 キーボードの「サポート」ボタンを押します。

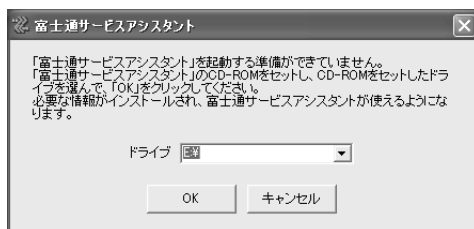


(イラストは機種や状況により異なります)

POINT

「富士通サービスアシスタント」を起動する準備ができていません。」というメッセージが表示されたときは

このパソコンに添付されているⓈ「富士通サービスアシスタント」のCD-ROM をセットし、画面のメッセージに従ってインストールしてください。

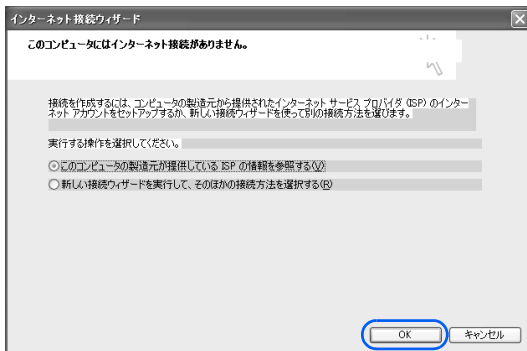


機種を選択する画面が表示されたときは

別紙などで特に指示がない限り、お使いの機種名（品名）を選んでください。機種名の調べ方は「機種名を確認してください」（●▶P.18）をご覧ください。

23 次の画面が表示されたら、「OK」をクリックします。

インターネット接続の設定は後で行います。ここではインターネットに接続しません。

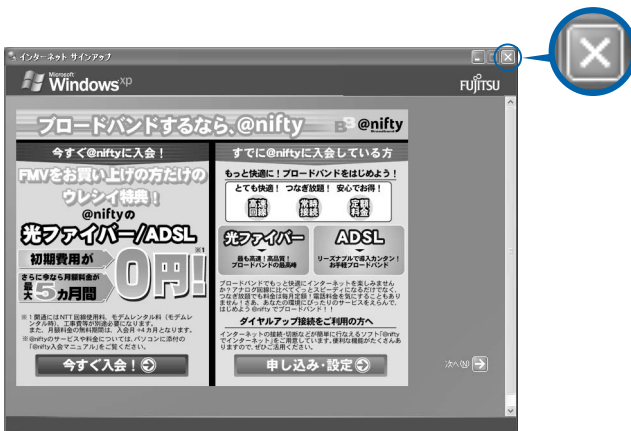


POINT

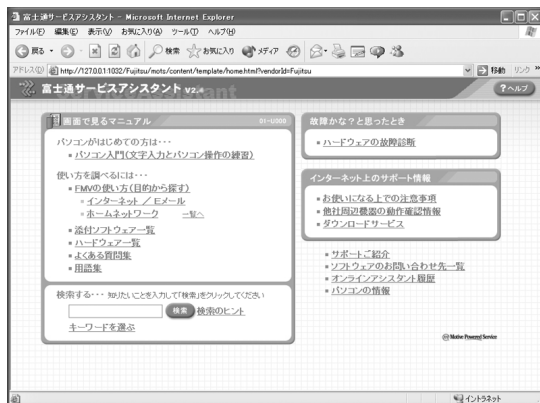
最新のサポート情報をインターネットでご案内しています

サービスアシスタントには、インターネットを使って最新のサポート情報を表示する機能があります。この機能はインターネット接続の設定を行うと利用できるようになります。セットアップが最後まで終わってから「インターネットを始めるための準備をする」(▶P.74)をご覧ください。

24 ウィンドウ右上にある **X** をクリックします。



25 サービスアシスタントが起動します。



これがサービスアシスタントのトップ画面です。「ヘルプ」をクリックすると詳しい使い方がわかります。

26 続けてセットアップを行うので、サービスアシスタントのトップ画面で をクリックし、サービスアシスタントを終了します。



POINT


これ以降、サービスアシスタントを起動するには
キーボードの「サポート」ボタンを押してください。手順 23 ~ 24 の画面は、サービスアシスタントを初めて起動したときだけ表示されます。

これで Windows のセットアップは終わりです。

POINT

ソフトウェアを起動するには

ソフトウェアは、@メニューから起動してください(@メニューには、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」から起動できないソフトウェアも登録されています)。

詳しくは、 『FMV 活用ガイド』 → 「FMV のおすすめ活用法」 → 「多彩なソフトウェアで楽しむ」 → 「パソコンでやってみたいことを「@メニュー」で調べる」をご覧ください。

続いて、電源の切り方と入れ方を覚えましょう (●▶P.69)。

2 電源の切り方と入れ方

電源の切り方と入れ方はとても重要です。正しい方法を覚えてください。

⚠ 注意



- ・ CD/DVD などを取り出す場合は、CD/DVD ドライブのトレイに指などを入れしないでください。けがの原因となることがあります。

電源を切る

1 それまで行っていた作業を終了します。

ソフトウェアを起動している場合は、作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了します。

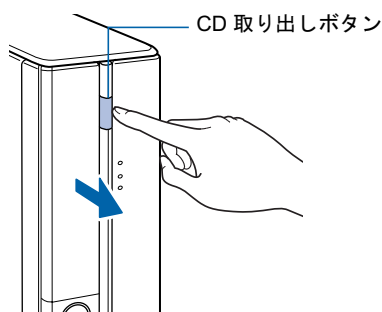
例えばワープロソフトを使って文書を作成中の場合は、文書データを保存し、ワープロソフトを終了します。

🔍 POINT

ソフトウェアを終了しなかった場合

ソフトウェアを起動したままでもこれ以降の操作を進められますが、途中で作業中のデータを保存するか確認するメッセージが表示されることがあります。誤動作の原因となるので、あらかじめソフトウェアを終了しておくことをお勧めします。

2 CD、DVD などがセットされていたら、CD 取り出しボタンの中央を押して取り出します。



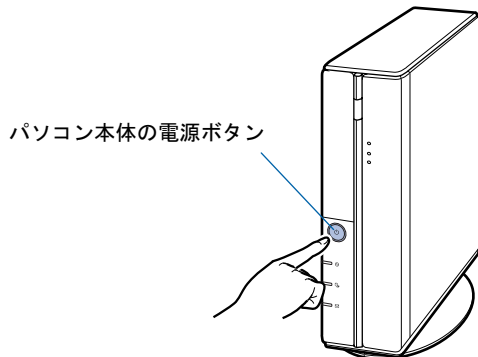
🔍 POINT

CD や DVD などを入れたままだと

パソコンの電源を切ってしまうと、CD や DVD などは取り出せません。

3 パソコン本体の電源ボタンを押します。

しばらくすると Windows が終了し、パソコン本体の電源が自動的に切れます（画面が暗くなり、パソコン本体の電源ランプが消えます。17 型ワイド液晶ディスプレイ（TV チューナー内蔵）、17 型液晶ディスプレイ（TV チューナー内蔵）をお使いの方は、ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯します。17 型液晶ディスプレイ（TV チューナーなし）、15 型液晶ディスプレイをお使いの方は、ディスプレイの電源ランプが消えます）。



重要

電源ボタンは押し続けしないでください

電源ボタンを 4 秒以上押し続けると、Windows などの正常な終了処理ができないまま、強制的に電源が切れてしまいます。

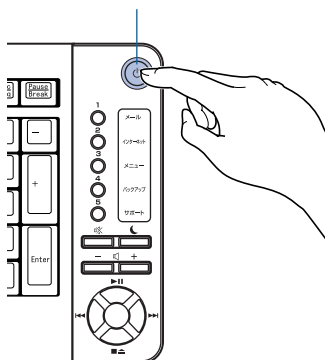
POINT

電源を切るときは

- ・ワイヤレスキーボードをお使いの方は、ワイヤレスキーボードの電源ボタンでも電源を切ることができます。
- ・CE70HV、CE70H7、CE50HV、CE50H7、CE50H7/S、CE50H7/M お使いの方、CE70HN、CE50HN で TV チューナーカードを選択した方は、リモコンの電源ボタンでも電源を切ることができます。

リモコンの電源ボタンは約 1 秒間押してください。

ワイヤレスキーボードの電源ボタン



リモコンの電源ボタン



（イラストは機種や状況により異なります）

POINT**次の方法でも電源を切ることができます**

1. 「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。
2. 「電源を切る」をクリックします。
しばらくすると Windows が終了し、パソコン本体の電源が自動的に切れます（画面が暗くなり、パソコン本体とディスプレイの電源ランプが消えます）。

電源が切れない場合

パソコンが動かなくなり（マウスやキーボードが操作できないなど）、電源が切れないときは、次のように操作してください。

[Ctrl] と **[Alt]** を押しながら **[Delete]** を押してソフトウェアを強制終了し、その後で電源を切ってください。ソフトウェアの強制終了については、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q 操作中に画面が動かなくなった」をご覧ください。

強制終了できないときは、パソコン本体の電源ボタンを 4 秒以上押し続けて強制的に電源を切ってください。

電源を切った後、パソコン本体の電源ランプが消えている（電源が切れている）ことを確認してください。電源ランプがオレンジ色に点灯しているときは、スタンバイ状態になっているため電源が切れていません。もう一度電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ってください。

4 パソコンに接続されている機器の電源を切ります。

続いて、電源の入れ方を覚えましょう（▶▶P.72）。

電源を入れる

👉 重要

電源を入れるときの注意

- ・ 電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで 10 秒ほどお待ちください。
- ・ 液晶ディスプレイは、必ずパソコン本体の電源ケーブルをコンセントに差し込む前に接続しておいてください。パソコン本体の電源ケーブルをコンセントに差し込んだ後にディスプレイを接続すると、正常に動作しないことがあります。

1 パソコンに接続されている機器の電源を入れます。

🔍 POINT

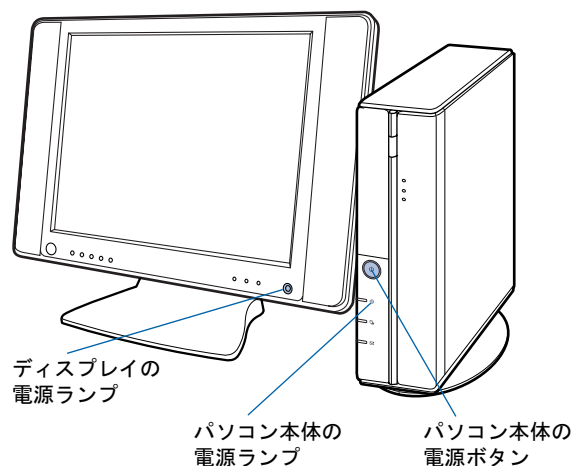
ディスプレイの電源は入れません

ここでは、ディスプレイの電源は入れません。パソコン本体の電源を入れると、自動的にディスプレイの電源が入ります。

2 電源ケーブルがコンセントに接続されていない場合は、電源プラグをコンセントに差し込みます。

3 パソコン本体の電源ボタンを押します。

パソコン本体とディスプレイの電源ランプが点灯し、画面にさまざまな文字などが表示されます。そのまま、しばらくお待ちください。



(イラストは機種や状況により異なります)

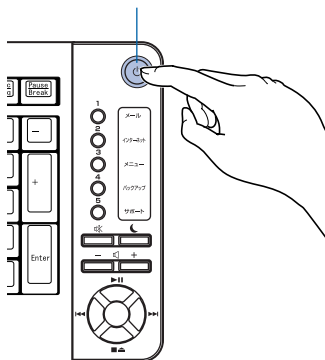
POINT**CE70HN、CE50HN でディスプレイなしモデルを選択した方は**

パソコン本体の電源ボタンを押す前に、ディスプレイの電源ランプが点灯しているかを確認してください。点灯していない場合は、ディスプレイの電源ボタンを押してください。

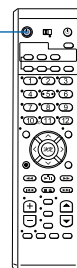
電源を入れるときは

- ・ワイヤレスキーボードをお使いの方は、ワイヤレスキーボードの電源ボタンでも電源を入れることができます。
- ・CE70HV、CE70H7、CE50HV、CE50H7、CE50H7/S、CE50H7/M をお使いの方、CE70HN、CE50HN で 17 型ワイド液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) または 17 型液晶ディスプレイを選択した方で TV チューナーカード内蔵の機種をお使いの方は、リモコンの電源ボタンでも電源を入れることができます。
リモコンの電源ボタンは約 1 秒間押してください。

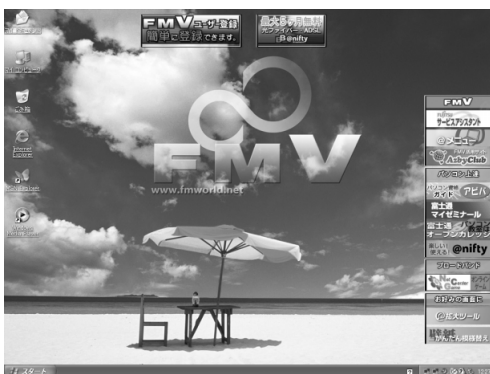
ワイヤレスキーボードの電源ボタン



リモコンの電源ボタン



(イラストは機種や状況により異なります)

4 このような画面が表示されたことを確認します。

(画面は機種や状況により異なります)

Windows が起動しない場合

電源を入れても Windows が起動しないときは、ディスプレイなどが正しく取り付けられているかを確認してください。

「接続を確認する」(●▶P.50)

以上の点を確認しても Windows が起動しない場合は、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンが起動しない、画面に何も映らない [DESKPOWER]」をご覧ください。

3 インターネットを始めるための準備をする

このパソコンでインターネットやオンラインユーザー登録を利用するためには、インターネットに接続するための準備が必要です。

なお、初めてインターネットに接続する前には、ウイルスや不正アクセスからパソコンを守るためのセキュリティ対策を必ず行ってください。

初めてインターネットに接続する前のセキュリティ対策

ここでは、ウイルスや不正アクセスからパソコンを守る対策について紹介します。初めてインターネットに接続する前に必ずお読みください。

お客様のパソコンは、お客様自身の責任でウイルスなどから守っていただく必要があります。マニュアルで紹介する対策を参考にし、Windows やソフトウェアなどを最新の状態に保つなど常にセキュリティに気を配って、より安心してパソコンを使えるようにしましょう。

セキュリティ対策の流れについて

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。最近では、インターネットに接続するだけで感染するウイルスなどもありますので、モデムやLANなどの通信回線に接続してインターネットやオンラインユーザー登録をはじめる前に、次の手順に従って Windows やソフトウェアなどを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。

ここでは、セキュリティ対策の流れについて説明します。

重要

次の方は、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしないでください


セットアップができないなど一部の機能が使えなくなる場合があります。

- ・「ファミリーネットワークステーション」をご利用の方
- 「ファミリーネットワークステーション」には、ファイアウォールの機能が搭載されていますので、Windows XP の「インターネット接続ファイアウォール」を有効にする必要はありません。
- 「Windows Update」を実行する」の手順のみ行ってください。

Step1 インターネットに接続する前に「インターネット接続ファイアウォール (ICF)」を有効にする

何の対策もせずインターネットに接続してしまうと、ウイルスに感染するなどの危険があります。Windows XP には「インターネット接続ファイアウォール (ICF)」という標準機能があり、インターネットに接続するパソコンを保護することができます。

まず、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしましょう。

詳しくは、『FMV 活用ガイド』→「パソコンは自分自身で守ろう」→「ウイルスや不正アクセスからパソコンを守る」→「Windows XP のインターネット接続ファイアウォールを利用する」をご覧ください。


Step2 インターネットに接続する

Step3 「Windows Update」を実行する

「Windows Update」は、Windows を常に最新の状態に整えるためのマイクロソフト社が提供するサポート機能です。

「Windows Update」を実行すると、Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新・修正できます。最新の状態にすることにより、ウイルスが侵入したり、不正アクセスされたりするセキュリティホールをなくすための対策（パッチをあてると言います）もされます。


ここでは、「Windows Update」の中の「重要な更新」をインストールします。

詳しくは、『FMV 活用ガイド』→「パソコンは自分自身で守ろう」→「ウイルスや不正アクセスからパソコンを守る」→「Windows Update」を実行する」をご覧ください。

Step4 「インターネット接続ファイアウォール (ICF)」を無効に戻す


「インターネット接続ファイアウォール (ICF)」を有効にしておく、より安全性が高まりますが、一部のソフトウェアの機能が制限される可能性もあります。

パソコンを最新の状態にしたので、ここでは無効に戻します。

詳しくは、『FMV 活用ガイド』→「パソコンは自分自身で守ろう」→「ウイルスや不正アクセスからパソコンを守る」→「Windows XP のインターネット接続ファイアウォールを利用する」をご覧ください。

実際にセキュリティ対策をするには


「セキュリティ対策の流れについて」で説明した内容は、インターネットに接続するための設定をする中で、同時に行います。

次の「インターネットに接続するには」(▶P.76) をご覧ください。

インターネットに接続するには

インターネットの接続方法には、一般的に次の方法があります。

- ・ 一般の電話回線（アナログ）
- ・ ISDN
- ・ 携帯電話・PHS
- ・ ADSL
- ・ ケーブルテレビ（CATV）
- ・ 光ファイバー（FTTH）

それぞれの設定方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「インターネット／Eメール」→「接続の設定」をご覧ください。

設定の手順の中で「初めてインターネットに接続する前のセキュリティ対策」（●▶P.74）で説明したセキュリティ対策の方法も説明されています。

また、各プロバイダや回線事業者から提供される書類や、各機器のマニュアルを必ずご覧ください。

なお、ホームネットワークを組んでこのパソコンを使用する場合には、インターネットに接続するためにネットワーク機器の接続や設定を行う必要があります。詳しくは、「ホームネットワークを始めるための準備をする（CE50H7/Sの場合）」（●▶P.77）をご覧ください。

重要

ブロードバンド・インターネットをご利用の方は、まだケーブルをつながないでください

ブロードバンド・インターネットでは、多くの場合、インターネット用の回線とパソコンをケーブルで接続するだけで、インターネットに接続されてしまいます。

ケーブル類の接続を完了する前に、必ず「初めてインターネットに接続する前のセキュリティ対策」（●▶P.74）を参考にして、「インターネット接続ファイアウォール（ICF）」を有効にしてください。

内蔵モデムで長時間インターネットに接続する場合


ソフトウェアを起動したままインターネットに長時間接続していると、パソコンのCPUに高い負荷がかかり、内蔵モデムでの通信が切断される場合があります。このような場合は、ブラウザやメールソフト以外のソフトウェアを終了してからもう一度インターネットに接続してください。

インターネットに接続したら

今後も、いつ新たなウイルスなどが出現するかわかりません。「Windows Update」を日常的に行うなどの日々のセキュリティ対策を心がけましょう。

セキュリティソフト「Norton Internet Security」を使う


このパソコンには、「Norton Internet Security」というセキュリティソフトが用意されています。「Norton Internet Security」を使うと、パソコンをウイルスや不正アクセスから守ることができます。使うためには、「@メニュー」からの起動が必要です。

「Norton Internet Security」については、『FMV 活用ガイド』→「パソコンは自分自身で守ろう」→「ウイルスや不正アクセスからパソコンを守る」→「セキュリティソフトを使う」をご覧ください。

4 ホームネットワークを始めるための準備をする (CE50H7/S の場合)

ホームネットワークとは、ご家庭にある複数のパソコンや家電製品をケーブルなどでつないだ、家庭規模の小さなネットワークのことです。

ご家庭や職場でネットワークを組む場合、接続するコンピュータの台数や場所によって、必要な機器が異なります。機器のご購入時は各機器の役割や機能に注意してください。また、お使いになる周辺機器によって接続や設定の方法が異なりますので、必ずそれぞれの周辺機器のマニュアルをご覧ください。


ホームネットワークについては、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「ホームネットワーク」をご覧ください。

3


ファミリーネットワークステーションを設定する

パソコンの準備が完了して、ファミリーネットワークステーションをお使いになる場合は、ファミリーネットワークステーションに同梱されている◎『かんたんセットアップ CD』によるセットアップ作業が必要です。

この場合は、次の手順に従って操作を進めてください。

- 1  『ファミリーネットワークステーション -T / ファミリーネットワークステーション 準備と設定ガイド』をご覧ください。ファミリーネットワークステーションの設置と接続を行ってください。
- 2 パソコン本体の設定作業を行ってください。設定には◎『かんたんセットアップ CD』をお使いください。

5 ユーザー登録をする

インターネットの接続が終わったら、パソコンの画面上でユーザー登録を行います。ユーザー登録とは、FMV ユーザーとしてお客様の情報、およびご購入された FMV の機種情報を弊社に登録していただくことを言います。詳しくは、『サポート&サービスのご案内』をご覧ください。

ユーザー登録をするとご利用になれるサービス

ユーザー登録をすると、自動的に「FMV ユーザーズクラブ AzbyClub (アズビィクラブ)」の会員としても登録され、次のようなサービスをご利用いただけます。AzbyClub とは、お客様に FMV を快適にご利用いただくための会員組織です。入会金、年会費は無料です (2 年目以降も無料)。

■ FMV 活用サイト AzbyClub ホームページ

お客様がお使いのパソコンに関する最新情報や、活用情報が満載です。また、会員向けのショッピングサービスやお得なキャンペーン情報もご紹介します。
<http://azby.fmworld.net/>

■ 技術相談窓口 Azby テクニカルセンター

AzbyClub 会員専用の技術相談窓口です。電話や E メールによるサポートをご利用いただけます。サポートツール「サービスアシスタント」、紙のマニュアル、AzbyClub ホームページで確認しても、問題が解決できない場合、技術相談を受けられます。

■ サービスアシスタント

サポートツール「サービスアシスタント」で、インターネット上の最新の製品情報を検索できるサービスや、サポート担当者とのメッセージ交換できる、オンラインアシスタント機能をご利用いただけます。

■ AzbyClub メール配信サービス

お客様がお持ちのメールアドレスを AzbyClub に登録していただくと、お役立ち情報満載の「AzbyClub メール配信サービス」をご利用いただけます。

■ AzbyClub ポイントサービス

AzbyClub 会員専用のポイントサービスです。AzbyClub ホームページや WEB MART でご利用いただけます。

■ AzbyClub カード

ユーザー登録番号 (AzbyClub 会員番号) が刻印された、お得な特典いっぱいのカードです。入会費・年会費ともに無料です。

パソコンの画面上でユーザー登録する

パソコンの画面上でユーザー登録を行う方法には、次の2種類があります。

■ ホームページからのユーザー登録

インターネットのFMVユーザー登録専用のホームページからユーザー登録を行います。

■ 専用プログラムによるユーザー登録

「FMV オンラインユーザー登録」というユーザー登録専用プログラムでユーザー登録を行います。

6 準備が完了したら

ここまでの作業が終わると、パソコンの準備は完了です。

パソコンの準備はすべて完了していますか？

これまで説明してきたパソコンの準備が、すべて完了しているか確認してください。再確認したい項目や、完了していない操作については、各参照先に戻って再度確認または操作してください。

- 1 「機種名を確認してください」 (●▶P.18)**
お使いの機種によってマニュアルの読み方が異なります。
- 2 「使用上のお願い」 (●▶P.20)**
このパソコンの取り扱いにあたっての大切な注意事項です。確認してください。
- 3 「接続する」 (●▶P.27)**
必要な機器が取り付けられているか、確認してください。
- 4 「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」 (●▶P.54)**
初めて電源を入れたときに行う操作です。すべての操作を終えているか、確認してください。
- 5 「電源の切り方と入れ方」 (●▶P.69)**
必ずこのマニュアルの手順に従って操作してください。
- 6 「インターネットを始めるための準備をする」 (●▶P.74)**
お客様の環境にあった接続方法を選択し、セキュリティ対策を行ってください。
- 7 「ホームネットワークを始めるための準備をする」(CE50H7/Sの場合) (●▶P.77)**
周辺機器のマニュアルをご覧ください、ホームネットワークを組んでください。
- 8 「ユーザー登録をする」 (●▶P.78)**
パソコンの画面上でユーザー登録を行います。

パソコンの準備が完了したら『FMV 活用ガイド』へ

パソコンの準備が完了したら『FMV 活用ガイド』をお読みください。『FMV 活用ガイド』では、パソコンをお使いになる前に確認していただきたいこと、覚えておくと便利なこと、情報の探し方やトラブルの対処法など、FMV を活用するためのさまざまな情報を紹介しています。

『FMV 活用ガイド』の主な内容

第1章 使いはじめる前に確認しよう

パソコンの準備がすべて完了しているか、この章で再度確認します。

第2章 基本的な使い方を覚えよう

パソコンの基本操作、ホームページの見かたやEメールの基本操作がわかります。

第3章 パソコンは自分自身で守ろう

大切なデータの予備をとる（バックアップする）方法や、ウイルスなどからパソコンを守るセキュリティ対策について説明しています。

第4章 FMV のおすすめ活用法

FMV に搭載されているソフトウェアを使ってできる、楽しい活用法を紹介しています。また、周辺機器の取り付けや、FMV を最新の状態にするなど、FMV をパワーアップするためのヒントも紹介しています。

第5章 パソコンの画面で見るマニュアルを活用する

パソコンを使いこなすための情報がある、「パソコンの画面で見るマニュアル」の使い方や調べ方を説明しています。

第6章 パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）

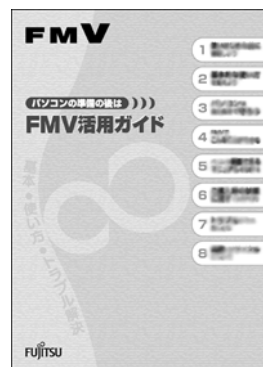
ハードディスクを初期状態に戻し、Windows やソフトウェアをご購入時の状態に戻す方法を説明しています。

第7章 トラブルかなと思ったら

電源が入らないトラブル・画面が表示できないトラブルを中心に、パソコンを使っていて困ったときの対処法を説明しています。

第8章 廃棄・リサイクルについて

このパソコンや使用済み乾電池・バッテリーを廃棄するときの注意事項などが書かれています。また、破棄する前に、ハードディスクのデータを消去する方法も説明しています。



テレビの操作を知りたいときは『テレビを見る・録る・残すガイド』へ

このパソコンでテレビを見たり、番組を録画したりする方法については、『テレビを見る・録る・残すガイド』をご覧ください。このパソコンでテレビを見る前に確認していただきたいこと、具体的なテレビの利用方法、トラブル時の対処方法について紹介しています。

『テレビを見る・録る・残すガイド』の主な内容

- 第1章 このパソコンでできること
- 第2章 準備をする
- 第3章 テレビを見る
- 第4章 番組表を使う
- 第5章 テレビを録る
- 第6章 録ったテレビを再生する
- 第7章 昔録ったビデオテープをパソコンにダビングする
- 第8章 録ったテレビをDVDに残す
- 第9章 こんなこともできます
- 第10章 困ったときのQ&A



ワイヤレス LAN をお使いになる場合

ワイヤレス LAN の設定は、固有のユーティリティを使用します。Windows XP のプロパティでは設定できませんのでご注意ください。

ユーティリティを使用した設定方法については、ワイヤレス LAN に添付のマニュアルまたはパソコン本体の「画面で見るマニュアル」に登録されている「ワイヤレス LAN をお使いになる方へ」をご覧ください。

この後の章では、各部名称 (▶P.83)、仕様一覧 (▶P.90)、メモリの増やし方 (▶P.121) などが記載されています。目的に合わせてお読みください。

4

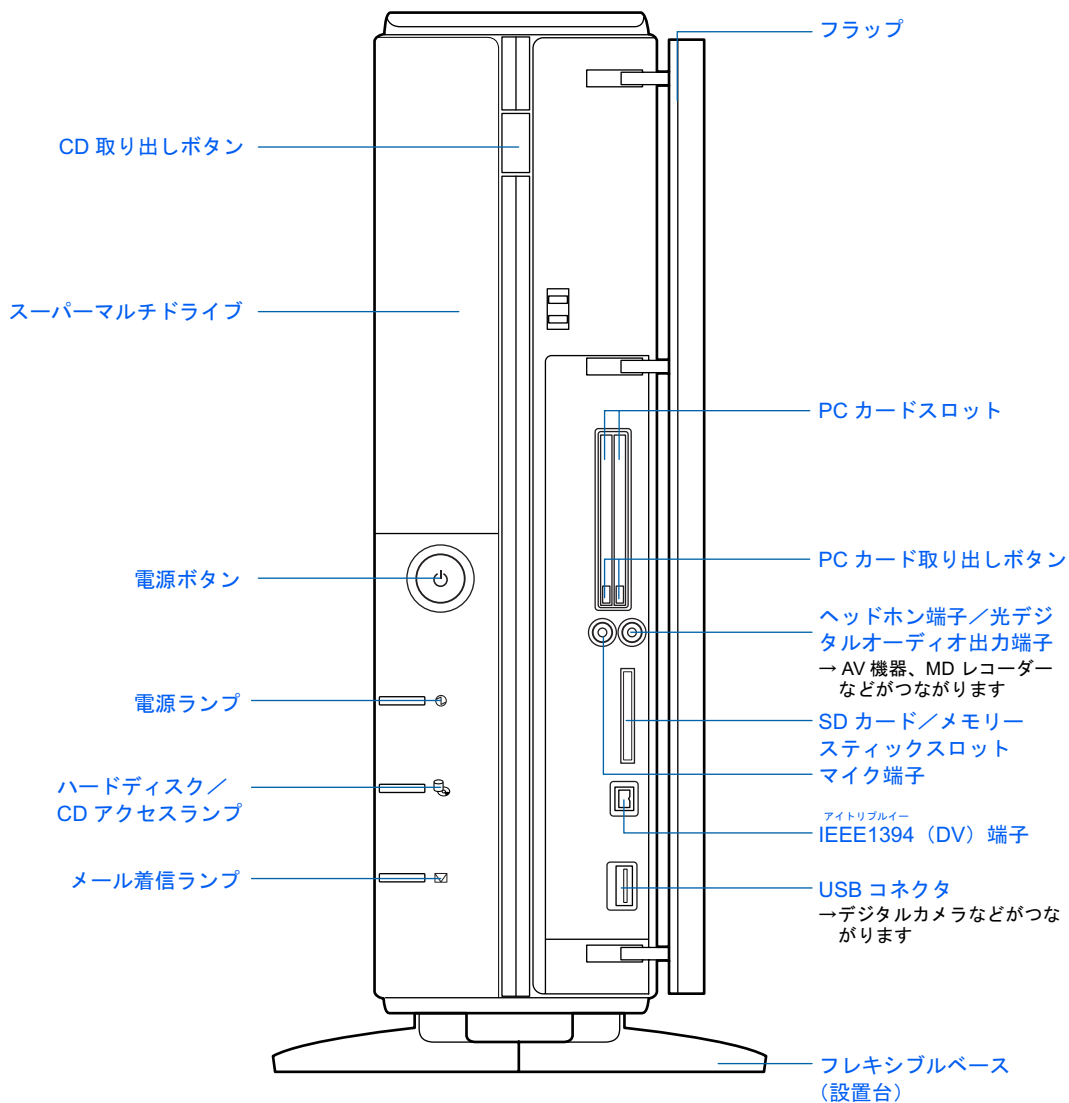
第4章 各部名称

パソコンの各部の名称について説明しています。

1	パソコン本体前面	84
2	パソコン本体背面	86
3	パソコン本体内部	87
4	ワンタッチボタン	88

1 パソコン本体前面

機種名の調べ方は、「機種名を確認してください」(●▶P.18)をご覧ください。



(イラストはフラップを開いた状態です)

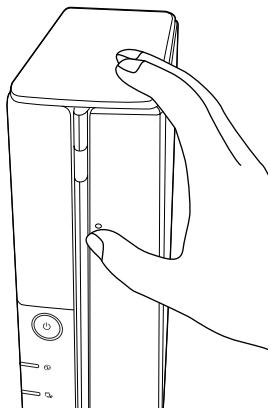
詳しくは、☎(サービスアシスタント) のトップ画面 → 「FMV の使い方」 → 「基本機能」 → 「各部の名称と働き：パソコン本体前面」をご覧ください。

POINT

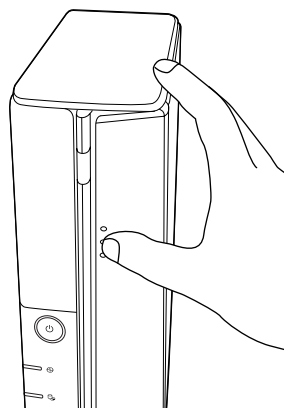
フラップの開閉方法

フラップは、次の手順に従って開閉してください。

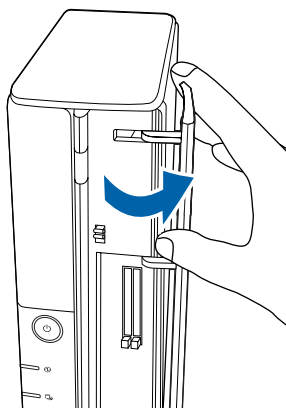
1. フラップ表面の突起部分を親指で押します。



2. 親指を離します。
フラップがとび出します。

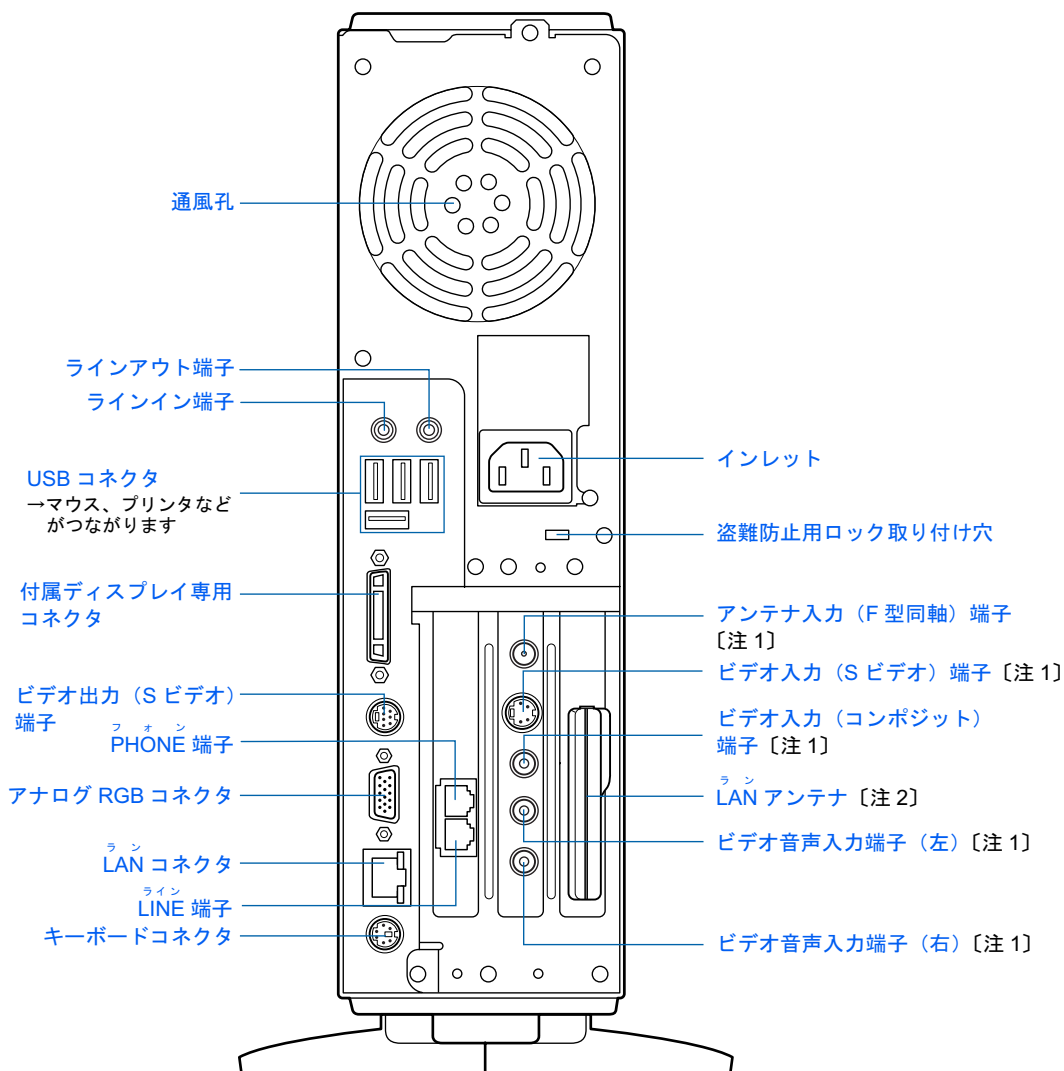


3. フラップを開きます。



閉じるときは、開くときと逆に操作してください。

2 パソコン本体背面

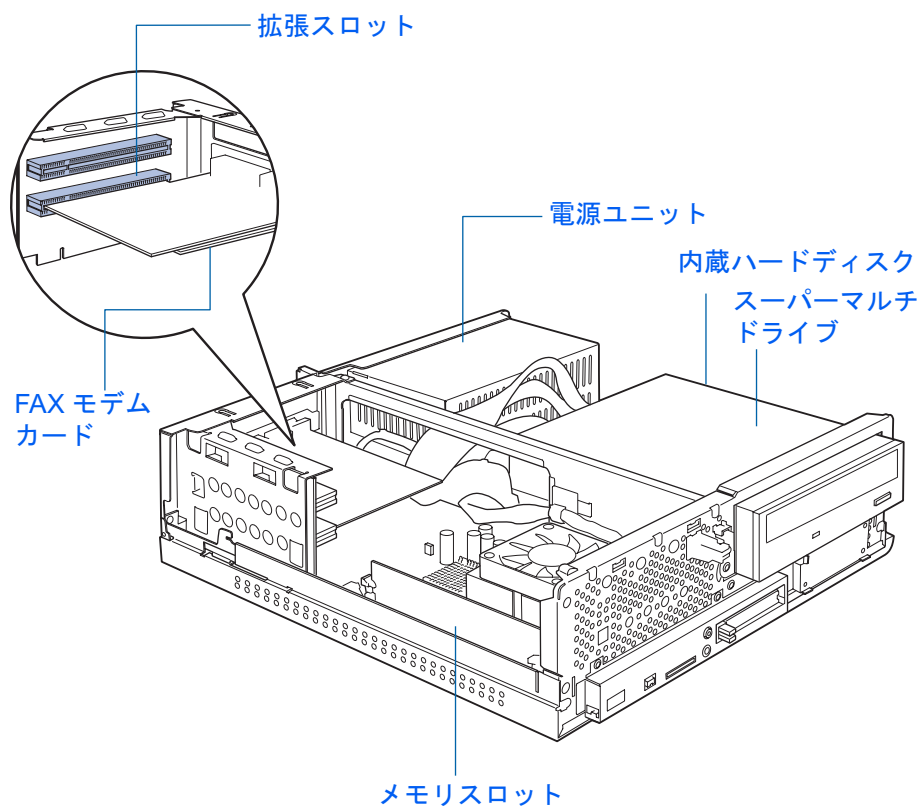


(イラストはお使いの機種により若干異なります)

注1：TVチューナーカード内蔵の機種のみ
注2：ワイヤレスLANカード内蔵の機種のみ

詳しくは、☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体背面」をご覧ください。

3 パソコン本体内部

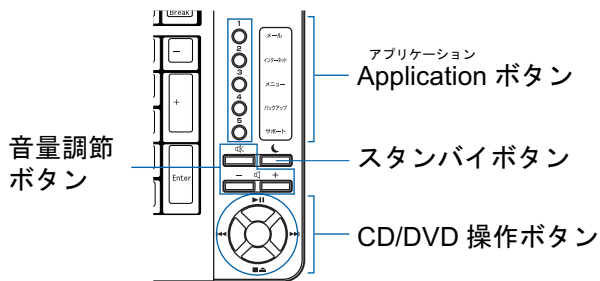


(イラストは機種や状況により異なります)

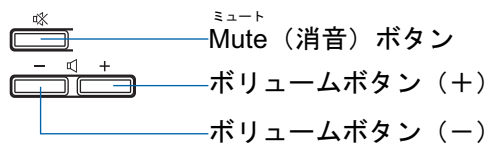
詳しくは、☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体内部」をご覧ください。
本体カバーの取り外し／取り付け方法については、「本体カバーの取り外し方と取り付け方」(▶P.118) をご覧ください。

4

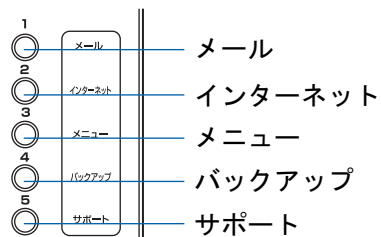
4 ワンタッチボタン



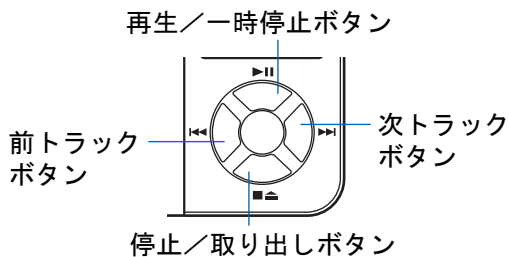
■ 音量調節ボタン



■ Application ボタン



■ CD/DVD 操作ボタン



詳しくは、☎(サービスアシスタント)のトップ画面→「FMVの使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：ワンタッチボタン」をご覧ください。

5

第 5 章 仕様一覧

1 パソコン本体の仕様	90
2 その他の仕様	99

1 パソコン本体の仕様

製品名称		FMV-DESKPOWER CE70HV	FMV-DESKPOWER CE70H7
CPU		インテル® Pentium® 4 プロセッサ 3GHz 注1	
キャッシュメモリ		1次: 12K μ Ops 実行トレース+ 8KB データ、2次: 512KB (CPU内蔵)	
チップセット		インテル® 865GV チップセット	
システムバスクロック		800MHz	
メインメモリ注3		標準 512MB (PC3200 DDR SDRAM DIMM) ECC なし 最大 1GB	
メモリスロット		×2 (空きスロットなし)	
表示機能	グラフィックアクセラレータ	チップセットに内蔵	
	ビデオメモリ	最大 96MB (メインメモリと共用) 注4	
	ディスプレイ注5	17型デジタル液晶 (TV チューナー内蔵) (スピーカー内蔵、リモコン受光器内蔵)	17型デジタル液晶 (TV チューナーなし) (スピーカー内蔵、リモコン受光器内蔵)
解像度/発色数		最大 1280 × 1024 ドット/最大 1677 万色注6	
フロッピーディスクドライブ注7		FDD ユニット (USB) (別売)	
ハードディスクドライブ注8		200GB (Ultra ATA/100)	
CD/DVD ドライブ		スーパーマルチドライブ注9	
オーディオ機能	オーディオコントローラ	チップセット内蔵 + AC97 コーデック	
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビットステレオ、同時録音再生対応	
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート	
通信機能	モデム	データ: 最大 56kbps (V.90 規格準拠) 注10 / FAX: 最大 14.4kbps	
	LAN	100BASE-TX/10BASE-T 準拠	
	ワイヤレス LAN	-	
テレビ機能	テレビチューナー	受信チャンネル注11: VHF (1~12ch)、UHF (13~62ch)、CATV (C13~C63ch) ステレオ、音声多重対応	
	録画形式	MPEG2 (ハードエンコード) 注12	
	高画質化機能	-	
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 2 スロット または Type III × 1 スロット (CardBus 対応)	
	SD カード/メモリースティック注13	×1 スロット	
	ディスプレイ注21	アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン 付属ディスプレイ専用コネクタ 30 ピン注14 映像出力 (S ビデオ×1、NTSC)	
	キーボード	PS/2 準拠 Mini-DIN 6 ピン×1 (キーボード用)	
	USB注15	USB2.0 準拠×5 (前面×1、背面×4)	
	IEEE1394 (DV)	4 ピン×1 (S400)	
	モデム	RJ-11 × 2 (LINE × 1、PHONE × 1)	
	LAN	RJ-45 × 1	
	テレビ	アンテナ入力 (F 型同軸) × 1、ビデオ入力 (S ビデオ×1、コンボジット×1)、 ビデオ音声入力 (右/左) × 1	
	オーディオ	マイク: ϕ 3.5mm ミニジャック (入力: 100mV 以下、入力インピーダンス (AC) 10k Ω 以上 (DC) 2k Ω 以上)、ヘッドホン: ϕ 3.5mm ステレオ・ミニジャック (出力: 1mW 以上、負荷インピーダンス 32 Ω)、光デジタルオーディオ出力: 丸形: 光ミニジャック、ラインイン: ϕ 3.5mm ステレオ・ミニジャック、ラインアウト: ϕ 3.5mm ステレオ・ミニジャック	
拡張スロット数	PCI × 2 (うち1つに TV チューナーカード搭載)		
電源/周波数	AC100V 50/60Hz		

注記については、「仕様一覧の注記について」(●▶P.98)をご覧ください。

製品名称		FMV-DESKPOWER CE70HV	FMV-DESKPOWER CE70H7
消費電力	電源 OFF 時 ^{注16}	5W 以下	
	動作時	通常約 82W 最大 237W スタンバイ時約 6W (ディスプレイを除く) ディスプレイ消費電力：最大 36W	通常約 111W 最大 237W スタンバイ時約 6W (ディスプレイを含む) ディスプレイ消費電力：最大 29W
省エネ法に基づく エネルギー消費効率 ^{注17}		Q 区分 0.0009	
外形寸法		縦置き時 W190 × D378 × H351mm (突起部含まず) (フレキシブルベース (設置台) を除いた場合：W92 × D378 × H328mm) 横置き時 W453 × D378 × H115mm (突起部含まず) (フレキシブルベース (設置台) を除いた場合：W328 × D378 × H92mm)	
質量		約 8.5kg	
盗難防止用ロック		あり	
温湿度条件		温度 10 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 90%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)	
プレインストール OS		Windows XP Home Edition ^{注18} (DirectX:9.0b 対応)	
サポート OS		Windows XP Home Edition ^{注19} 、Windows XP Professional ^{注19 注20}	

注記については、「仕様一覧の注記について」(●▶P.98) をご覧ください。

製品名称		FMV-DESKPOWER CE50HV	FMV-DESKPOWER CE50H7	FMV-DESKPOWER CE30H7	FMV-DESKPOWER CE30H5	FMV-DESKPOWER CE50H7/S	FMV-DESKPOWER CE50H7/M
CPU		AMD Athlon™ XP プロセッサ 2800+					
キャッシュメモリ		1次 128KB+2次 512KB (CPU内蔵)					
チップセット		SiS 社製 SiS741LV チップセット					
システムバスクロック		333MHz					
メインメモリ注2		標準 256MB (PC3200 DDR SDRAM DIMM) ECC なし 最大 1GB					
メモリスロット		× 2 (空きスロット× 1)					
表示機能	グラフィックアクセラレータ	チップセットに内蔵					
	ビデオメモリ	32MB (メインメモリと共用)					
	ディスプレイ注5	17型デジタル液晶 (TVチューナー内蔵) (スピーカー内蔵、リモコン受光器内蔵)	17型デジタル液晶 (TVチューナーなし) (スピーカー内蔵、リモコン受光器内蔵)	15型デジタル液晶 (スピーカー内蔵)	17型デジタル液晶 (TVチューナーなし) (スピーカー内蔵、リモコン受光器内蔵)		
	解像度/発色数	最大 1280 × 1024 ドット/最大 1677 万色注6			最大 1024 × 768 ドット/最大 1677 万色注6	最大 1280 × 1024 ドット/最大 1677 万色注6	
フロッピーディスクドライブ注7		FDD ユニット (USB) (別売)					
ハードディスクドライブ注8		200GB (Ultra ATA/100)	160GB (Ultra ATA/100)				
CD/DVD ドライブ		スーパーマルチドライブ注9					
オーディオ機能	オーディオコントローラ	チップセット内蔵+ AC97 コーデック					
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビットステレオ、同時録音再生対応					
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート					
通信機能	モデム	データ : 最大 56kbps (V.90 規格準拠)注10 / FAX : 最大 14.4kbps					
	LAN	100BASE-TX/10BASE-T 準拠					
	ワイヤレス LAN	-				IEEE802.11a 準拠、IEEE802.11b 準拠、IEEE802.11g 準拠	-
ホームサーバー機能		-				ファミリーネットワークステーション (FMFNS-104) 添付	MediaDrive (FMAVR-101) 添付
テレビ機能	テレビチューナー	受信チャンネル注11 : VHF (1 ~ 12ch)、UHF (13 ~ 62ch) CATV (C13 ~ C63ch) ステレオ、音声多重対応			-	受信チャンネル注11 : VHF (1 ~ 12ch)、UHF (13 ~ 62ch) CATV (C13 ~ C63ch) ステレオ、音声多重対応	
	録画形式	MPEG2 (ハードエンコード)注12			-	MPEG2 (ハードエンコード)注12	
	高画質化機能	-					

注記については、「仕様一覧の注記について」(●▶P.98)をご覧ください。

製品名称	FMV-DESKPOWER CE50HV	FMV-DESKPOWER CE50H7	FMV-DESKPOWER CE30H7	FMV-DESKPOWER CE30H5	FMV-DESKPOWER CE50H7/S	FMV-DESKPOWER CE50H7/M	
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 2 スロット または Type III × 1 スロット (CardBus 対応)					
	SD カード/メモリースティック ^{注13}	× 1 スロット					
	ディスプレイ ^{注21}	アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン 付属ディスプレイ専用コネクタ 30 ピン ^{注14} 映像出力 (S ビデオ × 1、NTSC)					
	キーボード	PS/2 準拠 Mini-DIN 6 ピン × 1 (キーボード用)					
	USB ^{注15}	USB2.0 準拠 × 5 (前面 × 1、背面 × 4)					
	IEEE1394 (DV)	4 ピン × 1 (S400)					
	モデム	RJ-11 × 2 (LINE × 1、PHONE × 1)					
	LAN	RJ-45 × 1					
	テレビ	アンテナ入力 (F 型同軸) × 1、 ビデオ入力 (S ビデオ × 1、コン ポジット × 1)、ビデオ音声入力 (右/左) × 1	-			アンテナ入力 (F 型同軸) × 1、 ビデオ入力 (S ビデオ × 1、コン ポジット × 1)、ビデオ音声入力 (右/左) × 1	
	オーディオ	マイク: φ3.5mm ミニジャック (入力: 100mV 以下、入力インピーダンス (AC) 10kΩ 以上 (DC) 2kΩ 以上)、ヘッドホン: φ3.5mm ステレオ・ミニジャック (出力: 1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω)、光デジタルオーディオ出力: 丸形: 光ミニジャック、ラインイン: φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、ラインアウト: φ3.5mm ステレオ・ミニジャック					
拡張スロット数	PCI × 2 (うち 1 つに TV チュー ナーカード搭載)			PCI × 2		PCI × 2 (2 ス ロットとも拡 張カード搭載 済)	PCI × 2 (うち 1 つに TV チューナー カード搭載)
電源/周波数	AC100V 50/60Hz						
消費電力	電源 OFF 時 ^{注16}	4W 以下					
	動作時	通常約 118W 最大 205W スタンバイ時 約 4W (ディスプレイ を除く) ディスプレイ 消費電力: 最大 36W	通常約 146W 最大 205W スタンバイ時 約 4W (ディスプレイ を含む) ディスプレイ 消費電力: 最大 29W	通常約 142W 最大 205W スタンバイ時 約 4W (ディスプレイ を含む) ディスプレイ 消費電力: 最大 29W	通常約 132W 最大 205W スタンバイ時 約 4W (ディスプレイ を含む) ディスプレイ 消費電力: 最大 27W	通常約 147W 最大 205W スタンバイ時 約 4W (ディスプレイ を含む) ディスプレイ 消費電力: 最大 29W	通常約 146W 最大 205W スタンバイ時 約 4W (ディスプレイ を含む) ディスプレイ 消費電力: 最大 29W
省エネ法に基づくエネル ギー消費効率 ^{注17}	Q 区分 0.0007						
外形寸法	縦置き時 W190 × D378 × H351mm (突起部含まず) (フレキシブルベース (設置台) を除いた場合: W92 × D378 × H328mm) 横置き時 W453 × D378 × H115mm (突起部含まず) (フレキシブルベース (設置台) を除いた場合: W328 × D378 × H92mm)						
質量	約 8.5kg						
盗難防止用ロック	あり						
温湿度条件	温度 10 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 90%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)						
プレインストール OS	Windows XP Home Edition ^{注18} (DirectX:9.0b 対応)			Windows XP Home Edition ^{注18} (DirectX:9.0b 対応) / Windows XP Professional ^{注18} (DirectX:9.0b 対応)	Windows XP Home Edition ^{注18} (DirectX:9.0b 対応)		
サポート OS	Windows XP Home Edition ^{注19} 、Windows XP Professional ^{注19} ^{注20}						

注記については、「仕様一覧の注記について」(●▶P.98) をご覧ください。

製品名称		FMV-DESKPOWER CE70HN
CPU		インテル® Pentium® 4 プロセッサ 3GHz 注1
キャッシュメモリ		1次: 12K μ Ops 実行トレース+ 8KB データ、2次: 512KB (CPU 内蔵)
チップセット		インテル® 865GV チップセット
システム・バス		800MHz
メインメモリ注3★		標準 512MB / 1GB (PC3200 DDR SDRAM DIMM) ECC なし 最大 1GB
メモリスロット		×2 (空きスロットなし)
表示機能	グラフィックアクセラレータ	チップセットに内蔵
	ビデオメモリ	最大 96MB (メインメモリと共用) 注4
	ディスプレイ注5★	17型ワイドデジタル液晶 (TV チューナー内蔵) (USB ハブ内蔵、スピーカー内蔵、リモコン受光器内蔵) / 17型デジタル液晶 (TV チューナー内蔵) (スピーカー内蔵、リモコン受光器内蔵) / 17型デジタル液晶 (TV チューナーなし) (スピーカー内蔵、リモコン受光器内蔵) / なし
	解像度/発色数	17型ワイド液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵): 最大 1280 × 768 ドット / 最大 1677 万色注6、17型デジタル液晶: 最大 1280 × 1024 ドット / 最大 1677 万色注6、なし: 最大 1280 × 1024 ドット / 最大 1677 万色
フロッピーディスクドライブ注7		FDD ユニット (USB) (別売)
ハードディスクドライブ注8★		200GB / 250GB / 300GB (Ultra ATA/100)
CD/DVD ドライブ		スーパーマルチドライブ注9
オーディオ機能	オーディオコントローラ	チップセット内蔵 + AC97 コーデック
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビットステレオ、同時録音再生対応
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート
通信機能	モデム	データ: 最大 56kbps (V.90 規格準拠) 注10 / FAX: 最大 14.4kbps
	LAN	100BASE-TX/10BASE-T 準拠
テレビ機能	テレビチューナー	受信チャンネル注11: VHF (1~12ch)、UHF (13~62ch)、CATV (C13~C63ch) ステレオ、音声多重対応
	録画形式★	MPEG2 (ハードエンコード) 注12 / なし
	高画質化機能	3次元 Y/C 分離、ゴーストリダクション
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 2 スロット または Type III × 1 スロット (CardBus 対応)
	SD カード/メモリースティック注13	× 1 スロット
	ディスプレイ注21	アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン 付属ディスプレイ専用コネクタ 30 ピン注14 映像出力 (S ビデオ × 1、NTSC)
	キーボード	PS/2 準拠 Mini-DIN 6 ピン × 1 (キーボード用)
	USB注15	USB2.0 準拠 × 5 (前面 × 1、背面 × 4)
	IEEE1394 (DV)	4 ピン × 1 (S400)
	モデム	RJ-11 × 2 (LINE × 1、PHONE × 1)
	LAN	RJ-45 × 1
	テレビ	アンテナ入力 (F 型同軸) × 1、ビデオ入力 (S ビデオ × 1、コンポジット × 1)、ビデオ音声入力 (右/左) × 1 / なし
	オーディオ	マイク: ϕ 3.5mm ミニジャック (入力: 100mV 以下、入力インピーダンス (AC) 10k Ω 以上 (DC) 2k Ω 以上)、ヘッドホン: ϕ 3.5mm ステレオ・ミニジャック (出力: 1mW 以上、負荷インピーダンス 32 Ω)、光デジタルオーディオ出力: 丸形: 光ミニジャック、ラインイン: ϕ 3.5mm ステレオ・ミニジャック、ラインアウト: ϕ 3.5mm ステレオ・ミニジャック
拡張スロット数	PCI × 2 (うち 1 つに TV チューナーカード (★) 搭載)	
電源/周波数	AC100V 50/60Hz	
消費電力	電源 OFF 時注16	5W 以下
	動作時	通常約 84W、最大 237W、スタンバイ時約 6W (ディスプレイを除く) ディスプレイ消費電力: 17型ワイドデジタル液晶 (TV チューナー内蔵) 最大 54W、 17型デジタル液晶 (TV チューナー内蔵) 最大 36W、 17型デジタル液晶 (TV チューナーなし) 最大 29W
省エネ法に基づくエネルギー消費効率注17		Q 区分 0.0009

★ ご購入時に選択したものをご覧ください。

注記については、「仕様一覧の注記について」(●▶P.98) をご覧ください。

製品名称	FMV-DESKPOWER CE70HN
外形寸法	縦置き時 W190 × D378 × H351mm (突起部含まず) (フレキシブルベース (設置台) を除いた場合: W92 × D378 × H328mm) 横置き時 W453 × D378 × H115mm (突起部含まず) (フレキシブルベース (設置台) を除いた場合: W328 × D378 × H92mm)
質量	約 8.5kg
盗難防止用ロック	あり
温湿度条件	温度 10 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 90%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)
プレインストール OS ★	Windows XP Home Edition ^{注18} (DirectX:9.0b 対応) / Windows XP Professional ^{注18} (DirectX:9.0b 対応)
サポート OS	Windows XP Home Edition ^{注19} 、Windows XP Professional ^{注19 注20}

★ ご購入時に選択したものをご覧ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」(●▶P.98) をご覧ください。

製品名称	FMV-DESKPOWER CE50HN	
CPU	AMD Athlon™ XP プロセッサ 2800+	
キャッシュメモリ	1次 128KB + 2次 512KB (CPU内蔵)	
チップセット	SiS 社製 SiS741LV チップセット	
システムバスクロック	333MHz	
メインメモリ ^{注2} ★	標準 256MB / 512MB / 1GB (PC3200 DDR SDRAM DIMM) ECC なし 最大 1GB	
メモリスロット	× 2 (空きスロット × 1 : 256MB / 512MB モデル) / × 2 (空きスロットなし : 1GB モデル)	
表示機能	グラフィックアクセラレータ	チップセットに内蔵
	ビデオメモリ	32MB (メインメモリと共用)
	ディスプレイ ^{注5} ★	17型ワイドデジタル液晶 (TV チューナー内蔵) (USB ハブ内蔵、スピーカー内蔵、リモコン受光器内蔵) / 17型デジタル液晶 (TV チューナー内蔵) (スピーカー内蔵、リモコン受光器内蔵) / 17型デジタル液晶 (TV チューナーなし) (スピーカー内蔵、リモコン受光器内蔵) / 15型デジタル液晶 (スピーカー内蔵) / なし
	解像度/発色数	17型ワイド液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) : 最大 1280 × 768 ドット/最大 1677万色 ^{注6} 、17型デジタル液晶 : 最大 1280 × 1024 ドット/最大 1677万色 ^{注6} 、15型デジタル液晶 : 最大 1024 × 768 ドット/最大 1677万色 ^{注6} 、なし : 最大 1280 × 1024 ドット/最大 1677万色
フロッピーディスクドライブ ^{注7}	FDD ユニット (USB) (別売)	
ハードディスクドライブ ^{注8} ★	160GB / 200GB / 250GB (Ultra ATA/100)	
CD/DVD ドライブ	スーパーマルチドライブ ^{注9}	
オーディオ機能	オーディオコントロール	チップセット内蔵 + AC97 コーデック
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビットステレオ、同時録音再生対応
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート
通信機能	モデム	データ : 最大 56kbps (V.90 規格準拠) ^{注10} / FAX : 最大 14.4kbps
	LAN	100BASE-TX/10BASE-T 準拠
テレビ機能	テレビチューナー	受信チャンネル ^{注11} : VHF (1 ~ 12ch)、UHF (13 ~ 62ch)、CATV (C13 ~ C63ch) ステレオ、音声多重対応
	録画形式★	MPEG2 (ハードエンコード) ^{注12} / なし
	高画質化機能	3次元 Y/C 分離、ゴーストリダクション
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 2 スロット または Type III × 1 スロット (CardBus 対応)
	SD カード/メモリースティック ^{注13}	× 1 スロット
	ディスプレイ ^{注21}	アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン 付属ディスプレイ専用コネクタ 30 ピン ^{注14} 映像出力 (S ビデオ × 1、NTSC)
	キーボード	PS/2 準拠 Mini-DIN 6 ピン × 1 (キーボード用)
	USB ^{注15}	USB2.0 準拠 × 5 (前面 × 1、背面 × 4)
	IEEE1394 (DV)	4 ピン × 1 (S400)
	モデム	RJ-11 × 2 (LINE × 1、PHONE × 1)
	LAN	RJ-45 × 1
	テレビ	アンテナ入力 (F 型同軸) × 1、ビデオ入力 (S ビデオ × 1、コンポジット × 1)、ビデオ音声入力 (右 / 左) × 1 / なし
	オーディオ	マイク : φ3.5mm ミニジャック (入力 : 100mV 以下、入力インピーダンス (AC) 10kΩ 以上 (DC) 2kΩ 以上)、ヘッドホン : φ3.5mm ステレオ・ミニジャック (出力 : 1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω)、光デジタルオーディオ出力 : 丸形 : 光ミニジャック、ラインイン : φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、ラインアウト : φ3.5mm ステレオ・ミニジャック
拡張スロット数	PCI × 2 (うち 1 つに TV チューナーカード (★) 搭載)	
電源/周波数	AC100V 50/60Hz	

★ ご購入時に選択したものをご覧ください。

注記については、「仕様一覧の注記について」(●▶P.98) をご覧ください。

製品名称		FMV-DESKPOWER CE50HN
消費電力	電源 OFF 時 ^{注16}	4W 以下
	動作時	通常約 113W、最大 205W、スタンバイ時約 4W (ディスプレイを除く) ディスプレイ消費電力：17 型ワイドデジタル液晶 (TV チューナー内蔵) 最大 54W、 17 型デジタル液晶 (TV チューナー内蔵) 最大 36W、 17 型デジタル液晶 (TV チューナーなし) 最大 29W、 15 型デジタル液晶 最大 27W
省エネ法に基づく エネルギー消費効率 ^{注17}		Q 区分 0.0007
外形寸法		縦置き時 W190 × D378 × H351mm (突起部含まず) (フレキシブルベース (設置台) を除いた場合：W92 × D378 × H328mm) 横置き時 W453 × D378 × H115mm (突起部含まず) (フレキシブルベース (設置台) を除いた場合：W328 × D378 × H92mm)
質量		約 8.5kg
盗難防止用ロック		あり
温室度条件		温度 10 ～ 35℃ / 湿度 20 ～ 80%RH (動作時)、温度 -10 ～ 60℃ / 湿度 20 ～ 90%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)
プレインストール OS		Windows XP Home Edition ^{注18} (DirectX:9.0b 対応)
サポート OS		Windows XP Home Edition ^{注19} 、Windows XP Professional ^{注19 注20}

★ ご購入時に選択したものをご覧ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」(●▶P.98) をご覧ください。

仕様一覧の注記について

- 注 1 : ご購入時のハイパー・スレッディング・テクノロジー設定は、有効になっています。ソフトウェアや周辺機器を追加される場合は、ハイパー・スレッディング・テクノロジーに対応しているか、販売元にご確認ください。
- 注 2 : 32MB をグラフィックに使用しているため、「コントロールパネル」の「パフォーマンスとメンテナンス」の「システム」では、32MB 少なく表示されます。
- 注 3 : ビデオメモリと共有しているため、「コントロールパネル」の「パフォーマンスとメンテナンス」の「システム」では、搭載メモリサイズより少なく表示されます。ビデオメモリの使用量は、Intel® Dynamic Video Memory Technology (DVMT) により、パソコンの動作状況によって自動的に変化します。
- 注 4 : Intel® Dynamic Video Memory Technology (DVMT) を使用しているため、パソコンの動作状況により、メモリ容量が自動的に変化します。
- 注 5 : 液晶ディスプレイの特性について
- ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
 - ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 注 6 : グラフィックアクセラレータの出力する最大発色数は 1677 万色ですが、液晶ディスプレイではデザイン機能によって、擬似的に表現されます。
- 注 7 : ・このパソコンにはフロッピーディスクドライブは内蔵されていません。オプション品の FDD ユニット (USB) (FMFD-51S) を、お買い求めの上、お使いください。
なお、FDD ユニットの接続と取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- ・FDD ユニット (USB) (FMFD-51S) を接続すると、デスクトップの (マイコンピュータ) 内にドライブが表示され、フロッピーディスクドライブとして使うことができます。
 - ・FDD ユニット (USB) (FMFD-51S) では、次のフロッピーディスクは使用できません。
 - ・ OASYS 文書フロッピー
 - ・ 640KB でフォーマットしたフロッピーディスク
 - ・FDD ユニット (USB) (FMFD-51S) では、次のフロッピーディスクは、データの読み書きはできますが、フォーマットはできません。
 - ・ 1.25MB でフォーマットしたフロッピーディスク
 - ・ 1.23MB でフォーマットしたフロッピーディスク
 - ・ 720KB でフォーマットしたフロッピーディスク
- 注 8 : このマニュアルに記載のディスク容量は、1MB=1000²byte、1GB=1000³byte 換算によるものです。Windows 上で 1MB=1024²byte、1GB=1024³byte 換算で表示される容量は、このマニュアルに記載のディスク容量より少なくなります。
- 注 9 : ドライブの主な仕様は次の通りです。

スーパーマルチドライブ	CD-ROM/CD-R 読出：最大 32 倍速、CD-RW 読出：最大 24 倍速、DVD-RAM 読出：最大 3 倍速 (4.7/9.4GB)、最大 1 倍速 (2.6/5.2GB)、DVD-ROM 読出：最大 12 倍速、DVD-R 読出：最大 8 倍速、DVD-RW 読出：最大 8 倍速、DVD+R 読出：最大 8 倍速、DVD+RW 読出：最大 8 倍速、CD-R 書込：最大 24 倍速、CD-RW 書込書換：最大 10 倍速、DVD-RAM 書込：最大 3 倍速 (4.7/9.4GB)、DVD-R 書込：最大 8 倍速、DVD-RW 書込書換：最大 4 倍速、DVD+R 書込：最大 8 倍速、DVD+RW 書込書換：最大 4 倍速
-------------	--

- 注 10 : 56000bps は、V.90 の理論上の最高速度であり、実際の通信速度は回線の状況により変化します。詳しくは、パソコン本体の「画面で見るマニュアル」に登録されている「FAX モデムカード -56000 (全二重) (FMV-FX5224 シリーズ) (FMV-FX5223 シリーズ) 取扱説明書」をご覧ください。
- 注 11 : BS/CS 放送のチャンネルは受信できません。
- 注 12 : ・テレビ番組の録画などは、お客様個人またはご家庭で楽しむ目的でのみ、ご利用ください。
・ビデオなどコピーガード信号を含んだ映像を、録画することはできません。
また、ビデオ入力 (S ビデオ) 端子やビデオ入力 (コンポジット) 端子に接続した一部のビデオ機器では、メニューや操作画面においてコピーガード信号を出しています。このような場合も、映像を録画することはできません。
・ビデオ出力 (S ビデオ) 端子に機器を接続していない場合は、コピーガード信号を含んだ映像をパソコン側で表示することができます。ビデオ出力 (S ビデオ) 端子に機器を接続している場合は、コピーガード信号を含んだ映像をパソコン側で表示することはできません。
・17 型ワイド液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵)、17 型液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) をお使いの方は、インスタントテレビ機能を使用すると、コピーガード信号を含んだ映像を表示することができます。
- 注 13 : 「SD メモリーカード」と「メモリスティック」の同時使用はできません。「マジックゲート」などの著作権保護機能には対応していません。マルチメディアカード (MMC) には対応していません。
- 注 14 : 付属のディスプレイ以外は接続しないでください。
- 注 15 : すべての USB 対応周辺機器について動作するものではありません。
- 注 16 : 電源 OFF 時の電力消費を回避するには、パソコンの電源プラグをコンセントから抜いてください。17 型ワイド液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵)、17 型液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) をお使いの方は、ディスプレイの電源プラグもコンセントから抜いてください。
- 注 17 : エネルギー消費効率とは省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
- 注 18 : 出荷時に、Service Pack1a が適用されています。
- 注 19 : Service Pack1a が適用されている必要があります。
- 注 20 : 他の OS をお使いになるときは、FMV 活用サイト AzbyClub (アズビィクラブ) ホームページ (<http://azby.fmwworld.net/>) をご覧ください。
- 注 21 : アナログ RGB ミニ D-SUB、付属ディスプレイ専用コネクタ、映像出力 (S ビデオ) の同時使用はできません。

2 その他の仕様

LCD 内蔵スピーカー（17 型ワイド液晶ディスプレイ（TV チューナー内蔵）をお使いの方）

方式	タイムドメイン方式
スピーカーユニット口径	Φ32mm
定格（最大）出力	3W/ch
再生周波数	280Hz ~ 20kHz

LCD 内蔵スピーカー（17 型液晶ディスプレイ、15 型液晶ディスプレイをお使いの方）

方式	バスレフ方式
スピーカーユニット口径	28mm × 40mm
定格（最大）出力	1W/ch
再生周波数	420Hz ~ 20kHz

LAN 機能（CE70HV、CE70H7、CE70HN をお使いの方）

LAN コントローラ	Intel ICH5 内蔵 + 82562EZ
送受信バッファ用 RAM	送受信 各 3kbyte
外部インターフェース	ISO8802-3 100BASE-TX/10BASE-T
伝送媒体	ツイストペアケーブル ^{注1} (100Mbps : カテゴリ 5、10Mbps : カテゴリ 3 ~ 5)
伝送方式	ベースバンド
アクセス方式	CSMA/CD
データ転送速度	100Mbps、10Mbps
配線形態	スター型
セグメント最大長	100m
最大ノード数/セグメント	ハブユニット ^{注2} による

注1： ネットワークを 100Mbps で確実に動作させるには、非シールド・ツイスト・ペア（UTP）カテゴリ 5 またはそれ以上のデータ・グレードのケーブルをお使いください。カテゴリ 3 のケーブルを使うと、データ紛失が発生します。

注2： ハブユニットとは、100BASE-TX/10BASE-T のコンセントレータです。

LAN 機能 (CE50HV、CE50H7、CE30H7、CE30H5、CE50H7/S、CE50H7/M、CE50HN をお使いの方)

LAN コントローラ	Realtek RTL8101L
送受信バッファ用 RAM	送受信 各 2kbyte
外部インターフェース	ISO8802-3 100BASE-TX/10BASE-T
伝送媒体	ツイストペアケーブル ^{注1} (100Mbps : カテゴリ 5、10Mbps : カテゴリ 3 ~ 5)
伝送方式	ベースバンド
アクセス方式	CSMA/CD
データ転送速度	100Mbps、10Mbps
配線形態	スター型
セグメント最大長	100m
最大ノード数/セグメント	ハブユニット ^{注2} による

注1 : ネットワークを 100Mbps で確実に動作させるには、非シールド・ツイスト・ペア (UTP) カテゴリ 5 またはそれ以上のデータ・グレードのケーブルをお使いください。カテゴリ 3 のケーブルを使うと、データ紛失が発生します。

注2 : ハブユニットとは、100BASE-TX/10BASE-T のコンセントレータです。

POINT

ネットワークのスピードについて

LAN はネットワークのスピードに自動で対応します。ハブユニットの変更などでネットワークのスピードが変更される場合、スピードに対応した適切なデータグレードのケーブルを必ずお使いください。

高画質ハードエンコーダ付き TV チューナーカード / ハードエンコーダ付き TV チューナーカード

割り込み (IRQ)	PCI システムによる自動設定
メモリマッピング	PCI システムによる自動設定
NTSC 入力仕様	NTSC コンポジット : 1V p-p 75Ω S ビデオ : 1V p-p 75Ω
コネクタ	ビデオ音声入力端子 (右) ・RCA ピンジャック × 1 ビデオ音声入力端子 (左) ・RCA ピンジャック × 1 ビデオ入力 (コンポジット) 端子 ・RCA ピンジャック × 1 ビデオ入力 (S ビデオ) 端子 ・ミニ DIN4 ピンジャック × 1 アンテナ入力 (F 型同軸) 端子 ・F 型コネクタ × 1
TV 音声仕様	ステレオ、音声多重対応
RF 入力端子	75Ω F 型コネクタ

リモコン (CE70HV、CE70H7、CE50HV、CE50H7、CE50H7/S、CE50H7/M をお使いの方、CE70HN、CE50HN で TV チューナーカードを選択した方)

通信方式		赤外線方式	
使用可能距離		3m	
乾電池の寿命の目安		約 6ヶ月 (マンガン乾電池使用時)	
使用可能範囲	受光部が液晶ディスプレイ内蔵	水平	約 30°
		垂直	上 : 約 10° / 下 : 約 40°
	リモコン受光器	水平	約 55° (左右共)
		垂直	約 25° (上下共)
使用電池		単 3 形乾電池 2 本	
受光器インターフェース ^注		USB Ver1.1 準拠	

注 : リモコン受光器の場合のみ

Memo

付 録

周辺機器の使用上の注意やメモリの増やし方などを説明しています。目的に合わせてお読みください。

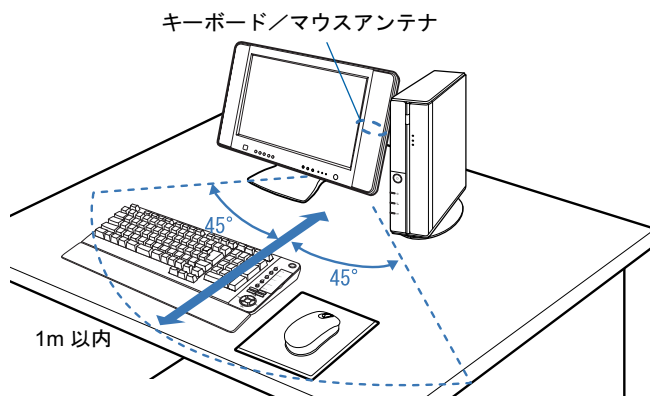
1	ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスについて （ワイヤレスキーボードをお使いの方）	104
2	リモコンについて（CE70HV、CE70H7、CE50HV、CE50H7、CE50H7/S、 CE50H7/Mの場合、CE70HN、CE50HNでTVチューナーカードを選択した場合） ..	115
3	本体カバーの取り外し方と取り付け方	118
4	メモリについて	121

1 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスについて (ワイヤレスキーボードをお使いの方)

使用に適した配置

ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスは、次のような場所でお使いください。
なお、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。
信号を受けるキーボード/マウスアンテナは、ディスプレイに内蔵されています。

- ・机の上など平らで安定した場所
- ・パソコン本体と同じくらいの高さで、操作に十分なスペースが取れる場所
- ・パソコン本体から 1m 以内、左右約 45 度の範囲



POINT

ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスをお使いになるときの注意事項

以下の場合、うまく通信できないことがあります。設置場所を変えるなど、通信の妨げとなる原因を取り除いてください。

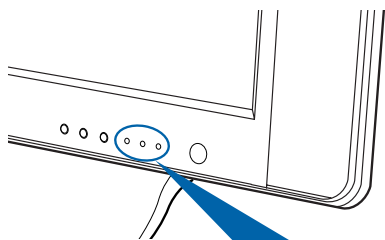
- ・ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの送信部とキーボード／マウスアンテナとの距離が離れすぎたり、間に遮蔽物がある場合
- ・本体周辺に金属製の物（スチール製の机、金属部分がある机）がある場合
- ・ラジコンや無線機器などこのパソコンと同じ周波数の電波を発するものが近くにある場合
- ・ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使用したパソコンを近くで使用している場合電波が混信することがあります。別の通信周波数／ID に設定してください。

乾電池について

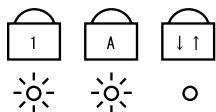
このパソコンに添付されているワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの乾電池について説明します。

乾電池をお使いになる際は、「安全上のご注意」→「乾電池について」(●▶P.11)も必ずご覧ください。

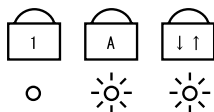
- ・ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。
すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。
- ・乾電池の寿命の目安は、毎日2時間の使用で、ワイヤレスキーボードは約1年、ワイヤレスマウスは約6ヶ月です。
ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります。
乾電池の交換時には、ワイヤレスキーボードは単3型、ワイヤレスマウスは単4型の市販のアルカリ乾電池2本をご使用ください。
- ・必ずアルカリ乾電池をお使いください。
アルカリ乾電池以外の乾電池(マンガン乾電池、充電式乾電池など)をお使いになると、十分な機能・性能で動作しない場合があります。
- ・パソコンを操作していないときは、なるべく動かさないようにしてください。
パソコン本体の電源が入っていても、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが動作していると乾電池が消費されます。また、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスの上に物を載せたままにしないようご注意ください。
- ・ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスをお使いになっているときに乾電池が消耗すると、ディスプレイのインジケータが点滅します。
次のイラストをご覧ください。インジケータの点滅のしかたにより、どちらの乾電池を交換する必要があるのかがわかります。
乾電池が消耗すると、ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスの動作が不安定になります。
お早めに新しい乾電池と交換してください。



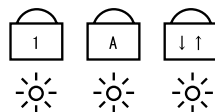
インジケータ



ワイヤレスキーボードの乾電池を交換してください。



ワイヤレスマウスの乾電池を交換してください。



ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス両方の乾電池を交換してください。

乾電池を交換する

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを交換する方法については、「ワイヤレスキーボードをお使いの方」(●▶P.42)をご覧ください。

POINT

乾電池の使用推奨期限を確認してください

乾電池が使用推奨期限を過ぎていないか、確認してお使いください。

重要

乾電池の交換などで乾電池を抜くと、通信周波数は「チャンネル A」、ID 設定値は「ID0 (ゼロ)」になります

もう一度通信周波数、ID 設定値を変更してください(●▶P.107)。

通信周波数／ID 設定値について

このパソコンに添付されているワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスの通信周波数（チャンネル）／ID 設定値の変更方法について説明します。

重要

設定をする前に確認してください

- ・「使用上のお願い」（●▶P.20）をご覧ください、パソコンを設置している環境を確認してください。
- ・パソコン本体の電源を入れた状態で設定してください。電源が入っていないときや、省電力機能が働いているときは設定することはできません。

通信周波数（チャンネル）／ID 設定値を合わせてください

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスは、キーボード／マウスアンテナ（液晶ディスプレイに内蔵）と通信するために、それぞれ 2 つの通信周波数（チャンネル）を備えており、さらにそれぞれの通信周波数（チャンネル）に対して 16 個の ID を備えています。

ワイヤレスキーボード

チャンネル A: ID0 ～ ID15

チャンネル B: ID0 ～ ID15

ワイヤレスマウス

チャンネル A: ID0 ～ ID15

チャンネル B: ID0 ～ ID15

通信周波数（チャンネル）／ID 設定値はディスプレイ、ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスがそれぞれに記憶しています。ディスプレイとワイヤレスキーボード、ディスプレイとワイヤレスマウスの ID 設定値がそれぞれ一致しないと、正しく動作しません。

記憶されている通信周波数／ID 設定値を忘れてしまった場合は、ディスプレイ、ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスすべてをリセットして、初期値（チャンネル A／ID0（ゼロ））にしてください。

その際、例えばワイヤレスキーボードの通信周波数（チャンネル）／ID 設定値だけをリセットしても、ディスプレイ、ワイヤレスマウスの設定値はリセットされません。リセットする場合は、ディスプレイ、ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスすべての設定値をリセットしてください。

ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスは同じ通信周波数（チャンネル）に設定してください

ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの通信周波数（チャンネル）は同じ設定にしてください。同じ設定になっていないと、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスを同時に使用できません（ID は異なっても動作します）。

乾電池の交換などで乾電池を抜くと、通信周波数は「チャンネル A」、ID 設定値は「ID0（ゼロ）」になります

もう一度、通信周波数、ID 設定値を変更してください。（●▶P.107）

複数のワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの同時使用について

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスが標準添付となっているパソコンを複数台で同時に使用する場合は、パソコン同士の混信を避けるために、隣接するパソコンごとに通信周波数（チャンネル）を変えてお使いください。

それでも影響がある場合は、目安としてパソコン同士を 2m 以上離して設置してください。

通信周波数（チャンネル）／ID 設定中は、他のパソコンを操作しないでください

通信周波数（チャンネル）／ID 設定値を設定するときは、1 台ずつ行ってください。違う通信周波数（チャンネル）／ID に設定され、混信するおそれがあります。

ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスが使いえなくなったとき、または混信するときには、次の手順に従って通信周波数（チャンネル）／ID設定値を変更してください。

■ 1 台だけでお使いになる場合

ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスを使用しているパソコンが近くにはない場合は、混信の心配がないため、初期値（チャンネル A / ID0（ゼロ））のままお使いいただけます。通信周波数／IDを設定する必要はありません。ただし、何らかの原因で使いえなくなった場合のみ、「1 通信周波数／IDをリセットする」（●▶P.109）をご覧になり、設定情報をリセットして初期値（チャンネル A / ID0（ゼロ））に戻してください。

■ 近接して 2 台でお使いになる場合

ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスを使用しているパソコンを近くで 2 台使う場合は、次の手順に従って 2 台のうち 1 台のチャンネルを B に変更してください。もう 1 台は、初期値（チャンネル A）でお使いください。

1 「1 通信周波数／IDをリセットする」（●▶P.109）

通信周波数／IDをリセットします。

2 「2 新しい通信周波数（チャンネル）／IDを設定する」（●▶P.111）

2 台のうち 1 台の通信周波数をチャンネル B に変更します。

■ 近接して 3 台以上でお使いになる場合

ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスを使用しているパソコンを近くで 3 台以上使う場合は、次の手順に従って各パソコンの通信周波数／ID設定値が異なるように設定してください。

1 「1 通信周波数／IDをリセットする」（●▶P.109）

通信周波数／IDをリセットします。

2 「2 新しい通信周波数（チャンネル）／IDを設定する」（●▶P.111）

各パソコンの通信周波数／ID設定値を変更します。

1 通信周波数 / ID をリセットする

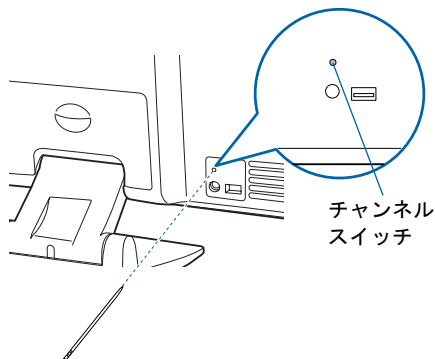
- 1 ディスプレイのインジケータ（下図参照）の状態を紙に書き留めておいてください。

リセット完了時に、インジケータの状態を確認する必要があります。

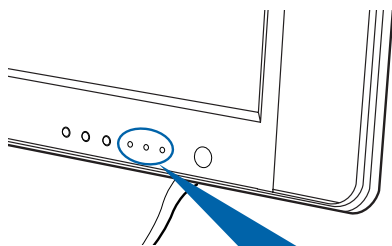
- 2 ディスプレイ背面のチャンネルスイッチを3つのインジケータが同時に点灯するまで押し続けます（約5秒間）。

電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。

ディスプレイに記憶されているワイヤレスキーボード / ワイヤレスマウス両方の通信周波数 / ID 設定値がリセットされ、初期値（チャンネル A / ID0（ゼロ））になります。



ディスプレイの3つのインジケータが次のように点滅します。

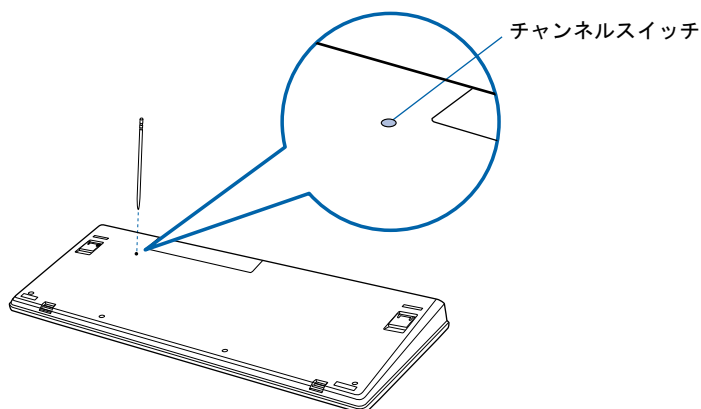


3つのインジケータが同時に点灯したら、電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）をチャンネルスイッチから離してください。

その後、インジケータが2回点滅し、手順1（**▶P.109）で確認した状態に戻れば、正しくリセットされたことになります。

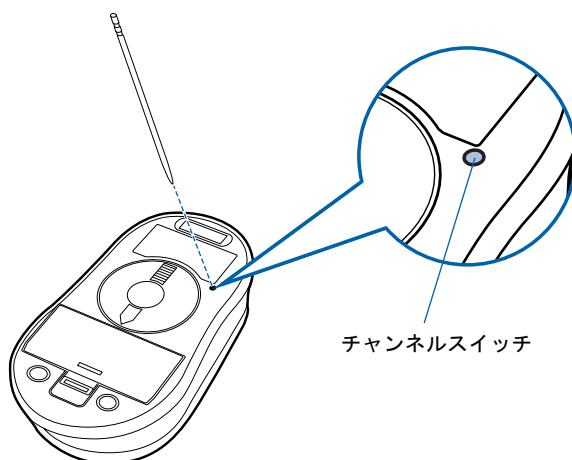
うまくいかなかったときは、もう一度この操作を行ってください。

- 3** ワイヤレスキーボード裏面のチャンネルスイッチを 10 秒以上押し続けます。
電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。



ワイヤレスキーボードに記憶されているキーボードの通信周波数／ID 設定値がリセットされ、初期値（チャンネル A / ID0（ゼロ））になります。

- 4** ワイヤレスマウス裏面のチャンネルスイッチを 10 秒以上押し続けます。
電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。



ワイヤレスマウスに記憶されているマウスの通信周波数／ID 設定値がリセットされ、初期値（チャンネル A / ID0（ゼロ））になります。


2 新しい通信周波数（チャンネル） / ID を設定する

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスの通信周波数（チャンネル） / ID はディスプレイが ID 設定モードになっている 20 秒間に記憶されます。ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスのチャンネルスイッチを 1 回押すと ID1 が設定され、2 回押すと ID2 が、というようにスイッチを押した回数により ID 設定値が変わり、ID15 まで選択できます。ID15 の次は ID0（ゼロ）に戻ります。初期状態では ID0（ゼロ）が設定されています。

また、通信周波数（チャンネル）をチャンネル A にするか B にするかにより、操作方法が異なります。

ワイヤレスキーボード

チャンネル A : チャンネルスイッチを押すことにより、ID1, ID2・・・と変更

チャンネル B : ワイヤレスキーボードの  (スペースキー) を押しながらチャンネルスイッチを押すことにより、ID1, ID2・・・と変更

ワイヤレスマウス

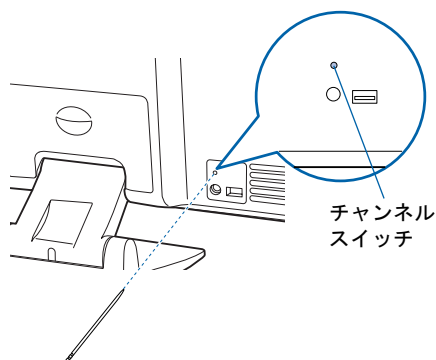
チャンネル A : チャンネルスイッチを押すことにより、ID1, ID2・・・と変更

チャンネル B : ワイヤレスマウスの右ボタンを押しながらチャンネルスイッチを押すことにより、ID1, ID2・・・と変更

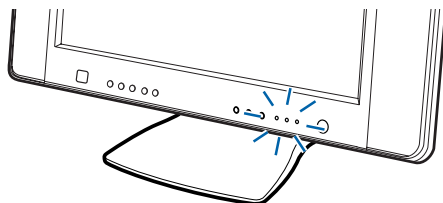
■ ワイヤレスキーボードの通信周波数（チャンネル） / ID を設定する

1 ディスプレイ背面のチャンネルスイッチを 1 回押します。

電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。このとき 4 秒以上ボタンを押し続けしないでください。



ID 設定モードになり、ディスプレイの 3 つのインジケータが約 20 秒間、左から順番に点滅を開始します。



2 ワイヤレスキーボードを裏返しにし、電池ボックス側をディスプレイに向けて手に持ちます。

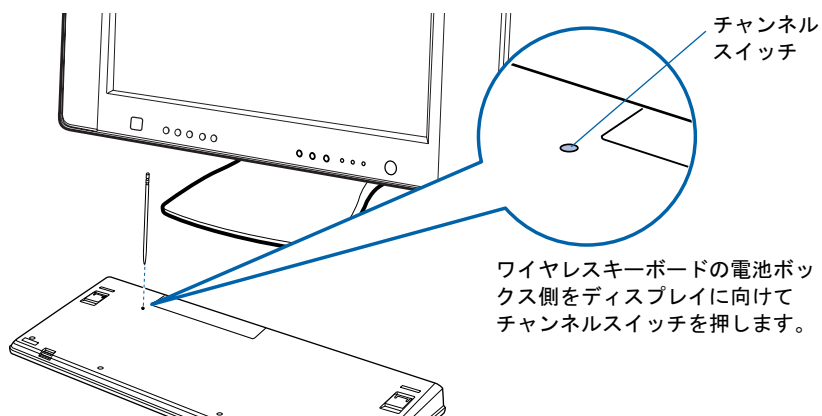
このとき、ワイヤレスキーボードのキーを押さないように持ってください。

チャンネル B に設定する場合は、ワイヤレスキーボードの  の位置を確認しておきます。

3 インジケータが左から順番に点滅している間に、ワイヤレスキーボードの裏面のチャンネルスイッチを設定したい回数押します。

電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。


このとき 4 秒以上ボタンを押し続けしないでください。



(例)


初期値 (ID0 (ゼロ)) の状態から ID5 に設定する場合→チャンネルスイッチを 5 回押します。


ID3 の状態から ID10 に設定する場合→チャンネルスイッチを 7 回押します。


チャンネル B に設定する場合は、ワイヤレスキーボードの  を押しながら、チャンネルスイッチを設定したい回数押します。

なお、チャンネルを変更しても、ID の値は引き継がれます。

(例)

チャンネル A / ID3 の状態から、 を押しながらチャンネルスイッチを 7 回押す
→チャンネル B / ID10 に設定されます。

チャンネル B / ID13 の状態から、 を押さずにチャンネルスイッチを 4 回押す
→チャンネル A / ID1 に設定されます。

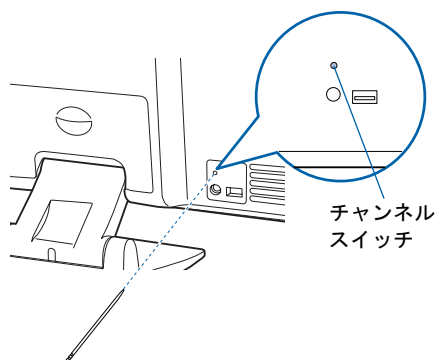
正しく受信したときは、約 1 秒後に 3 つのインジケータが同時に点滅し、通信周波数 (チャンネル) / ID が記憶されます。チャンネル B に設定した場合は、このインジケータの点滅が終わるまで  を押し続けてください。

設定後もワイヤレスキーボードが正しく動作しないときは、正しく設定できていない可能性があります。「1 通信周波数 / ID をリセットする」(●▶P.109) からもう一度設定を行ってください。

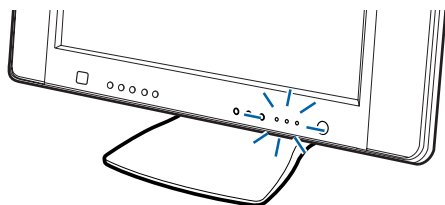
■ ワイヤレスマウスの通信周波数（チャンネル） / ID を設定する

1 ディスプレイ背面のチャンネルスイッチを1回押します。

電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。
このとき4秒以上ボタンを押し続けしないでください。



ID 設定モードになり、ディスプレイの3つのインジケータが約20秒間、左から順番に点滅を開始します。



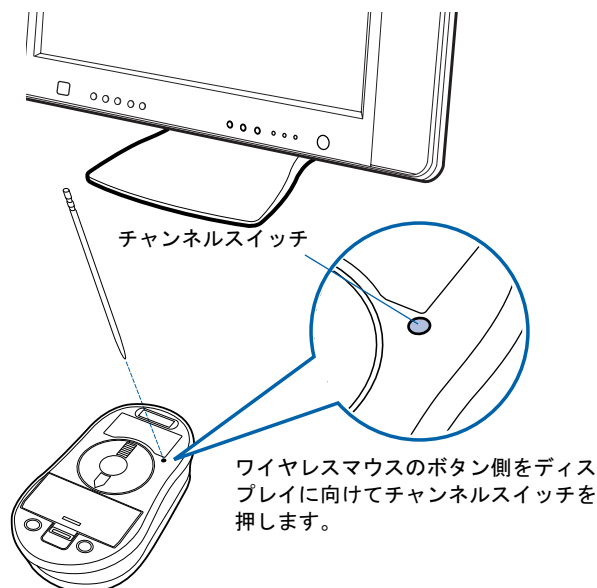
2 ワイヤレスマウスを裏返しにし、ボタン側をディスプレイに向けて手に持ちます。

このとき、ワイヤレスマウスのボタンなどを押さないように持ってください。
チャンネル B に設定する場合は、ワイヤレスマウスの右ボタンの位置を確認しておきます。

3 インジケータが左から順番に点滅している間に、ワイヤレスマウス裏面のチャンネルスイッチを設定したい回数押します。

電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。

このとき4秒以上ボタンを押し続けしないでください。



(例)

初期値(ID0(ゼロ))の状態からID5に設定する場合→チャンネルスイッチを5回押します。

ID3の状態からID10に設定する場合→チャンネルスイッチを7回押します。

チャンネルBに設定する場合は、ワイヤレスマウスの右ボタンを押しながら、チャンネルスイッチを設定したい回数押します。

なお、チャンネルを変更しても、IDの値は引き継がれます。

(例)

チャンネルA / ID3の状態から、右ボタンを押しながらチャンネルスイッチを7回押す
→チャンネルB / ID10に設定されます。


チャンネルB / ID13の状態から、右ボタンを押さずにチャンネルスイッチを4回押す
→チャンネルA / ID1に設定されます。

正しく受信したときは、約1秒後に3つのインジケータが同時に点滅し、通信周波数(チャンネル) / IDが記憶されます。チャンネルBに設定した場合は、このインジケータの点滅が終わるまで右ボタンを押し続けてください。

設定後もワイヤレスマウスが正しく動作しないときは、正しく設定できていない可能性があります。「1 通信周波数 / ID をリセットする」(▶P.109) からもう一度設定を行ってください。

2 リモコンについて (CE70HV、CE70H7、CE50HV、CE50H7、CE50H7/S、CE50H7/Mの場合、CE70HN、CE50HNでTVチューナーカードを選択した場合)

ここではリモコンをお使いになる際の注意事項、乾電池の交換方法について説明しています。

リモコンの操作方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMVの使い方」→「リモコンについて」をご覧ください。

重要

添付のリモコンを使用してください



本製品に添付のリモコンを使用して操作してください。

乾電池を交換する

リモコンの乾電池を交換する方法については、「リモコンに乾電池を入れる」(●▶P.44)をご覧ください。

リモコンをお使いになる場合の注意

リモコンをお使いになる場合は、次の点にご注意ください。

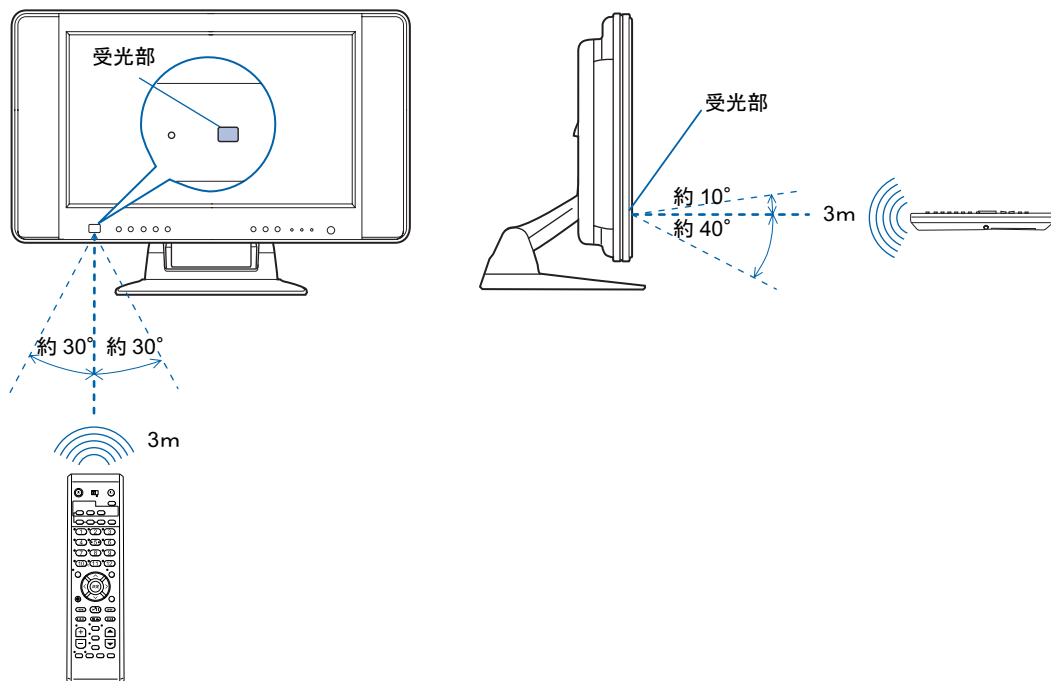
- ・リモコンをお使いになる場合には、リモコンマネージャーが起動している必要があります。画面右下の通知領域に (リモコンマネージャー) が表示されているか、確認してください。リモコンマネージャーについては、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「添付ソフトウェア一覧」→「リモコンマネージャー」をご覧ください。
- ・信号が受けやすいように、リモコンをディスプレイまたはリモコン受光器の受光部に向けてください。
- ・ディスプレイまたはリモコン受光器の受光部とリモコンの間に障害物がない場所に設置してください。
- ・直射日光などの強い光があたる場所での使用は避けてください。使用距離が短くなる場合があります。
- ・リモコンをプラズマディスプレイ／プラズマテレビの近くでお使いになると、リモコンが正常に動作しないことがあります。これはプラズマディスプレイ／プラズマテレビから放射される赤外線により、リモコンと液晶ディスプレイまたはリモコン受光器の受光部との通信が妨害されるために起こる現象です。このようなときは、本液晶ディスプレイまたはプラズマディスプレイ／プラズマテレビの設置場所を変更してください。

液晶ディスプレイのリモコン受光部使用可能範囲

■ 17 型ワイド液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) の場合

水平 約 30° (左右共)

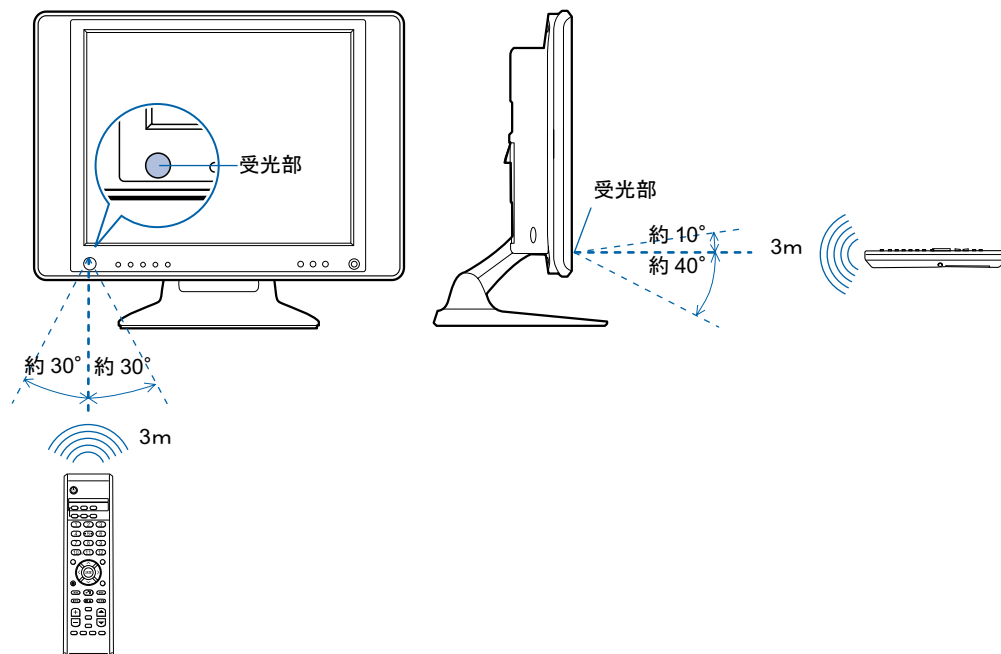
垂直 上 10° 下 40°



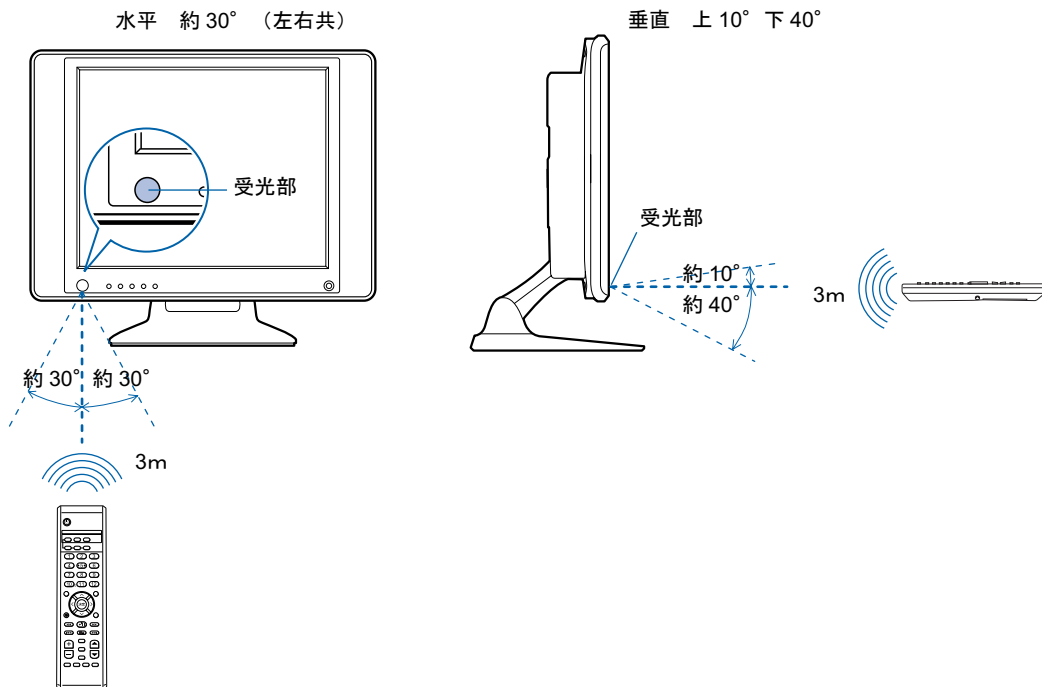
■ 17 型液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) の場合

水平 約 30° (左右共)

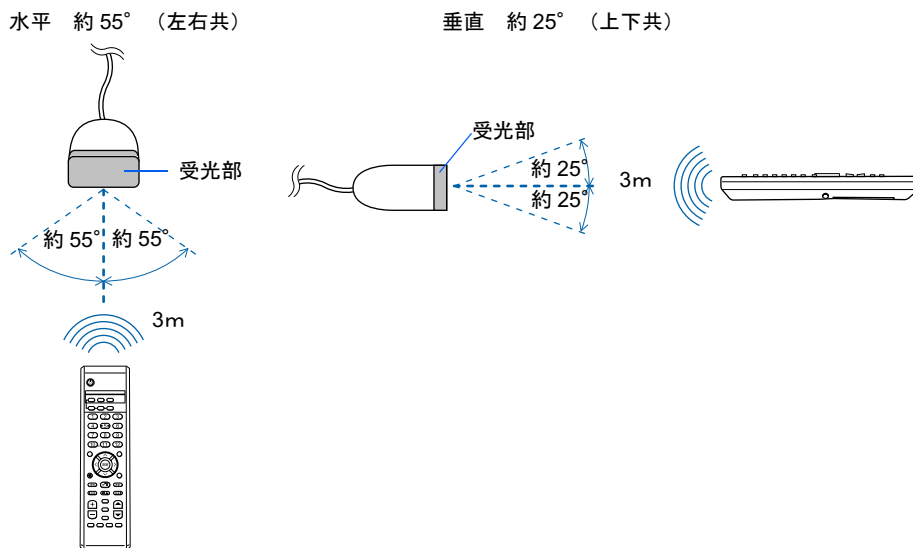
垂直 上 10° 下 40°



■ 17 型液晶ディスプレイ (TV チューナーなし) の場合



リモコン受光器の受光部使用可能範囲



3 本体カバーの取り外し方と取り付け方

ここでは、本体カバーの取り外し方と取り付け方について説明します。メモリなどパソコン内部に周辺機器を取り付けるときは、本体カバーを取り外します。

重要

周辺機器の取り付け手順を印刷しておいてください

拡張カードなど、操作の途中で電源を切る必要のある周辺機器については、「FMVの使い方」の該当ページの先頭に「このページは印刷してご利用ください」と記載されています。操作を始める前に、「FMVの使い方」をプリンタで印刷してご覧ください。

メモリについては、「メモリについて」(▶▶P.121) をご覧ください。

POINT

- ・本体カバーを取り外すときまたは取り付ける時は、PC カード取り出しボタンが飛び出していないか確認してください。
- ・周辺機器を取り付ける時は、フレキシブルベース（設置台）を取り外した後、柔らかい布の上などで作業してください。固い物の上に直接置いて作業すると、パソコン本体に傷が付くおそれがあります。

本体カバーを取り外す

POINT

本体カバーの取り外し手順の動画を見ることができます

FMV 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページ (<http://azby.fmworld.net/>) で、本体カバーの取り外し手順の動画がご覧になれます。

1 パソコン本体と接続されている周辺機器の電源を切ります。

2 電源プラグをコンセントから抜きます。

電源を切った直後は、パソコン本体内部の装置が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後 10 分ほど待ってください。

重要

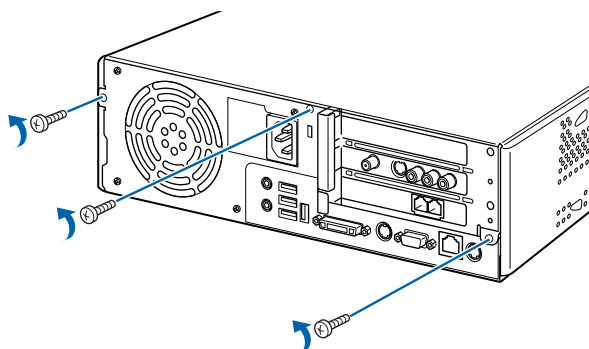
電源プラグはコンセントから抜いてください

パソコン本体の電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。必ず電源プラグをコンセントから抜いたことを確認してください。

3 パソコン本体に接続されている機器をすべて取り外します。

4 フレキシブルベース（設置台）をパソコン本体から取り外し、横置きにします。

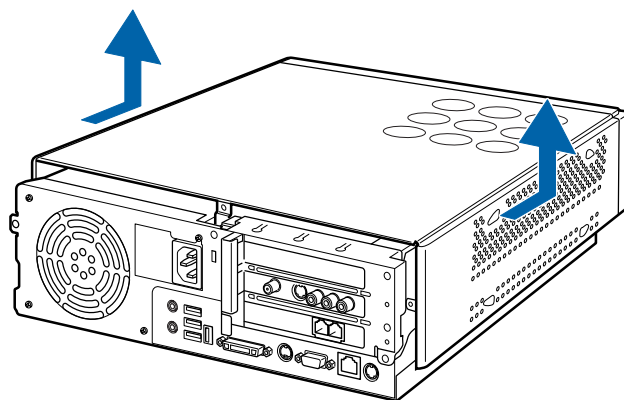
- 5** パソコン本体背面のネジ（3ヶ所）をプラスのドライバーで回して外します。



（イラストは機種や状況により異なります）

- 6** 本体カバーを矢印の方向に取り外します。

パソコン本体前面に向けてつきあたるまでスライドさせた後、まっすぐ上に持ち上げてください。



（イラストは機種や状況により異なります）

周辺機器の取り付け方は、お使いになる周辺機器によって異なります。本体カバーを取り外した後の周辺機器の取り付け方については、印刷した周辺機器の取り付け手順をご覧ください。

本体カバーを取り付ける

POINT

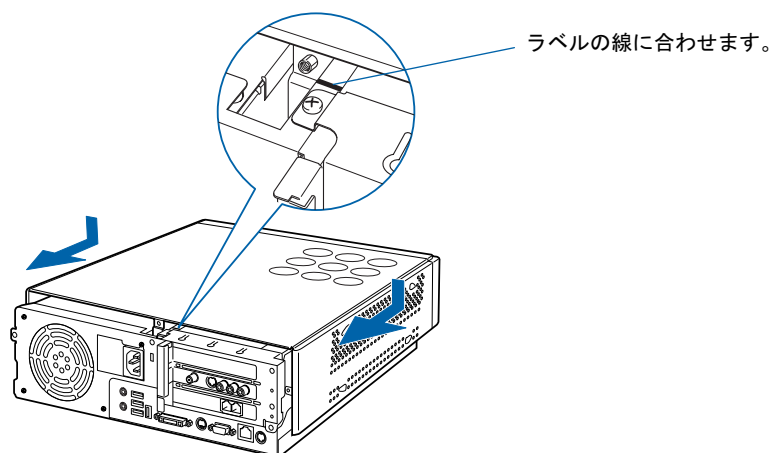
本体カバーの取り付け手順の動画を見ることができます

FMV 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページ（<http://azby.fmworld.net/>）で、本体カバーの取り付け手順の動画がご覧になれます。

1 本体カバーを矢印の方向に取り付けます。

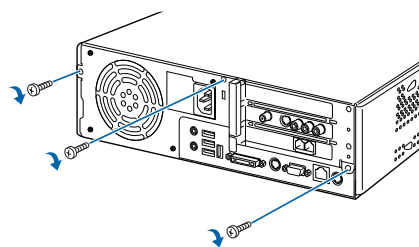
本体カバーの後側をラベルの線に合わせて、まっすぐに下ろします。

パソコン本体背面に抜けてつきあたるまでスライドさせ、最後までしっかりと押し込んでください。



（イラストは機種や状況により異なります）

2 パソコン本体背面のネジ（3ヶ所）をプラスのドライバーで回して取り付けます。



（イラストは機種や状況により異なります）

3 フレキシブルベース（設置台）を取り付けます。

4 パソコン本体に接続されていた機器をすべて取り付けます。

5 パソコン本体および接続されている機器の電源プラグを、コンセントに差し込みます。

4 メモリについて

ここでは、周辺機器を取り付ける前に知っておいていただきたいことや、メモリの取り付け方などを説明します。

POINT

周辺機器とは

プリンタ、デジタルカメラ、メモリなどの装置のことです。パソコンの各種コネクタに接続したり、パソコン本体内部に取り付けたりして、パソコンの機能を拡張したり、処理速度を高めたりできます。

警告



- ・周辺機器の取り付け／取り外しを行うときや、本体カバーの取り外し／取り付けを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
電源を入れたまま、または電源プラグを接続したままだと、感電・火災または故障の原因となります。



- ・取り外したネジなどの小さな部品は、小さなお子様が誤って飲み込むと窒息の原因となります。保護者の方は、小さなお子様の手の届かないところに置くように注意してください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



- ・本体カバーを取り外すときまたは取り付けるときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。
指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。



- ・基板表面上の突起物には手を触れないでください。
けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

注意



- ・周辺機器のケーブルは正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。
- ・周辺機器、および周辺機器のケーブルは、弊社純正品をお使いください。
純正品以外の周辺機器、および周辺機器のケーブルをお使いになると、故障の原因となることがあります。

周辺機器の取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

- ・ **周辺機器は、弊社純正品をお使いいただくことをお勧めします**
純正品が用意されている周辺機器については、純正品以外を取り付けて、正常に動かなかったり、パソコンが故障しても、保証の対象外となります。
純正品が用意されていない周辺機器については、このパソコンに対応しているかどうかをお使いの周辺機器メーカーにご確認ください。
- ・ **Windows のセットアップは終了していますか？**
「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」(●▶ P.54) をご覧になり、Windows のセットアップを行ってください。
なお、セットアップを行うときは周辺機器を取り付けないでください。セットアップが正常に行われぬおそれがあります。
- ・ **周辺機器に添付のドライバがお使いの Windows に対応しているか確認してください**
お使いになる周辺機器のドライバがお使いの Windows に対応していないと、その周辺機器はお使いになれません。必ずお使いの Windows に対応したものをご用意ください。
- ・ **ドライバなどがフロッピーディスクで添付されている場合**
周辺機器によっては、添付のドライバなどがフロッピーディスクで提供されているものがあります。その場合は、オプションの FDD ユニット (USB) (FMFD-51S) をご購入になり、接続した上でドライバをインストールしてください。
- ・ **ACPI に対応した周辺機器をお使いください**
このパソコンは、ACPI (省電力に関する電源制御規格の 1 つ) によって電源制御を行っていますので、周辺機器も ACPI に対応している必要があります。
ACPI に対応していない周辺機器をお使いの場合は、増設した機器やパソコンが正常に動作しなくなることがあります。周辺機器が ACPI に対応しているかどうかは、周辺機器メーカーにお問い合わせください。
またこのパソコンの ACPI モードは、S3 に設定されています。
- ・ **一度に取り付ける周辺機器は 1 つだけに**
一度に複数の周辺機器を取り付けると、ドライバのインストールなどが正常に行われぬおそれがあります。1 つの周辺機器の取り付けが終了して、動作確認を行ってから、別の周辺機器を取り付けてください。
- ・ **パソコンおよび接続されている機器の電源を切る**
安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。パソコンの電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。パソコン本体の電源の切り方については、「電源を切る」(●▶ P.69) をご覧ください。
- ・ **電源を切った直後は作業をしない**
電源を切った直後は、パソコン本体内部の装置が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後 10 分ほど待ってから作業を始めてください。
- ・ **電源ユニットは分解しない**
電源ユニットは、パソコン本体内部の背面側にある箱形の部品です。
- ・ **フレキシブルベース (設置台) を取り外した後は、柔らかい布の上などで作業してください**
固い物の上に直接置いて作業すると、パソコン本体に傷が付くおそれがあります。
- ・ **内部のケーブル類や装置の扱いに注意**
傷付けたり、加工したりしないでください。また、ねじったり、極端に曲げたりしないでください。

- ・ **静電気に注意**

内蔵周辺機器は、基板や電子部品がむきだしになっています。これらは、人体に発生する静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、一度大きな金属質のものに手を触れるなどして静電気を放電してください。

- ・ **基板表面やはんだ付けの部分、コネクタ部分には手を触れない**

金具の部分や、基板のふちを持つようにしてください。

- ・ **周辺機器の電源について**

周辺機器の電源はパソコン本体の電源を入れる前に入れるものが一般的ですが、パソコン本体より後に電源を入れるものもあります。周辺機器のマニュアルをご覧ください。

- ・ **パソコン本体前面に周辺機器を取り付ける場合、フラップは開いた状態でお使いください**

PC カードなどをセットしたり、DV ケーブル、USB ケーブルを接続した状態で無理に閉めようとすると、PC カード取り出しボタンや周辺機器のケーブル、フラップが破損するおそれがあります。

- ・ **ドライバーを用意する**

パソコン本体のスロットカバーや金具などの取り外しには、プラスのドライバーが必要です。ネジの頭をつぶさないように、ネジのサイズに合ったドライバーをご用意ください。

メモリの取り付け場所

メモリは、パソコン本体内部のメモリスロットに取り付けます。
ご購入時の状態やメモリの増やし方は、お使いのパソコンによって異なります。

■ CE70HV、CE70H7 をお使いの方

ご購入時はメモリスロット 1 と 2 にそれぞれ 256MB のメモリが 1 枚ずつ取り付けられています。メモリは最大 1GB (512MB × 2 枚) まで増やせます。

メモリ容量を増やすには、あらかじめ取り付けられているメモリ (メモリスロット 1、2) を取り外して交換します。

■ CE50HV、CE50H7、CE30H7、CE30H5、CE50H7/S、CE50H7/M をお使いの方

ご購入時は、メモリスロット 1 に 256MB のメモリが 1 枚取り付けられています。メモリは最大 1GB (512MB × 2 枚) まで増やせます。

メモリ容量を増やすには、メモリスロット 2 に、新たにメモリを取り付けます。メモリを最大量まで増やすときは、あらかじめ取り付けられているメモリ (メモリスロット 1) を取り外して交換します。

■ CE70HN をお使いの方

ご購入時に選択したメモリが取り付けられています。メモリは、最大 1GB (512MB × 2 枚) まで増やせます。

メモリ容量を増やすには、あらかじめ取り付けられているメモリ (メモリスロット 1、2) を取り外して交換します。

1GB のメモリを選択した方は、これ以上メモリ容量を増やすことはできません。

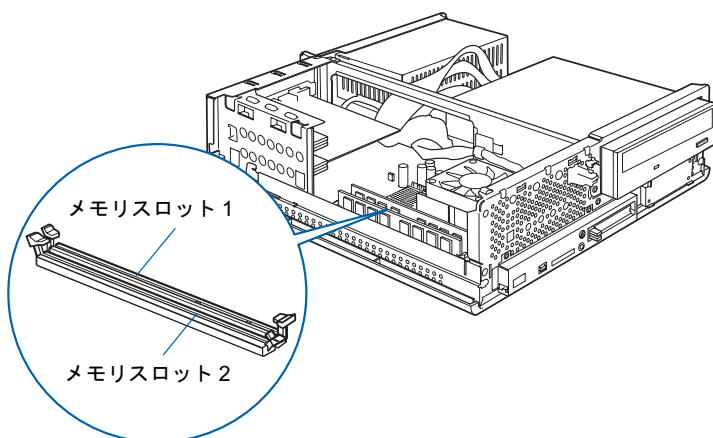
■ CE50HN をお使いの方

ご購入時に選択したメモリが取り付けられています。メモリは、最大 1GB (512MB × 2 枚) まで増やせます。

メモリ容量を増やすには、メモリスロット 2 に、新たにメモリを取り付けます。

ご購入時に 256MB のメモリを選択した場合、メモリを最大量まで増やすときは、あらかじめ取り付けられているメモリ (メモリスロット 1) を取り外して交換します。

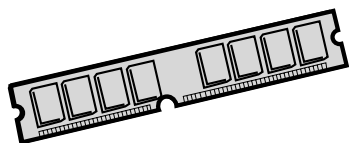
1GB のメモリを選択した方は、これ以上メモリ容量を増やすことはできません。



(イラストは機種や状況により異なります)

取り付けられるメモリ

お使いになれるメモリは次の種類です。



■ CE70HV、CE70H7、CE70HN をお使いの方

- ・種類：DDR（ディーディーアール）SDRAM（エスディーラム）DIMM（ディム）（SPD 付き）
- ・メモリバスクロック：PC3200（400MHz）
- ・ピン数：184 ピン
- ・容量：256MB、512MB
- ・ECC：なし



重要

同じ容量のメモリをお使いください

このパソコンに取り付けるメモリは、同じ容量のものを2枚1組でお使いください。

メモリバスクロックにご注意ください。

このパソコンに取り付けるメモリは、PC3200 対応のものをお使いください。

■ CE50HV、CE50H7、CE30H7、CE30H5、CE50H7/S、CE50H7/M、CE50HN をお使いの方

- ・種類：DDR（ディーディーアール）SDRAM（エスディーラム）DIMM（ディム）（SPD 付き）
- ・メモリバスクロック：PC3200（400MHz）
- ・ピン数：184 ピン
- ・容量：256MB、512MB
- ・ECC：なし



重要

メモリバスクロックについて

このパソコンに取り付けるメモリは、PC3200 対応のものをお使いください。

POINT

SPD（エスピーディー）

Serial Presence Detect の略で、メモリの機能のひとつです。

必ず SPD 付きのメモリをご購入ください。なお、弊社製の DIMM は、SPD 付きです。

ECC（イーシーシー）

Error Correcting Code の略で、データの中の誤りを検出し、訂正する機能のことです。このパソコンでは使いません。

メモリの組み合わせ表

次の表で、メモリの容量とメモリスロットの組み合わせを確認してください。
次の表以外の組み合わせにすると、パソコンが正常に動作しない場合があります。

■ CE70HV、CE70H7 をお使いの方、および CE70HN で 512MB のメモリを選択した方

総容量	メモリスロット 1 (DIMM1)	メモリスロット 2 (DIMM2)
512MB (ご購入時)	256MB	256MB
1GB (最大)	512MB [注]	512MB [注]

注：あらかじめ取り付けられているメモリを交換します。

■ CE50HV、CE50H7、CE30H7、CE30H5、CE50H7/S、CE50H7/M をお使いの方、および CE50HN で 256MB のメモリを選択した方

総容量	メモリスロット 1 (DIMM0)	メモリスロット 2 (DIMM1)
256MB (ご購入時)	256MB	なし
512MB	256MB	256MB
768MB	256MB	512MB
1GB (最大)	512MB [注]	512MB

注：あらかじめ取り付けられているメモリを交換します。

■ CE50HN で 512MB のメモリを選択した方

総容量	メモリスロット 1 (DIMM0)	メモリスロット 2 (DIMM1)
512MB (ご購入時)	512MB	なし
768MB	512MB	256MB
1GB (最大)	512MB	512MB

メモリを増やす

ここでは、メモリを増やす方法を説明します。

空いているメモリスロットにメモリを取り付ける場合と、取り付けられているメモリを交換する場合で手順が異なります。お使いのパソコンの状態を確認して、正しく行ってください。

警告



- 感電 ・メモリの取り付けまたは交換を行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
- 感電 ・火災または故障の原因となります。

注意



- けが ・メモリの取り付けまたは交換を行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。



- けが ・基板表面上の突起物には手を触れないでください。けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。



- 故障 ・メモリは、弊社純正品をお使いください。純正品以外のメモリをお使いになると、故障の原因となることがあります。
- 故障 ・メモリを取り付けるときは、メモリの差し込み方向をお確かめのうえ、確実に差し込んでください。誤ってメモリを逆方向に差したり、差し込みが不完全だったりすると、故障の原因となることがあります。



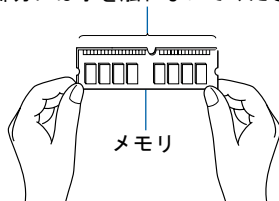
- 故障 ・メモリは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。メモリを取り扱う前に、一度金属質のものに手を触れて、静電気を放電してください。

重要

メモリについての注意

- メモリは何度も抜き差ししないでください。故障の原因となることがあります。
- メモリは下図のようにふちを持ってください。金色の線が入っている部分（端子）には、絶対に手を触れないでください。

この部分には手を触れないでください。



- メモリを取り付けるときは、フレキシブルベース（設置台）と本体カバーを取り外した後、柔らかい布の上などで作業してください。固い物の上に直接置いて作業すると、パソコン本体に傷が付くおそれがあります。

POINT

メモリの取り付け手順の動画を見ることができます

FMV 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページ（<http://azby.fmworld.net/>）で、メモリの取り付け手順の動画をご覧になれます。

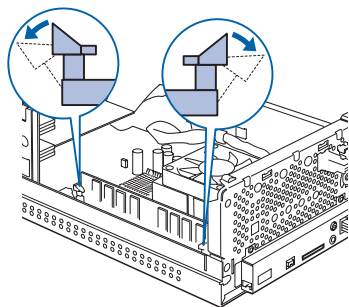
1 「本体カバーを取り外す」(●▶P.118) をご覧になり、本体カバーを取り外します。

2 メモリの取り付け場所とメモリ容量の組み合わせを確認します。

メモリの取り付け場所については、「メモリの取り付け場所」(●▶P.124) をご覧ください。
メモリの容量と組み合わせについては、「メモリの組み合わせ表」(●▶P.126) をご覧ください。

取り付けられているメモリを新しいメモリに交換する場合は、手順 4 へ進んでください。

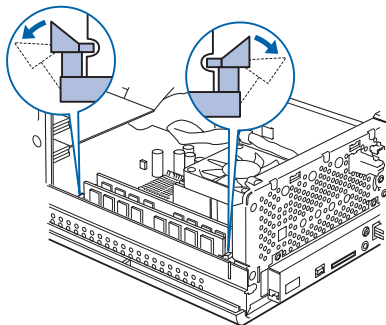
3 メモリを取り付けるメモリスロットの両側のレバーを外側に開きます。



(これ以降のイラストは、機種や状況により異なります)

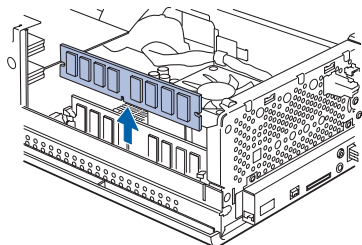
この後は手順 6 へ進んでください。

4 取り外したいメモリのメモリスロットの両側のレバーを外側に開きます。



(これ以降のイラストは、機種や状況により異なります)

5 メモリを上引き抜きます。



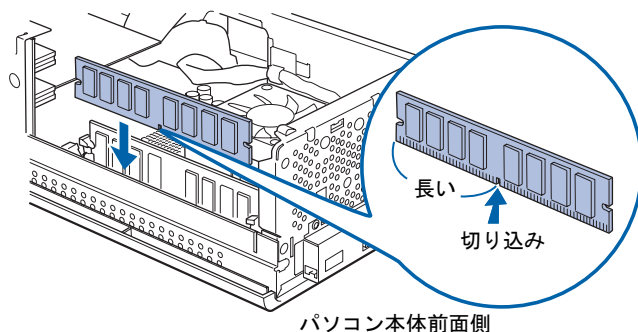
6 新しいメモリをメモリスロットに差し込みます。

■ CE70HV、CE70H7、CE70HN の場合

端子に切り込みが入っている部分から端までの距離が長いほうをパソコン本体背面側に向けて、メモリスロットの上からまっすぐ下に差し込んでください。

メモリがメモリスロットに差し込まれると、スロット両側のレバーが自動的に閉じて、メモリがロックされます。

必ず、メモリがロックされたことを確認してください。



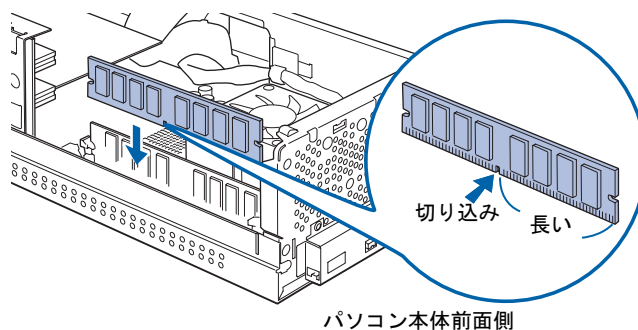
パソコン本体前面側

■ 上記以外の機種の場合

端子に切り込みが入っている部分から端までの距離が長いほうをパソコン本体前面側に向けて、メモリスロットの上からまっすぐ下に差し込んでください。

メモリがメモリスロットに差し込まれると、スロット両側のレバーが自動的に閉じて、メモリがロックされます。

必ず、メモリがロックされたことを確認してください。



パソコン本体前面側

重要

メモリの向きについて

メモリの方向をよく確認して正しく差し込んでください。無理に差し込むと故障の原因となります。

7 「本体カバーを取り付ける」(▶P.120) をご覧になり、本体カバーを取り付けます。

この後、「メモリ容量を確認する」(▶P.130) をご覧になり、取り付けしたメモリが使える状態になっているかを確認してください。

メモリ容量を確認する

メモリを取り付けた後、増やしたメモリが使える状態になっているかを確認してください。必ず、本体カバーを取り付けてから確認作業を行ってください。

1 パソコン本体の電源を入れます。

POINT

画面に何も表示されないときは

メモリが正しく取り付けられていないと、パソコンの電源を入れたとき画面に何も表示されない場合があります。

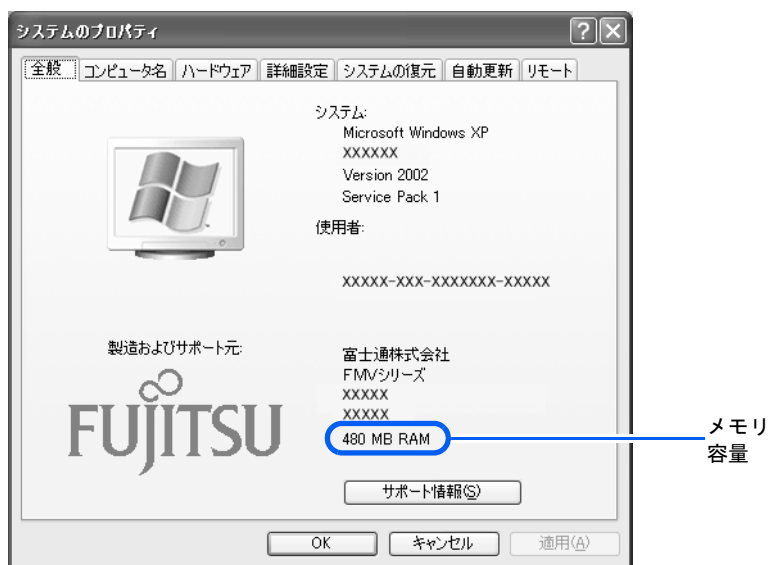
その場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けてパソコンの電源を切り、電源プラグを抜いた後、メモリを取り付け直してください。

2 パソコンが起動したら、「スタート」ボタンをクリックします。

3 「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 ○で囲んだ部分の数値が、増やしたメモリの分だけ増えているかを確認します。



(画面は機種や状況により異なります)

画面は、256MB 搭載のパソコンに 256MB のメモリを増設して、512MB に増やした例です。CE70HV、CE70H7、CE70HN ではメモリの一部をグラフィック用メモリとして使用するため、8MB 少なく表示されます。

上記以外のパソコンではメモリの一部をグラフィック用メモリとして使用するため、32MB 少なく表示されます。

SCSI カードの増設などお使いのシステム構成によってはさらに 1 ~ 2MB 少なく表示される場合があります。

5 「OK」をクリックします。

メモリ容量の数値が増えていなかった場合は、次のことを確認してください。

- ・増やしたメモリがこのパソコンで使える種類のものか
「取り付けられるメモリ」(▶▶P.125)
- ・メモリがメモリスロットにきちんと差し込まれているか
「メモリを増やす」(▶▶P.127)
- ・正しいスロットに取り付けられているか
「メモリの取り付け場所」(▶▶P.124)
- ・メモリを正しく組み合わせているか
「メモリの組み合わせ表」(▶▶P.126)

Memo

この本で見つからない情報は、画面で検索しよう！



(サービスアシスタント)のトップ画面 →

検索

キーワードを選ぶ

索引

A

Application ボタン 88

C

CD/DVD 操作ボタン 88

CD 取り出しボタン 84

D

DDR 125

DIMM 125

E

ECC 125

F

FAX モデム カード 87

I

ID 設定値 107

IEEE1394 (DV) 端子 84

L

LAN アンテナ 86

LAN コネクタ 86

LINE 端子 86

M

Mute (消音) ボタン 88

P

PC カードスロット 84

PC カード取り出しボタン 84

PHONE 端子 86

S

SDRAM 125

SD カード/メモリースティックスロット 84

SPD 125

U

USB コネクタ 84, 86

W

Windows

ー使用許諾契約書 59

ーセットアップ 54

Windows Update 75

あ行

アナログ RGB コネクタ 86

アンテナ入力 (F 型同軸) 端子 86

インターネット 74

インターネット接続ファイアウォール (ICF) 74

インターネットボタン 88

インレット 86

ウイルス 74

液晶ディスプレイのお手入れ 22

音量調節ボタン 88

か行

拡張スロット 87

各部名称 83

ーパソコン本体前面 84

ーパソコン本体背面 86

ーワンタッチボタン 88

乾電池について 105

キーボード

ーID 設定値 107

ー乾電池 105

ー混信を防ぐ 107

ー準備 40

ー通信周波数 107

キーボードコネクタ 86

キーボード/マウスアンテナ 20

機種名 18

強制終了 71

クリック 57

光学式マウス 58

混信を防ぐ

ーワイヤレスキーボード 107

ーワイヤレスマウス 107

さ行

サービスアシスタント 66

再生/一時停止ボタン 88

サポートボタン 88

仕様 90

ーLAN 機能 (CE50HV、CE50H7、
CE30H7、CE30H5、CE50H7/S、
CE50H7/M、CE50HN をお使いの方)
..... 100

ーLAN 機能 (CE70HV、CE70H7、
CE70HN をお使いの方) 99

ーLCD 内蔵スピーカー (17 型液晶ディ
スプレイ、15 型液晶ディスプレイを
お使いの方) 99

ーLCD 内蔵スピーカー (17 型ワイド
液晶ディスプレイ (TV チューナー
内蔵) をお使いの方) 99

- 高画質ハードエンコーダ付き TV チューナーカード/ハードエンコー ダ付き TV チューナーカード	100	フレキシブルベース (設置台)	84
- リモコン (CE70HV、CE70H7、 CE50HV、CE50H7、CE50H7/S、 CE50H7/M をお使いの方、CE70H、 CE50HN で TV チューナーカードを 選択した方)	101	ヘッドホン端子/光デジタルオーディオ出力端子	84
スーパーマルチドライブ	84, 87	保証書	23
スタンバイボタン	88	ボリュームボタン (+)	88
セキュリティ対策	74	ボリュームボタン (-)	88
接続する	27	ま行	
セットアップ	54	マイク端子	84
ソフトウェア		マウス	
- 使い始める	68	- ID 設定値	107
た行		- 乾電池	105
通信周波数	107	- 混信を防ぐ	107
通風孔	86	- 準備	40
次トラックボタン	88	- 通信周波数	107
停止/取り出しボタン	88	- 持ち方	56
ディスプレイの接続	31	前トラックボタン	88
電源		メール着信ランプ	84
- 入れる	69	メールボタン	88
- 切る	69	メニューボタン	88
- 切れない場合	71	メモリ	
電源ケーブルの接続	45	- の組み合わせ	126
電源ボタン	84	- の取り付け場所	124
電源ユニット	87	- の持ちかた	127
電源ランプ	84	- 容量を確認する	130
盗難防止用ロック取り付け穴	86	- を取り付ける	127
取り付け		メモリスロット	87
- メモリ	127	メモリバスクロック	125
な行		や行	
内蔵ハードディスク	87	ユーザー登録	78
は行		ら行	
ハードディスク/CD アクセスランプ	84	ラインアウト端子	86
初めて電源を入れる	50	ラインイン端子	86
バックアップボタン	88	わ行	
ビデオ音声入力端子 (左)	86	ワイヤレスキーボード	
ビデオ音声入力端子 (右)	86	- ID 設定値	107
ビデオ出力 (S ビデオ) 端子	86	- 乾電池	105
ビデオ入力 (S ビデオ) 端子	86	- 混信を防ぐ	107
ビデオ入力 (コンポジット) 端子	86	- 通信周波数	107
品名	18	ワイヤレスマウス	
付属ディスプレイ専用コネクタ	86	- ID 設定値	107
フラップ	84	- 乾電池	105
		- 混信を防ぐ	107
		- 通信周波数	107
		ワンタッチボタン	88

FMV-DESKPOWER CE70HV,CE70H7,CE50HV,CE50H7,
CE30H7,CE30H5,CE50H7/S,CE50H7/M,CE70HN,CE50HN

パソコンの準備

B6FH-1361-01-01

発行日 2004年4月
発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。